第３章　寡　婦

第３章　寡　婦

１．北九州市の寡婦の世帯数

北九州市の平成 28 年 11 月 1 日現在の寡婦は 26,030 世帯となっている。推計人口（平成 28 年 11 月 1 日現在、北九州市調べ）による総世帯数（427,941 世帯）に占める割合（出現率）は 6.08%となっている。

区別にみた寡婦の状況は、門司区の出現率（7.24%）が最も高く、戸畑区の 4.62%が最も低い。

表３－１　北九州市の寡婦の世帯数

		総　数	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
総世帯数（世帯）	平成 28 年	427,941	42,956	92,041	88,943	33,847	31,227	111,019	27,908
	平成 23 年	423,706	44,076	89,873	87,490	33,645	32,121	108,552	27,949
	平成 18 年	418,553	44,708	88,367	85,355	33,418	33,113	105,251	28,341
寡婦世帯数（世帯）	平成 28 年	26,030	3,111	5,652	5,604	2,096	1,815	6,462	1,290
	平成 23 年	36,527	4,160	8,823	6,402	2,799	3,128	8,806	2,409
	平成 18 年	35,864	4,345	8,031	7,109	2,548	2,564	8,737	2,530
構成比（%）	平成 28 年	100.0	12.0	21.7	21.5	8.1	7.0	24.8	5.0
	平成 23 年	100.0	11.4	24.2	17.5	7.7	8.6	24.1	6.6
	平成 18 年	100.0	12.1	22.4	19.8	7.1	7.1	24.4	7.1
出現率（%）	平成 28 年	6.08	7.24	6.14	6.30	6.19	5.81	5.82	4.62
	平成 23 年	8.62	9.44	9.82	7.32	8.32	9.74	8.11	8.62
	平成 18 年	8.57	9.72	9.09	8.33	7.62	7.74	8.30	8.93

※総世帯数は11月1日現在の推計世帯数による。（市企画調整局）
構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため100%にならない場合がある。

２．世帯の状況

（１）年齢

問１　あなたの年齢は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

回答者の年齢は、「60～64 歳」が 30.0％と最も高く、次いで「55～59 歳」が 26.2％、「50～54 歳」が 12.9％となっており、『50～64 歳』が 69.1％を占めている。『49 歳以下』は 11.0％、『65 歳以上』は 19.6％である。

前回調査と比較して大きな変化はない。

図３－１　年齢

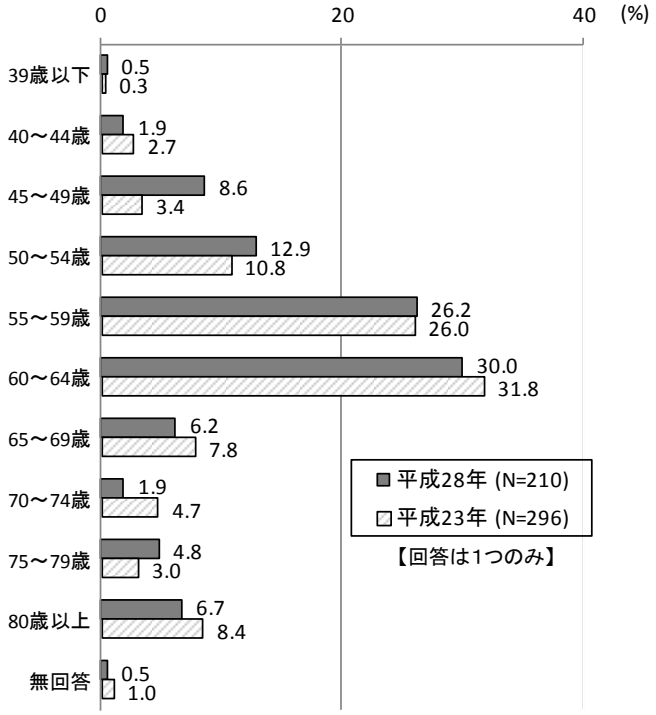


表３－２　年齢

（%）

		標本数	39歳以下	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	無回答
全体		210	1	4	18	27	55	63	13	4	10	14	1
		100.0	0.5	1.9	8.6	12.9	26.2	30.0	6.2	1.9	4.8	6.7	0.5
時系列	平成23年	296	0.3	2.7	3.4	10.8	26.0	31.8	7.8	4.7	3.0	8.4	1.0
	平成18年	376	－	2.4	5.1	15.4	27.4	21.8	5.1	7.2	4.8	10.9	－
理由別	死別	71	－	－	1.4	8.5	19.7	23.9	9.9	4.2	12.7	18.3	1.4
	離婚	108	－	0.9	12.0	15.7	31.5	32.4	5.6	0.9	0.9	－	－
	その他の生別	10	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	－	－	－	－	－
	かつて母子家庭ではなかった	10	－	10.0	10.0	10.0	20.0	40.0	－	－	－	10.0	－
	無回答	11	－	9.1	9.1	9.1	27.3	45.5	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	－	－	13.3	13.3	30.0	30.0	6.7	－	6.7	－	－
	小倉北区	43	－	7.0	4.7	14.0	27.9	25.6	9.3	2.3	7.0	2.3	－
	小倉南区	39	－	－	10.3	10.3	25.6	38.5	10.3	－	5.1	－	－
	若松区	19	－	－	10.5	21.1	31.6	10.5	5.3	－	－	15.8	5.3
	八幡東区	16	－	－	12.5	－	31.3	25.0	－	6.3	12.5	12.5	－
	八幡西区	55	1.8	1.8	5.5	14.5	20.0	34.5	1.8	3.6	1.8	14.5	－
	戸畑区	8	－	－	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	－	－	－	－

（２）世帯人員

問２　あなたの世帯の「同居家族数」は、あなたを含め何人ですか。下の ［　　］ に現在の人数をご記入ください。

世帯人員は、「１人」が 38.6%、「２人」が 39.0%、「３人」が 13.3%となっており、『４人以上』の世帯人員は合計で 8.6%となっている。また、平均の世帯人員は 2.0 人で、前回調査よりわずかに増加している。

年齢別にみると、60～64 歳では「１人」が多く、５割を超えているが、65 歳以上になると「２人」が増加し、７割以上となっている。

図３－２　世帯人員

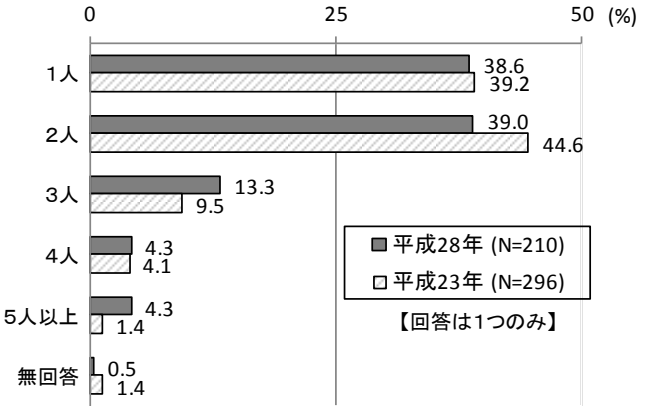


表３－３　世帯人員

(%)

		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均（人）
全体		210	81	82	28	9	9	1	
		100.0	38.6	39.0	13.3	4.3	4.3	0.5	2.0
時系列	平成23年	296	39.2	44.6	9.5	4.1	1.4	1.4	1.8
	平成18年	376	39.1	41.2	11.7	4.3	3.7	－	1.9
年齢別	39歳以下	1	－	－	100.0	－	－	－	3.0
	40歳代	22	40.9	27.3	13.6	4.5	9.1	4.5	2.2
	50歳代	82	41.5	30.5	17.1	4.9	6.1	－	2.1
	60～64歳	63	55.6	30.2	7.9	3.2	3.2	－	1.7
	65歳以上	41	7.3	75.6	12.2	4.9	－	－	2.1
	無回答	1	－	100.0	－	－	－	－	2.0
行政区	門司区	30	40.0	46.7	10.0	3.3	－	－	1.8
	小倉北区	43	41.9	37.2	11.6	4.7	4.7	－	2.0
	小倉南区	39	38.5	28.2	15.4	7.7	7.7	2.6	2.3
	若松区	19	42.1	36.8	5.3	10.5	5.3	－	2.0
	八幡東区	16	31.3	43.8	25.0	－	－	－	1.9
	八幡西区	55	32.7	45.5	14.5	1.8	5.5	－	2.0
	戸畑区	8	62.5	25.0	12.5	－	－	－	1.5

（３）同居家族

問３　同居の家族はどなたがおられますか。（○印はいくつでも）

同居家族は、「子ども」が 54.3％と最も高く、次いで「母」8.6％、「父」4.8％、「孫」3.8％、「兄弟姉妹」3.8％と続いている。

年齢別にみると、65 歳以上では９割以上が子どもと同居している。また、40 歳代では母との同居が他の年齢に比べて多くなっている。

図３－３　同居家族［複数回答］

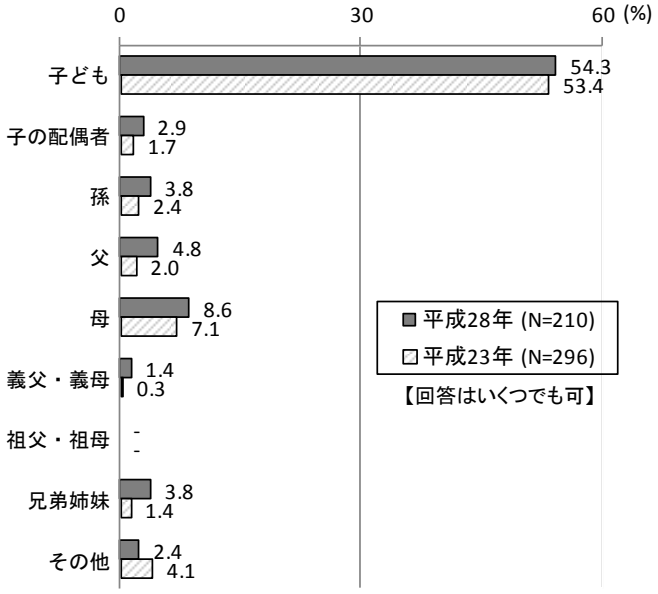


表３－４　同居家族［複数回答］

(%)

		標本数	子ども	子の配偶者	孫	父	母	義父・義母	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体		210	114	6	8	10	18	3	－	8	5	80
		100.0	54.3	2.9	3.8	4.8	8.6	1.4	－	3.8	2.4	38.1
時系列	平成23年	296	53.4	1.7	2.4	2.0	7.1	0.3	－	1.4	4.1	38.9
	平成18年	376	56.1	3.7	5.9	2.7	7.2	－	－	2.7	1.3	38.0
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	45.5	－	4.5	9.1	18.2	－	－	13.6	4.5	45.5
	50歳代	82	50.0	3.7	4.9	7.3	13.4	3.7	－	3.7	－	41.5
	60～64歳	63	36.5	3.2	4.8	3.2	4.8	－	－	1.6	6.3	54.0
	65歳以上	41	95.1	－	－	－	－	－	－	2.4	－	4.9
	無回答	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
理由別	死別	71	71.8	2.8	2.8	1.4	－	1.4	－	1.4	－	26.8
	離婚	108	51.9	3.7	5.6	5.6	11.1	0.9	－	5.6	1.9	41.7
	その他の生別	10	50.0	－	－	10.0	40.0	－	－	－	20.0	10.0
	かつて母子家庭ではなかった	10	10.0	－	－	10.0	20.0	－	－	10.0	－	70.0
	無回答	11	9.1	－	－	9.1	－	9.1	－	－	9.1	72.7
行政区	門司区	30	46.7	－	－	3.3	6.7	－	－	－	3.3	43.3
	小倉北区	43	51.2	－	4.7	7.0	11.6	4.7	－	7.0	2.3	41.9
	小倉南区	39	48.7	7.7	7.7	7.7	7.7	－	－	5.1	2.6	41.0
	若松区	19	52.6	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	－	5.3	5.3	36.8
	八幡東区	16	68.8	－	－	－	－	－	－	6.3	－	31.3
	八幡西区	55	63.6	3.6	3.6	3.6	12.7	－	－	1.8	1.8	29.1
	戸畑区	8	37.5	－	－	－	－	－	－	－	－	62.5

（４）扶養関係

問４　あなたの扶養関係は次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

扶養関係では、「扶養関係なし」が 73.3％で最も高く、次いで「他の世帯員を扶養している」が 14.8％、「他の世帯員に扶養されている」が 8.1％となっている。

前回調査と比較すると、「扶養関係なし」に変化はないが、「他の世帯員を扶養している」が４ポイント増加している。

年齢別にみると、65 歳以上で「他の世帯員に扶養されている」割合が高くなっている。

図３－４　扶養関係

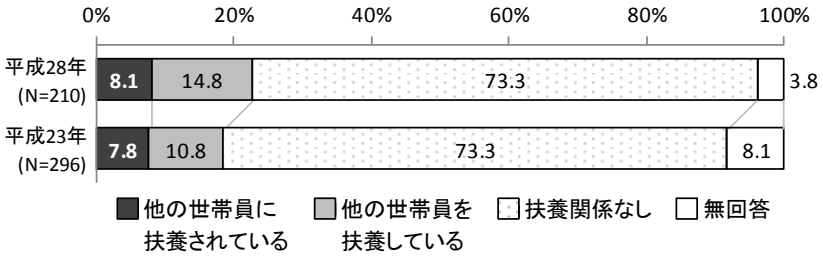


表３－５　扶養関係

（%）

		標本数	他の世帯員に扶養されている	他の世帯員を扶養している	扶養関係なし	無回答
全体		210	17	31	154	8
		100.0	8.1	14.8	73.3	3.8
時系列	平成23年	296	7.8	10.8	73.3	8.1
	平成18年	376	11.2	12.2	68.9	7.7
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－	－
	40歳代	22	4.5	18.2	77.3	－
	50歳代	82	6.1	13.4	76.8	3.7
	60～64歳	63	6.3	12.7	77.8	3.2
	65歳以上	41	17.1	17.1	58.5	7.3
	無回答	1	－	－	100.0	－
行政区	門司区	30	16.7	13.3	63.3	6.7
	小倉北区	43	4.7	14.0	79.1	2.3
	小倉南区	39	10.3	17.9	61.5	10.3
	若松区	19	10.5	10.5	78.9	－
	八幡東区	16	12.5	12.5	68.8	6.3
	八幡西区	55	3.6	18.2	78.2	－
	戸畑区	8	－	－	100.0	－

（５）かつて母子家庭となった理由

問５　かつて母子家庭となったのはどのような理由からですか。（○印は１つ）

かつて母子家庭となった理由は、「離婚」が 51.4％で最も高く、次いで「病死」が 31.9％となっている。「かつて母子家庭ではなかった」は 4.8％である。

前回調査と比較すると、「離婚」が増加し、「病死」が減少している。

年齢別にみると、40～50 歳代で「離婚」の割合が高く、65 歳以上では「病死」の割合が高くなっている。

図３－５　かつて母子家庭となった理由

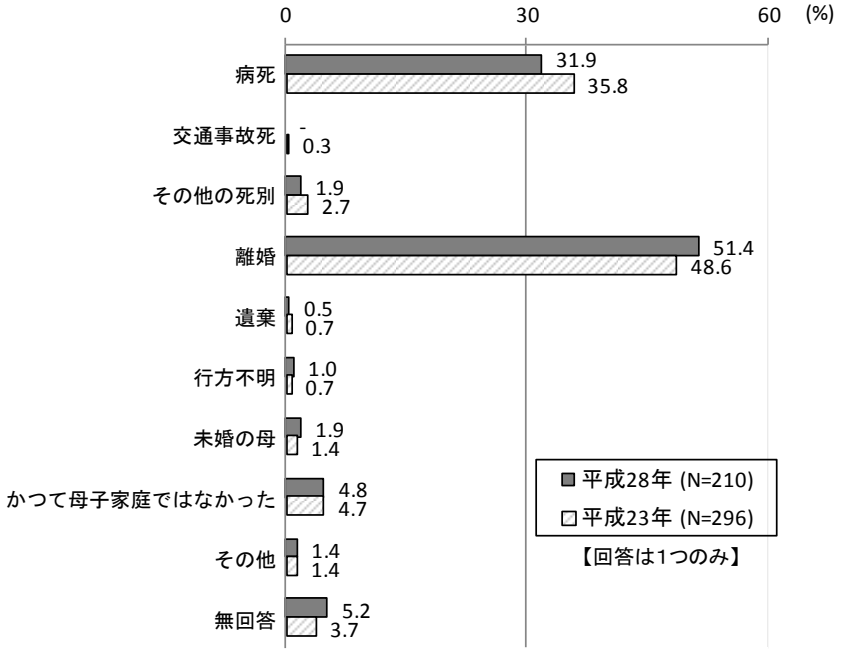


表３－６　かつて母子家庭となった理由

(%)

		標本数	病死	交通事故死	その他の死別	離婚	遺棄	行方不明	未婚の母	かつて母子家庭ではなかった	その他	無回答
全体		210	67	－	4	108	1	2	4	10	3	11
		100.0	31.9	－	1.9	51.4	0.5	1.0	1.9	4.8	1.4	5.2
時系列	平成23年	296	35.8	0.3	2.7	48.6	0.7	0.7	1.4	4.7	1.4	3.7
	平成18年	376	40.7	0.8	2.7	41.5	－	0.3	0.8	11.2	1.1	1.1
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	4.5	－	－	63.6	－	－	9.1	9.1	4.5	9.1
	50歳代	82	22.0	－	2.4	62.2	1.2	1.2	1.2	3.7	1.2	4.9
	60～64歳	63	23.8	－	3.2	55.6	－	1.6	－	6.3	1.6	7.9
	65歳以上	41	78.0	－	－	19.5	－	－	－	2.4	－	－
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	26.7	－	－	56.7	－	－	3.3	6.7	3.3	3.3
	小倉北区	43	30.2	－	2.3	51.2	2.3	－	2.3	2.3	－	9.3
	小倉南区	39	25.6	－	2.6	51.3	－	5.1	－	5.1	2.6	7.7
	若松区	19	47.4	－	－	47.4	－	－	－	－	－	5.3
	八幡東区	16	43.8	－	6.3	43.8	－	－	－	－	－	6.3
	八幡西区	55	32.7	－	1.8	50.9	－	－	3.6	7.3	1.8	1.8
	戸畑区	8	25.0	－	－	62.5	－	－	－	12.5	－	－

３．仕事の状況

（１）仕事の有無

問６　現在、あなたは仕事を持っていますか。（○印は１つ）

仕事を「持っている」は 71.4%、「持っていない」は 28.6%で、前回調査と比較すると、「持っている」が 9.6 ポイント増えている。

年齢別にみると、仕事を「持っている」人の割合は 40～64 歳では８割を超えているが、65 歳以上になると割合は２割弱に低下する。

寡婦となった理由別にみると、離婚の方が死別よりも仕事を「持っている」人の割合が高く、９割弱となっている。

図３－６　仕事の有無

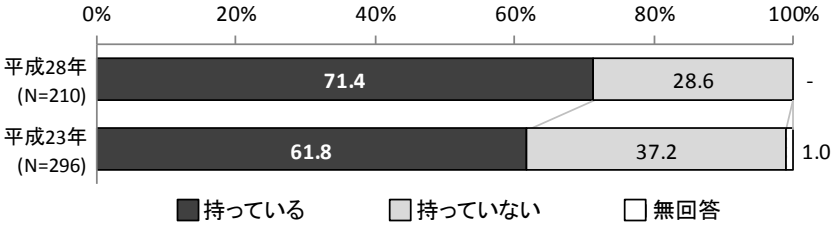


表３－７　仕事の有無

(%)

		標本数	持っている	持っていない	無回答
全体		210	150	60	－
		100.0	71.4	28.6	－
列 時系	平成23年	296	61.8	37.2	1.0
	平成18年	376	52.9	47.1	－
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－
	40歳代	22	90.9	9.1	－
	50歳代	82	85.4	14.6	－
	60～64歳	63	82.5	17.5	－
	65歳以上	41	19.5	80.5	－
	無回答	1	－	100.0	－
理由別	死別	71	45.1	54.9	－
	離婚	108	88.0	12.0	－
	その他の生別	10	80.0	20.0	－
	かつて母子家庭ではなかった	10	70.0	30.0	－
	無回答	11	72.7	27.3	－
行政区	門司区	30	76.7	23.3	－
	小倉北区	43	69.8	30.2	－
	小倉南区	39	74.4	25.6	－
	若松区	19	68.4	31.6	－
	八幡東区	16	62.5	37.5	－
	八幡西区	55	67.3	32.7	－
	戸畑区	8	100.0	－	－

（２）就労形態

問６－１　あなたの仕事は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

仕事を持っている 150 人の就労形態は、「正社員・正職員」が 40.0％と最も高く、次いで「パートタイマー」34.7％、「派遣・契約社員」12.7％となっている。

前回調査と比較すると「パートタイマー」や「派遣・契約社員」が増加し、「自営業主」が減少している。

年齢別にみると、50 歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、40 歳代と 60～64 歳で「派遣・契約社員」の割合が高くなっている。「パートタイマー」は 65 歳以上で割合が高い。

図３－７　就労形態

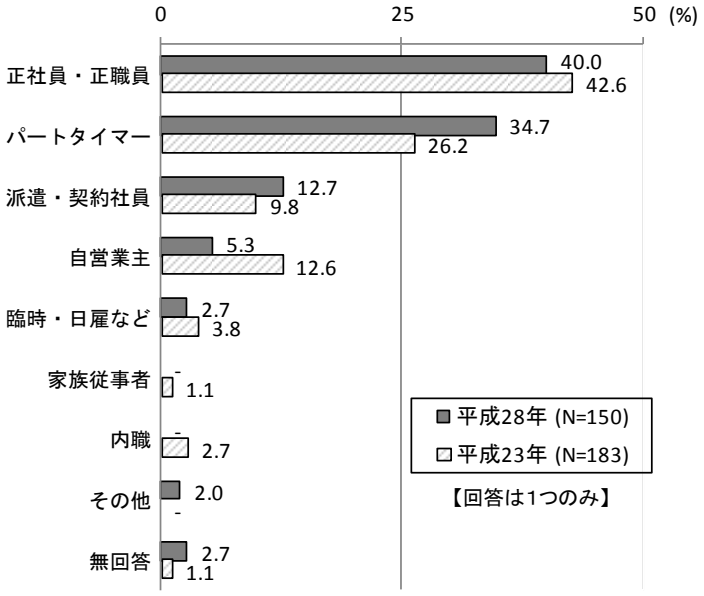


表３－８　就労形態

（%）

		標本数	自営業主	家族従事者	正社員・正職員	派遣・契約社員	パートタイマー	臨時・日雇など	内職	その他	無回答
全体		150	8	－	60	19	52	4	－	3	4
		100.0	5.3	－	40.0	12.7	34.7	2.7	－	2.0	2.7
時系列	平成23年	183	12.6	1.1	42.6	9.8	26.2	3.8	2.7	－	1.1
	平成18年	199	12.1	2.5	31.2	12.1	35.2	5.0	－	1.5	0.5
年齢別	39歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	20	10.0	－	35.0	20.0	25.0	－	－	5.0	5.0
	50歳代	70	4.3	－	50.0	7.1	31.4	2.9	－	－	4.3
	60～64歳	52	5.8	－	32.7	19.2	36.5	3.8	－	1.9	－
	65歳以上	8	－	－	12.5	－	75.0	－	－	12.5	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	23	8.7	－	39.1	4.3	39.1	4.3	－	－	4.3
	小倉北区	30	3.3	－	26.7	20.0	46.7	－	－	－	3.3
	小倉南区	29	3.4	－	41.4	10.3	34.5	－	－	3.4	6.9
	若松区	13	7.7	－	46.2	15.4	30.8	－	－	－	－
	八幡東区	10	10.0	－	30.0	20.0	20.0	20.0	－	－	－
	八幡西区	37	5.4	－	51.4	13.5	29.7	－	－	－	－
	戸畑区	8	－	－	37.5	－	25.0	12.5	－	25.0	－

（３）職種

問６－２　仕事の内容(職種)は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

仕事の内容（職種）は、「サービス業」が 26.0％と最も高く、次いで「専門的・技術的職業」22.0％、「事務」18.7％、「販売」10.7％などとなっている。

前回調査と比較すると「専門的・技術的職業」が増加している。

年齢別にみると、年齢が若いほど「専門的・技術的職業」の割合が高く、また 40 歳代と 65 歳以上で「販売」の割合が高くなっている。

図３－８　職種

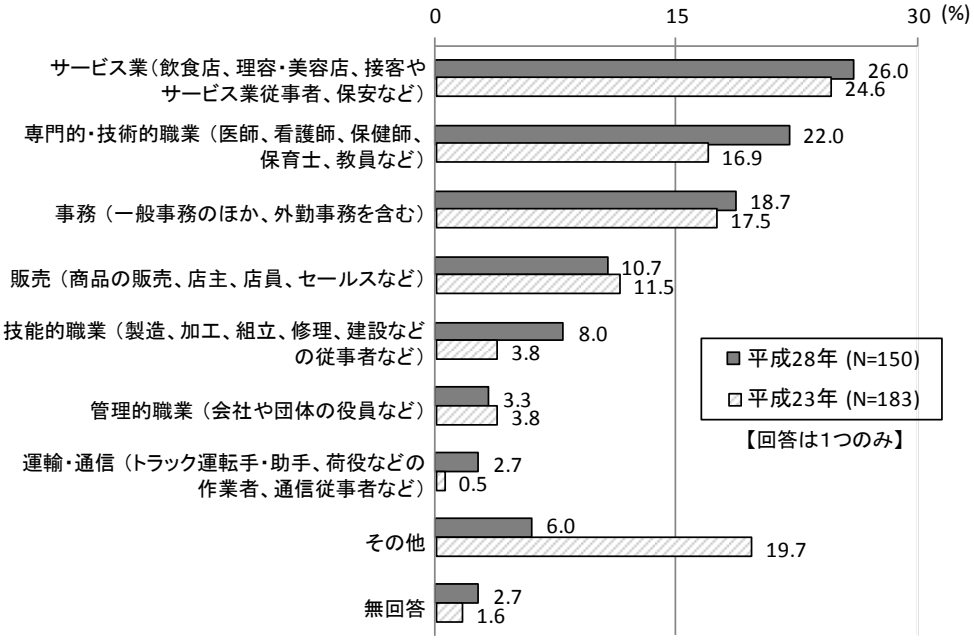


表３－９　職種

(%)

		標本数	専門的・技術的職業	管理的職業	事務	販売	運輸・通信	技能的職業	サービス業	その他	無回答
全体		150	33	5	28	16	4	12	39	9	4
		100.0	22.0	3.3	18.7	10.7	2.7	8.0	26.0	6.0	2.7
列時系	平成23年	183	16.9	3.8	17.5	11.5	0.5	3.8	24.6	19.7	1.6
	平成18年	199	13.1	1.5	20.1	15.1	1.0	9.0	33.2	4.5	2.5
年齢別	39歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	20	30.0	－	15.0	20.0	5.0	5.0	15.0	5.0	5.0
	50歳代	70	24.3	4.3	21.4	8.6	1.4	5.7	27.1	2.9	4.3
	60～64歳	52	17.3	3.8	17.3	7.7	3.8	11.5	28.8	9.6	－
	65歳以上	8	12.5	－	12.5	25.0	－	12.5	25.0	12.5	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	25.0	25.0	－	－	－	－	37.5	12.5	－
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	35.0	5.0	26.7	11.7	3.3	5.0	10.0	3.3	－
	派遣・パート・臨時	75	13.3	－	16.0	12.0	2.7	12.0	38.7	5.3	－
	その他	3	－	－	－	－	－	－	33.3	66.7	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	8.7	－	30.4	21.7	－	13.0	17.4	4.3	4.3
	小倉北区	30	16.7	3.3	13.3	6.7	－	13.3	36.7	6.7	3.3
	小倉南区	29	20.7	3.4	17.2	6.9	－	3.4	31.0	10.3	6.9
	若松区	13	46.2	－	23.1	15.4	7.7	－	7.7	－	－
	八幡東区	10	20.0	10.0	20.0	10.0	－	10.0	30.0	－	－
	八幡西区	37	29.7	5.4	13.5	8.1	8.1	8.1	21.6	5.4	－
	戸畑区	8	12.5	－	25.0	12.5	－	－	37.5	12.5	－

（４）求職の方法

問６－３　いまの仕事は、主にどのような方法で探しましたか。（○印は１つ）

現在の仕事への求職方法は、「友人・知人の紹介」が 29.3％と最も高く、次いで「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」19.3％、「新聞などの求人広告」14.7％となっている。また、「探す必要はなかった」は 10.0％である。

前回調査と比較して、「友人・知人の紹介」が 4.2 ポイント増加し、「企業の募集のチラシ」が 5.1 ポイント減少している。

年齢別にみると、60～64 歳では「友人・知人の紹介」「新聞などの求人広告」が他の年齢層と比べて高くなっている。

図３－９　求職の方法

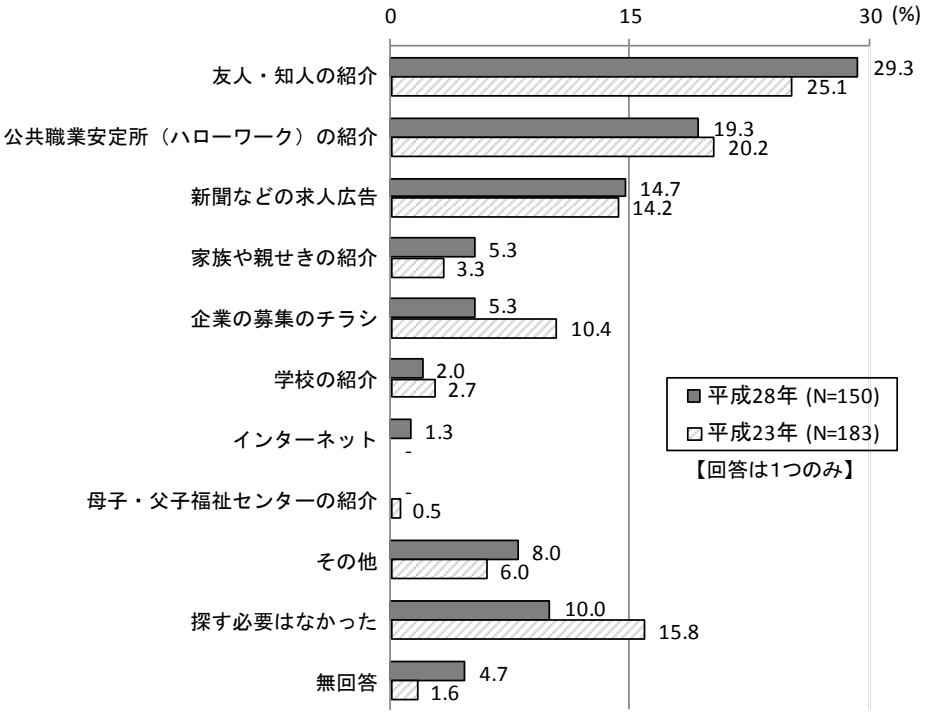


表３－10　求職の方法

(%)

		標本数	公共職業安定所（ハローワーク）の紹介	母子・父子福祉センターの紹介	友人・知人の紹介	家族や親せきの紹介	学校の紹介	新聞などの求人広告	企業の募集のチラシ	インターネット	その他	探す必要はなかった	無回答
全体		150	29	－	44	8	3	22	8	2	12	15	7
		100.0	19.3	－	29.3	5.3	2.0	14.7	5.3	1.3	8.0	10.0	4.7
時系列	平成23年	183	20.2	0.5	25.1	3.3	2.7	14.2	10.4	－	6.0	15.8	1.6
	平成18年	199	13.1	0.5	29.1	7.0	0.5	17.6	6.5	－	5.0	13.6	7.0
年齢別	39歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	20	15.0	－	25.0	－	－	15.0	5.0	5.0	10.0	15.0	10.0
	50歳代	70	22.9	－	24.3	5.7	4.3	11.4	2.9	1.4	12.9	8.6	5.7
	60～64歳	52	15.4	－	38.5	5.8	－	19.2	9.6	－	1.9	7.7	1.9
	65歳以上	8	25.0	－	25.0	12.5	－	12.5	－	－	－	25.0	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	－	－	－	－	－	－	－	－	12.5	75.0	12.5
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	20.0	－	33.3	8.3	5.0	10.0	1.7	1.7	8.3	10.0	1.7
	派遣・パート・臨時	75	22.7	－	29.3	4.0	－	21.3	9.3	1.3	8.0	2.7	1.3
	その他	3	－	－	66.7	－	－	－	－	－	－	33.3	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	21.7	－	26.1	4.3	4.3	4.3	4.3	－	8.7	17.4	8.7
	小倉北区	30	20.0	－	16.7	6.7	－	20.0	6.7	－	10.0	13.3	6.7
	小倉南区	29	17.2	－	31.0	10.3	3.4	13.8	－	－	10.3	6.9	6.9
	若松区	13	15.4	－	53.8	7.7	－	7.7	－	－	7.7	7.7	－
	八幡東区	10	20.0	－	30.0	－	－	－	20.0	10.0	10.0	－	10.0
	八幡西区	37	21.6	－	29.7	2.7	－	24.3	8.1	－	5.4	8.1	－
	戸畑区	8	12.5	－	37.5	－	12.5	12.5	－	12.5	－	12.5	－

（５）勤続年数

問６－４　あなたは、いまの勤務先に勤めはじめて（自営、農業などの方はいまの仕事をはじめて）何年くらいになりますか。（○印は１つ）

勤続年数を５年きざみでみると、『５年未満』が 27.3%で最も高く、次いで「５～10 年未満」が 23.3%「10～15 年未満」が 15.3%となっている。

就労形態別でみると、派遣・パート・臨時で「１年未満」が他に比べて高く、正社員・正職員や自営業主は 15 年以上の勤務年数が高くなっている。

図３－10　勤続年数

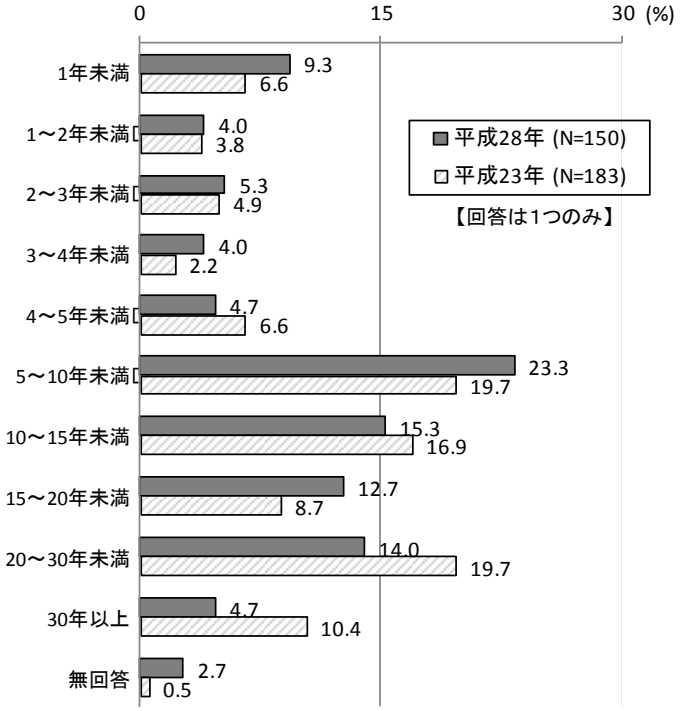


表３－11　勤続年数

(%)

		標本数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
全体		150	14	6	8	6	7	35	23	19	21	7	4
		100.0	9.3	4.0	5.3	4.0	4.7	23.3	15.3	12.7	14.0	4.7	2.7
時系列	平成23年	183	6.6	3.8	4.9	2.2	6.6	19.7	16.9	8.7	19.7	10.4	0.5
	平成18年	199	11.1	7.0	6.0	6.5	4.5	18.1	12.6	11.1	10.6	11.6	1.0
就労形態別	自営業主	8	－	－	－	－	－	12.5	25.0	25.0	25.0	12.5	－
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	3.3	8.3	5.0	3.3	6.7	18.3	13.3	15.0	16.7	10.0	－
	派遣・パート・臨時	75	16.0	1.3	5.3	4.0	4.0	29.3	17.3	10.7	12.0	－	－
	その他	3	－	－	33.3	33.3	－	33.3	－	－	－	－	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	17.4	－	4.3	－	－	4.3	13.0	21.7	30.4	4.3	4.3
	小倉北区	30	10.0	－	6.7	6.7	6.7	33.3	13.3	6.7	10.0	3.3	3.3
	小倉南区	29	－	6.9	10.3	3.4	6.9	10.3	13.8	20.7	13.8	6.9	6.9
	若松区	13	－	15.4	－	－	－	38.5	23.1	15.4	7.7	－	－
	八幡東区	10	10.0	－	－	20.0	－	20.0	20.0	20.0	10.0	－	－
	八幡西区	37	10.8	2.7	2.7	2.7	8.1	29.7	18.9	5.4	13.5	5.4	－
	戸畑区	8	25.0	12.5	12.5	－	－	37.5	－	－	－	12.5	－

（６）就業時間

問６－５　あなたのふだんの勤務時間（残業を含む）はどのようになっていますか。また、仕事が終わって帰宅するのは何時ごろですか。午前・午後いずれかを○印で囲み、□に時刻を記入してください。日によって時間が異なる場合は、多い時間を記入してください。

ふだんの始業時刻は、「午前８時台」が 35.3%で最も高く、次いで「午前９時台」34.0%、「午前 10 時台」5.3%、「午前７時台」9.3%などとなっている。

就労形態別でみると、正社員・正職員では「午前８時台」が５割を超えて最も高くなっている。派遣・パート・臨時では、正社員・正職員に比べて始業時刻に幅がある。

図３－11　始業時刻

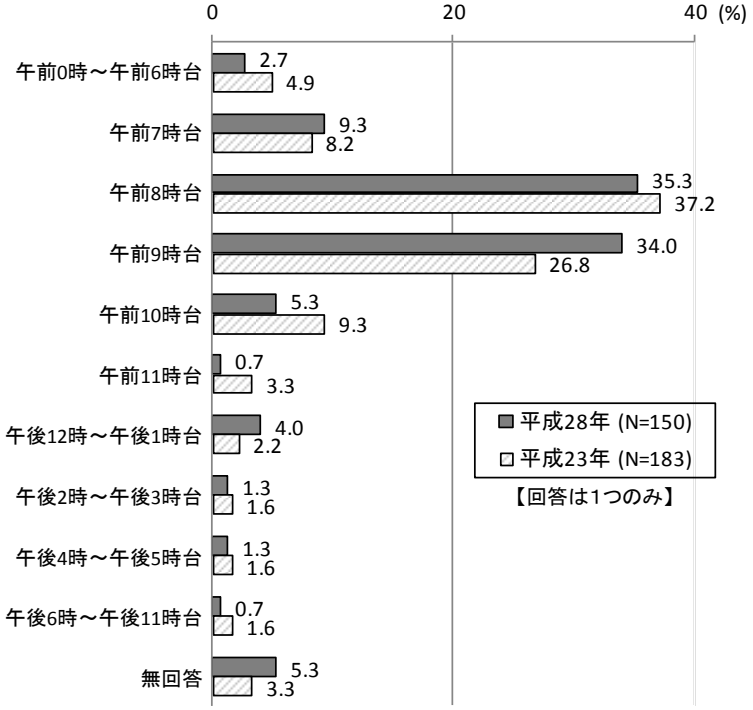


表３－12　始業時刻

(%)

		標本数	～午前6時台	午前0時台	午前7時台	午前8時台	午前9時台	午前10時台	午前11時台	～午後1時台	午後12時台	～午後3時台	～午後5時台	～午後1時台	無回答
全体		150	4	14	53	51	8	1	6	2	2	1	8
		100.0	2.7	9.3	35.3	34.0	5.3	0.7	4.0	1.3	1.3	0.7	5.3
時系列	平成23年	183	4.9	8.2	37.2	26.8	9.3	3.3	2.2	1.6	1.6	1.6	3.3
	平成18年	199	4.0	8.5	29.6	29.6	10.1	2.0	2.0	1.5	3.5	2.5	6.5
就労形態別	自営業主	8	－	－	25.0	25.0	－	12.5	－	－	12.5	－	25.0
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	3.3	3.3	53.3	31.7	3.3	－	3.3	－	－	－	1.7
	派遣・パート・臨時	75	2.7	14.7	24.0	38.7	8.0	－	5.3	2.7	1.3	1.3	1.3
	その他	3	－	33.3	33.3	33.3	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	－	4.3	26.1	65.2	－	－	－	－	－	－	4.3
	小倉北区	30	3.3	6.7	23.3	30.0	16.7	3.3	10.0	3.3	－	－	3.3
	小倉南区	29	3.4	10.3	24.1	34.5	3.4	－	3.4	3.4	－	3.4	13.8
	若松区	13	－	－	46.2	30.8	7.7	－	7.7	－	－	－	7.7
	八幡東区	10	－	20.0	60.0	10.0	－	－	－	－	－	－	10.0
	八幡西区	37	5.4	13.5	45.9	27.0	2.7	－	－	－	5.4	－	－
	戸畑区	8	－	12.5	50.0	25.0	－	－	12.5	－	－	－	－

帰宅時刻は、「午後６時台」が 24.0％と最も高く、次いで「午後７時台」22.0％、「午後５時台」14.7％、「午後８時台」12.0％などとなっている。

前回調査と比較すると、「午後７時台」が 9.4 ポイント、「午後８時台」が 9.3 ポイント増加している。

就労形態別では、正社員・正職員では「午後６時台」「午後７時台」が約３割と高く、派遣・パート・臨時では帰宅時刻は分散している。

図３－12　帰宅時刻

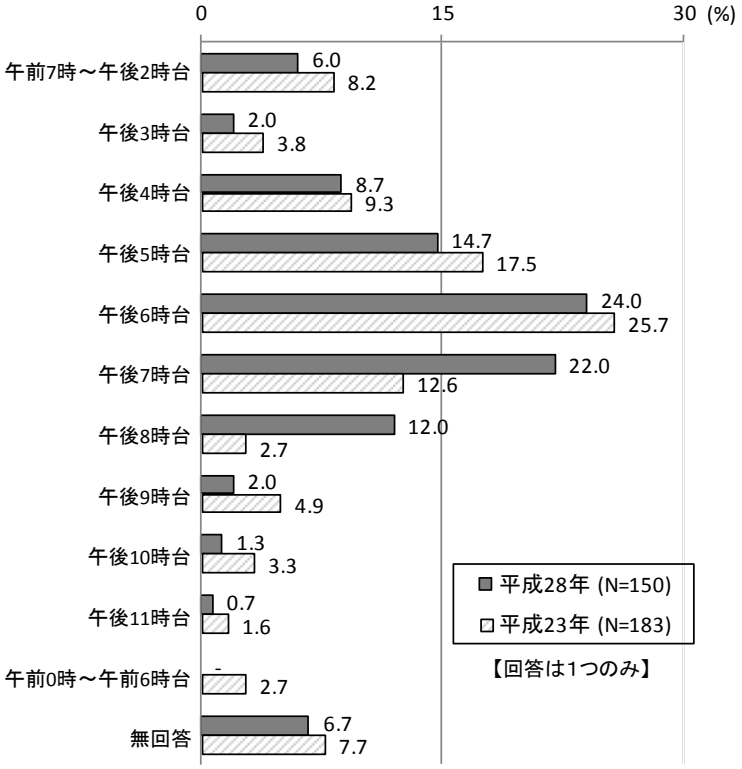


表３－13　帰宅時刻

(%)

		標本数	～午前7時 午後2時台	午後3時台	午後4時台	午後5時台	午後6時台	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時台	～午前0時 午前6時台	無回答
全体		150	9	3	13	22	36	33	18	3	2	1	－	10
		100.0	6.0	2.0	8.7	14.7	24.0	22.0	12.0	2.0	1.3	0.7	－	6.7
時系列	平成23年	183	8.2	3.8	9.3	17.5	25.7	12.6	2.7	4.9	3.3	1.6	2.7	7.7
	平成18年	199	7.5	1.5	6.0	15.1	24.6	14.6	6.0	1.5	4.0	1.0	6.0	12.1
就労形態別	自営業主	8	－	－	－	－	12.5	25.0	25.0	12.5	－	－	－	25.0
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	－	1.7	3.3	13.3	33.3	30.0	15.0	－	1.7	－	－	1.7
	派遣・パート・臨時	75	12.0	2.7	13.3	17.3	20.0	17.3	9.3	2.7	1.3	1.3	－	2.7
	その他	3	－	－	33.3	33.3	－	－	－	－	－	－	－	33.3
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	8.7	4.3	－	17.4	17.4	26.1	13.0	－	－	4.3	－	8.7
	小倉北区	30	6.7	－	20.0	6.7	10.0	30.0	16.7	3.3	3.3	－	－	3.3
	小倉南区	29	6.9	3.4	6.9	10.3	27.6	20.7	10.3	－	－	－	－	13.8
	若松区	13	－	－	7.7	15.4	30.8	38.5	－	－	－	－	－	7.7
	八幡東区	10	10.0	－	10.0	20.0	40.0	10.0	－	－	－	－	－	10.0
	八幡西区	37	5.4	2.7	5.4	21.6	27.0	16.2	16.2	2.7	2.7	－	－	－
	戸畑区	8	－	－	12.5	12.5	37.5	－	12.5	12.5	－	－	－	12.5

１日あたりの労働時間は、「９～10 時間未満」が 28.7％と最も高く、次いで「８～９時間未満」26.7％、「10～11 時間未満」13.3％などとなっている。

前回調査と比較すると、「９～10 時間未満」が 14.5 ポイント、「10～11 時間未満」が 6.7 ポイント増加するなど、労働時間が長くなっている。

就労形態別でみると、派遣・パート・臨時では労働時間に幅があり、「６時間未満」も２割を超えている。

図３－13　労働時間

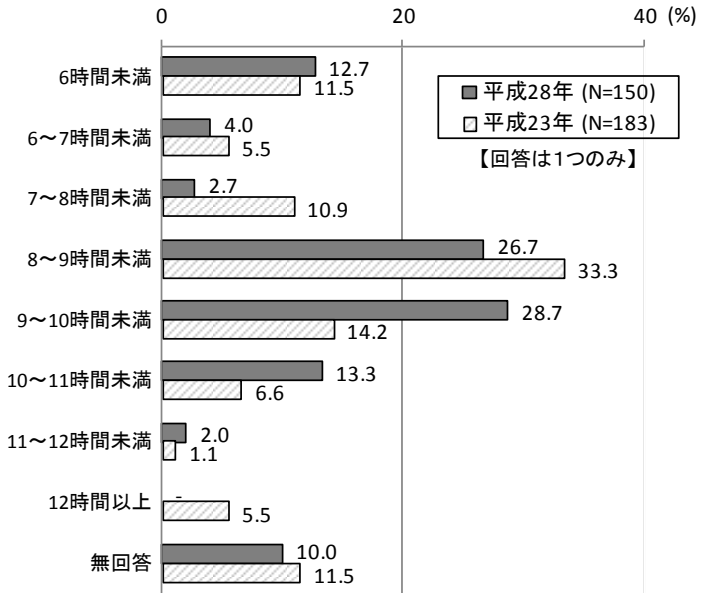


表３－14　労働時間

（%）

		標本数	6時間未満	7～6時間未満	8～7時間未満	9～8時間未満	10～9時間未満	11～10時間未満	12～11時間未満	12時間以上	無回答
全体		150	19	6	4	40	43	20	3	－	15
		100.0	12.7	4.0	2.7	26.7	28.7	13.3	2.0	－	10.0
時系列	平成23年	183	11.5	5.5	10.9	33.3	14.2	6.6	1.1	5.5	11.5
	平成18年	199	15.6	5.0	4.0	22.1	25.6	6.0	4.0	4.0	13.6
就労形態別	自営業主	8	12.5	－	－	12.5	25.0	25.0	－	－	25.0
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	1.7	－	－	31.7	38.3	18.3	－	－	10.0
	派遣・パート・臨時	75	21.3	8.0	4.0	26.7	22.7	9.3	4.0	－	4.0
	その他	3	33.3	－	33.3	－	33.3	－	－	－	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	13.0	8.7	－	21.7	21.7	17.4	－	－	17.4
	小倉北区	30	23.3	6.7	3.3	20.0	23.3	13.3	3.3	－	6.7
	小倉南区	29	10.3	3.4	－	31.0	31.0	10.3	－	－	13.8
	若松区	13	－	7.7	7.7	30.8	30.8	15.4	－	－	7.7
	八幡東区	10	10.0	－	－	60.0	10.0	10.0	－	－	10.0
	八幡西区	37	10.8	－	2.7	21.6	37.8	13.5	5.4	－	8.1
	戸畑区	8	12.5	－	12.5	25.0	37.5	12.5	－	－	－

（７）仕事による収入

問６－６　あなたの仕事による収入は、平均すると１ヶ月に手取りでどのくらいになりますか。
賞与（ボーナス）など臨時的に支給されるものは除きます。（○印は１つ）

仕事による１ヶ月あたりの収入は、「10～15 万円未満」が 30.7％で最も高く、次いで「15～20 万円未満」24.7％、「５～10 万円未満」20.0％などとなっている。また、１ヶ月あたりの平均収入は約 15 万円となっており、前回調査より約 1,000 円減少している。

年齢別では、年齢が高いほど平均収入は低く、65 歳以上では、『10 万円未満』が 75.0％を占めている。

就労形態別でみると、正社員・正職員では「15～20 万円未満」が 35.0％で最も高く、平均収入は約 18 万 8,000 円だが、派遣・パート・臨時では「５～10 万未満」が 38.7％で最も高く、平均収入は約 11 万 5,000 円と、正社員・正職員に比べ約７万 3,000 円低くなっている。

図３－14　仕事による収入

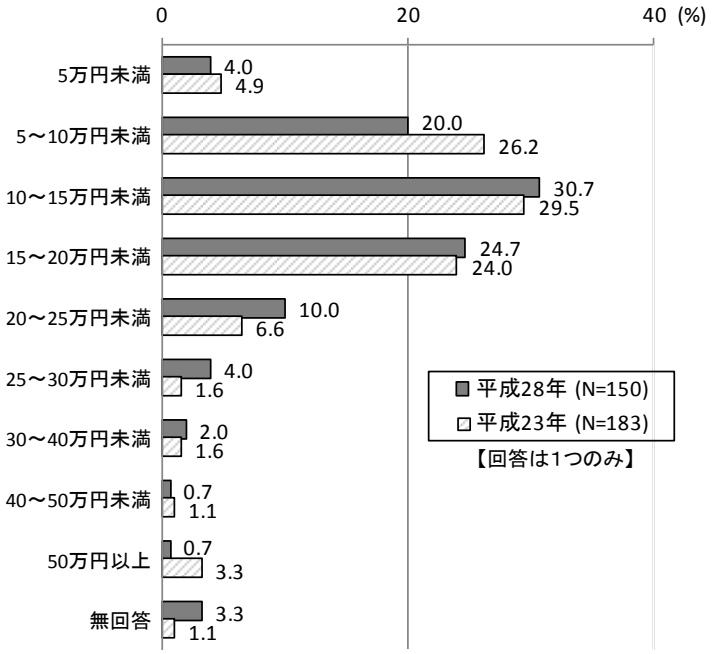


表３－15　仕事による収入

(%)

		標本数	5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50万円以上	無回答	平均（万円）
全体		150	6	30	46	37	15	6	3	1	1	5	
		100.0	4.0	20.0	30.7	24.7	10.0	4.0	2.0	0.7	0.7	3.3	15.0
時系列	平成23年	183	4.9	26.2	29.5	24.0	6.6	1.6	1.6	1.1	3.3	1.1	15.1
	平成18年	199	11.6	25.1	28.6	14.6	9.0	5.0	2.5	0.5	1.5	1.5	13.9
年齢別	39歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	40歳代	20	5.0	10.0	45.0	10.0	15.0	－	5.0	－	5.0	5.0	17.2
	50歳代	70	－	14.3	30.0	30.0	11.4	7.1	1.4	1.4	－	4.3	16.5
	60～64歳	52	7.7	25.0	28.8	25.0	7.7	1.9	1.9	－	－	1.9	13.2
	65歳以上	8	12.5	62.5	12.5	12.5	－	－	－	－	－	－	8.8
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
理由別	死別	32	9.4	25.0	21.9	25.0	6.3	－	3.1	－	3.1	6.3	14.5
	離婚	95	1.1	20.0	33.7	25.3	9.5	5.3	1.1	1.1	－	3.2	15.1
	その他の生別	8	－	－	－	37.5	37.5	12.5	12.5	－	－	－	22.8
	かつて母子家庭ではなかった	7	14.3	14.3	57.1	－	14.3	－	－	－	－	－	11.8
	無回答	8	12.5	25.0	37.5	25.0	－	－	－	－	－	－	11.3
就労形態別	自営業主	8	12.5	12.5	25.0	－	－	12.5	12.5	－	12.5	12.5	22.5
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	正社員・正職員	60	－	－	31.7	35.0	20.0	8.3	3.3	1.7	－	－	18.8
	派遣・パート・臨時	75	4.0	38.7	33.3	21.3	2.7	－	－	－	－	－	11.5
	その他	3	66.7	－	－	－	33.3	－	－	－	－	－	9.2
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	
行政区	門司区	23	8.7	26.1	26.1	21.7	4.3	8.7	－	－	－	4.3	13.2
	小倉北区	30	3.3	30.0	16.7	23.3	10.0	6.7	3.3	3.3	－	3.3	15.8
	小倉南区	29	－	13.8	34.5	20.7	13.8	3.4	3.4	－	－	10.3	15.9
	若松区	13	－	23.1	15.4	46.2	7.7	－	－	－	7.7	－	18.1
	八幡東区	10	10.0	10.0	50.0	20.0	－	10.0	－	－	－	－	13.5
	八幡西区	37	－	16.2	37.8	27.0	16.2	－	2.7	－	－	－	15.3
	戸畑区	8	25.0	12.5	50.0	12.5	－	－	－	－	－	－	10.0

※ 平均は「5万円未満」は2.5万円、「5～10万円未満」は7.5万円など、それぞれ中間値をとり、「50万円以上」は60万円とし、無回答を除いた標本数で算出した。

（８）仕事上の不安や不満、悩み

問６－７　あなたは、いまの仕事を続ける上で、不安や不満、悩みなどがありますか。
（○印は３つまで）

仕事上の不安や不満、悩みについては、「収入が少ない」が 42.0％と最も高く、次いで「休みが取りにくい」22.0％、「仕事がきつい」16.7％、「職場の人間関係」14.7％、「税金が高い」14.0％、「雇用や身分が不安定」13.3％となっている。一方、「特にない」も 16.7％みられる。

前回調査と比較すると、「職場の人間関係」や「残業が多い」、「仕事が向いていない」などはやや増加しており、「昇給・昇進が遅い」は減少している。また、「特にない」も 4.6 ポイント減少している。

年齢別にみると、ほとんどの年齢層で「収入が少ない」が最も高くなっているが、年齢が上がるほど割合は下がっている。「休みが取りにくい」は 50 歳代で他の年齢層に比べて高くなっている。

図３－15　仕事上の不安や不満、悩み［複数回答］

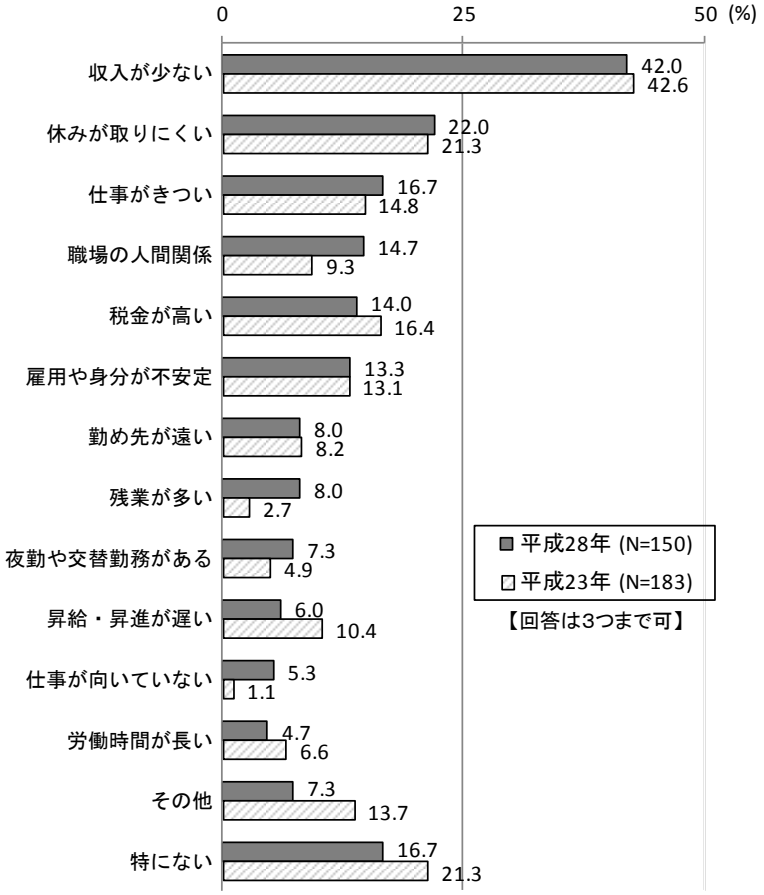


表３－16　仕事上の不安や不満、悩み［複数回答］

(%)

		標本数	勤め先が遠い	労働時間が長い	夜勤や交替勤務がある	残業が多い	休みが取りにくい	収入が少ない	税金が高い	雇用や身分が不安定	昇給・昇進が遅い	仕事が向いていない	仕事がきつい	職場の人間関係	その他	特にない	無回答
全体		150	12	7	11	12	33	63	21	20	9	8	25	22	11	25	6
		100.0	8.0	4.7	7.3	8.0	22.0	42.0	14.0	13.3	6.0	5.3	16.7	14.7	7.3	16.7	4.0
時系列	平成23年	183	8.2	6.6	4.9	2.7	21.3	42.6	16.4	13.1	10.4	1.1	14.8	9.3	13.7	21.3	1.1
	平成18年	199	7.0	5.5	2.5	3.0	19.6	44.7	17.6	13.6	12.6	2.5	13.1	15.1	7.0	22.6	2.5
年齢別	39歳以下	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	20	25.0	5.0	10.0	15.0	5.0	65.0	15.0	30.0	10.0	5.0	15.0	10.0	15.0	－	5.0
	50歳代	70	7.1	7.1	8.6	10.0	34.3	41.4	11.4	7.1	5.7	8.6	14.3	10.0	5.7	17.1	5.7
	60～64歳	52	3.8	1.9	5.8	3.8	13.5	38.5	17.3	17.3	5.8	1.9	21.2	23.1	5.8	17.3	1.9
	65歳以上	8	－	－	－	－	12.5	12.5	12.5	－	－	－	12.5	12.5	12.5	50.0	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	－	－	－	－	12.5	37.5	25.0	－	－	－	12.5	－	25.0	25.0	12.5
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	8.3	5.0	11.7	15.0	33.3	36.7	18.3	－	5.0	10.0	18.3	25.0	8.3	11.7	1.7
	派遣・パート・臨時	75	9.3	5.3	5.3	4.0	16.0	49.3	10.7	25.3	8.0	2.7	16.0	9.3	5.3	20.0	－
	その他	3	－	－	－	－	－	33.3	－	33.3	－	－	33.3	－	－	33.3	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
継続意向別	いまの仕事を続けたい	99	7.1	5.1	5.1	6.1	17.2	38.4	15.2	10.1	8.1	1.0	12.1	10.1	8.1	23.2	2.0
	他の仕事に変わりたい	30	10.0	3.3	10.0	13.3	33.3	60.0	13.3	23.3	3.3	16.7	23.3	20.0	10.0	3.3	－
	仕事をやめたい	14	14.3	7.1	21.4	14.3	35.7	42.9	14.3	14.3	－	14.3	42.9	42.9	－	－	－
	無回答	7	－	－	－	－	14.3	14.3	－	14.3	－	－	－	－	－	14.3	57.1
行政区	門司区	23	－	4.3	4.3	8.7	13.0	47.8	17.4	8.7	13.0	13.0	8.7	26.1	8.7	17.4	4.3
	小倉北区	30	10.0	6.7	16.7	6.7	30.0	33.3	3.3	23.3	3.3	－	16.7	13.3	13.3	3.3	6.7
	小倉南区	29	3.4	3.4	6.9	13.8	20.7	48.3	3.4	13.8	6.9	－	27.6	13.8	3.4	13.8	10.3
	若松区	13	7.7	－	－	7.7	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7	－	15.4	－	7.7	38.5	－
	八幡東区	10	－	10.0	－	10.0	30.0	40.0	30.0	10.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	－
	八幡西区	37	16.2	5.4	5.4	5.4	16.2	43.2	29.7	13.5	2.7	8.1	10.8	16.2	5.4	18.9	－
	戸畑区	8	12.5	－	12.5	－	25.0	50.0	－	－	－	－	12.5	12.5	－	37.5	－

（９）現在の仕事の継続意向

問６－８　あなたは、いまの仕事を今後も続けたいと思いますか。（○印は１つ）

現在の仕事を続けることについては、「いまの仕事を続けたい」が 66.0％を占めているが、「他の仕事に変わりたい」20.0％と「仕事をやめたい」9.3％を合わせて『転職・退職したい』人が 29.3％と少なくない。

前回調査と比較すると、継続意向が 10 ポイント低下している。

年齢別にみると、40 歳代では「他の仕事に変わりたい」の割合が高くなっている。

就労形態別でみると、正社員・正職員の方が、派遣・パート・臨時よりも「仕事をやめたい」の割合が高くなっている。

図３－16　現在の仕事の継続意向

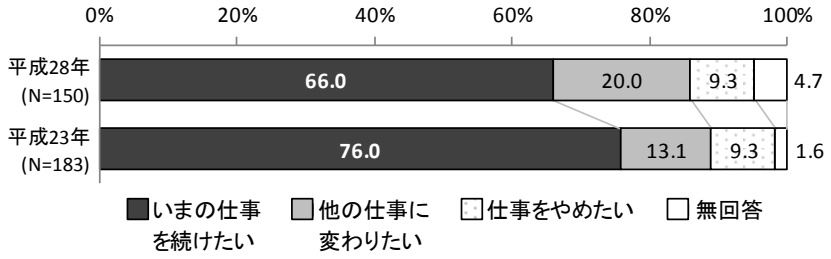


表３－17　現在の仕事の継続意向

(%)

		標本数	いまの仕事を続けたい	他の仕事に変わりたい	仕事をやめたい	無回答
全体		150	99	30	14	7
		100.0	66.0	20.0	9.3	4.7
時系列	平成23年	183	76.0	13.1	9.3	1.6
	平成18年	199	70.4	15.1	11.6	3.0
年齢別	39歳以下	－	－	－	－	－
	40歳代	20	50.0	35.0	10.0	5.0
	50歳代	70	71.4	15.7	7.1	5.7
	60～64歳	52	59.6	23.1	13.5	3.8
	65歳以上	8	100.0	－	－	－
	無回答	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	100.0	－	－	－
	家族従事者	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	60.0	23.3	15.0	1.7
	派遣・パート・臨時	75	69.3	21.3	6.7	2.7
	その他	3	100.0	－	－	－
	無回答	4	－	－	－	100.0
行政区	門司区	23	65.2	17.4	13.0	4.3
	小倉北区	30	70.0	20.0	3.3	6.7
	小倉南区	29	58.6	17.2	13.8	10.3
	若松区	13	76.9	23.1	－	－
	八幡東区	10	50.0	40.0	10.0	－
	八幡西区	37	70.3	18.9	8.1	2.7
	戸畑区	8	62.5	12.5	25.0	－

（10）就業していない理由

問６－９　あなたが、いま仕事を持っていないのは主にどのような理由ですか。（○印は１つ）

現在無職の寡婦は全体の 28.6%（60 人）だが、仕事を持っていない理由は、「自分が病気・病弱のため」が 35.0%と最も高く、次いで「働かなくても経済的に困らない」28.3%、「家族の世話や介護のため」と、「自分の希望に合った仕事がない」が同率 8.3%などとなっている。

前回調査と比較すると、「自分が病気・病弱のため」と「働かなくても経済的に困らない」が 10 ポイント前後増加している。

年齢別にみると、「働かなくても経済的に困らない」は年齢が上がるほど割合は高くなり、「自分が病気・病弱のため」は 60～64 歳でやや高くなっている。50 歳代では「家族の世話や介護のため」割合が４割を超えている。

図３－17　就業していない理由

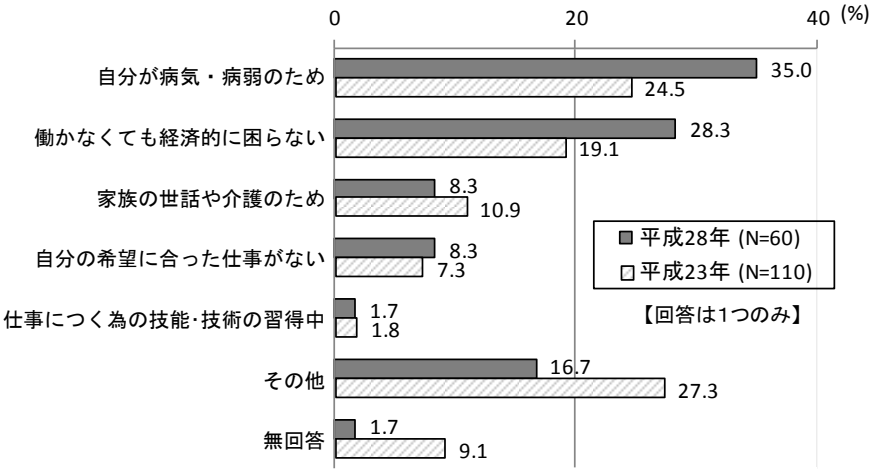


表３－18　就業していない理由

(%)

		標本数	働かなくても経済的に困らない	自分が病気・病弱のため	家族の世話や介護のため	自分の希望に合った仕事がない	仕事につく為の技能・技術の習得中	その他	無回答
全体		60	17	21	5	5	1	10	1
		100.0	28.3	35.0	8.3	8.3	1.7	16.7	1.7
時系列	平成23年	110	19.1	24.5	10.9	7.3	1.8	27.3	9.1
	平成18年	177	20.9	20.3	5.1	15.8	－	29.4	8.5
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	2	－	50.0	－	－	－	－	50.0
	50歳代	12	8.3	41.7	41.7	－	－	8.3	－
	60～64歳	11	27.3	45.5	－	27.3	－	－	－
	65歳以上	33	36.4	30.3	－	3.0	3.0	27.3	－
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	7	57.1	－	14.3	－	－	14.3	14.3
	小倉北区	13	－	38.5	15.4	15.4	－	30.8	－
	小倉南区	10	50.0	30.0	10.0	－	－	10.0	－
	若松区	6	16.7	16.7	－	16.7	－	50.0	－
	八幡東区	6	33.3	50.0	－	16.7	－	－	－
	八幡西区	18	27.8	50.0	5.6	5.6	5.6	5.6	－
	戸畑区	－	－	－	－	－	－	－	－

（11）今後の就業意向

問６－10　あなたは今後、仕事を持ちたいと思いますか。（○印は１つ）

現在無職の人の今後の就業意向について、「仕事を持つつもりはない」が 51.7％と高く、「いま仕事を探している」5.0％と「そのうち仕事を持ちたい」10.0％を合わせた就業意向を持っている人は 15.0％にとどまっている。「いまのところ分からない」は 20.0％となっている。

前回調査と比較すると、「仕事を持つつもりはない」が 9.9 ポイント増加している。

年齢別にみると、65 歳以上では「仕事を持つつもりはない」７割を超えているが、60～64 歳では３割弱となっている。

図３－18　今後の就業意向

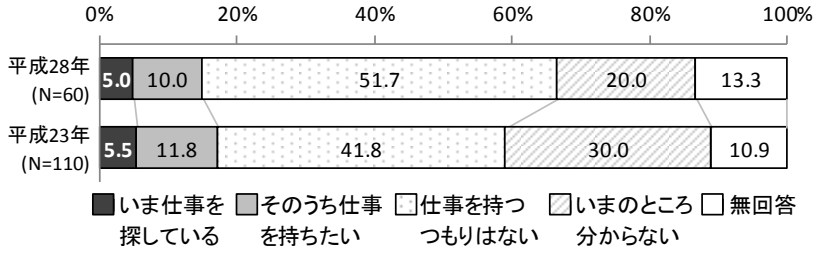


表３－19　今後の就業意向

（%）

		標本数	いま仕事を探している	そのうち仕事を持ちたい	仕事を持つつもりはない	いまのところ分からない	無回答
全体		60	3	6	31	12	8
		100.0	5.0	10.0	51.7	20.0	13.3
時系列	平成23年	110	5.5	11.8	41.8	30.0	10.9
	平成18年	177	10.2	8.5	45.2	21.5	14.7
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－
	40歳代	2	－	50.0	－	－	50.0
	50歳代	12	－	25.0	33.3	41.7	－
	60～64歳	11	9.1	9.1	27.3	36.4	18.2
	65歳以上	33	3.0	3.0	72.7	9.1	12.1
	無回答	1	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	7	－	－	14.3	57.1	28.6
	小倉北区	13	7.7	15.4	53.8	23.1	－
	小倉南区	10	－	－	70.0	10.0	20.0
	若松区	6	－	16.7	66.7	－	16.7
	八幡東区	6	－	16.7	33.3	33.3	16.7
	八幡西区	18	11.1	11.1	55.6	11.1	11.1
	戸畑区	－	－	－	－	－	－

問６－１０－１　（仕事を探している、仕事を持ちたいと答えた方に）では、どんな仕事を持ちたいと思いますか。（○印は１つ）

就業意向のある人（９人）の希望する就労形態は、「正社員・正職員として勤めたい」が３人、「派遣・契約社員として勤めたい」「パートとして勤めたい」「家庭内で内職をしたい」がそれぞれ２人となっており、６割以上が非正規雇用で働きたいと答えている。

図３－19　希望する就労形態

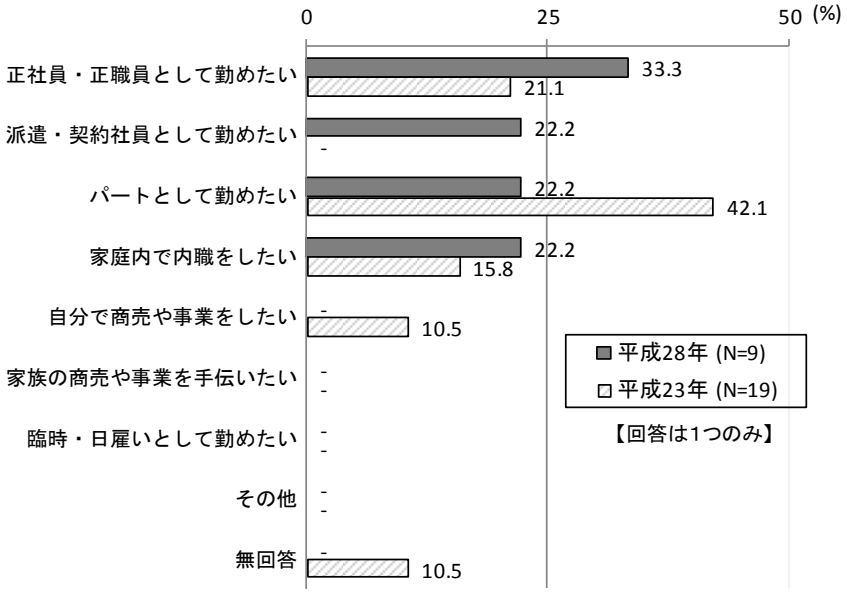


表３－20　希望する就労形態

(%)

		標本数	自分で商売や事業をしたい	家族の商売や事業を手伝いたい	正社員・正職員として勤めたい	派遣・契約社員として勤めたい	パートとして勤めたい	臨時・日雇いとして勤めたい	家庭内で内職をしたい	その他	無回答
全体		9	－	－	3	2	2	－	2	－	－
		100.0	－	－	33.3	22.2	22.2	－	22.2	－	－
時系列	平成23年	19	10.5	－	21.1	－	42.1	－	15.8	－	10.5
	平成18年	33	－	－	18.2	6.1	60.6	6.1	3.0	－	6.1
行政区	門司区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小倉北区	3	－	－	33.3	33.3	－	－	33.3	－	－
	小倉南区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	若松区	1	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
	八幡東区	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－
	八幡西区	4	－	－	25.0	25.0	25.0	－	25.0	－	－
	戸畑区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

問６－１０－２　（仕事を探している、仕事を持ちたいと答えた方に）主にどのような方法で仕事を探しますか。（○印は１つ）

就業意向のある人（９人）が考えている求職方法は、「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が 55.6%、「新聞などの求人広告」が 33.3%となっている。

前回調査と比較すると、「友人・知人の紹介」が減少し、「新聞などの求人広告」「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が増加している。

図３－20　求職方法

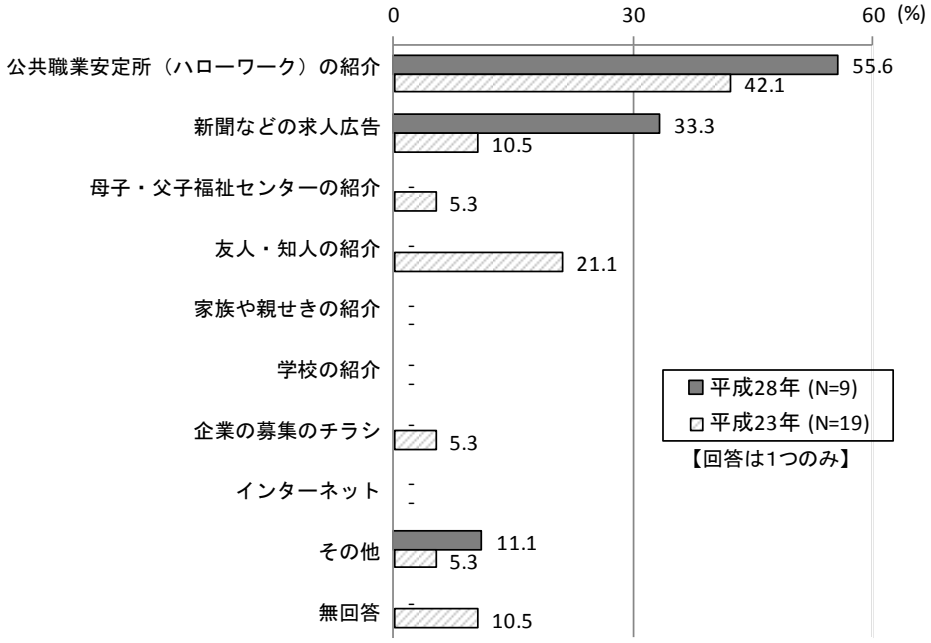


表３－21　求職方法

(%)

		標本数	公共職業安定所（ハローワーク）の紹介	母子・父子福祉センターの紹介	友人・知人の紹介	家族や親せきの紹介	学校の紹介	新聞などの求人広告	企業の募集のチラシ	インターネット	その他	無回答
全体		9	5	－	－	－	－	3	－	－	1	－
		100.0	55.6	－	－	－	－	33.3	－	－	11.1	－
時系列	平成23年	19	42.1	5.3	21.1	－	－	10.5	5.3	－	5.3	10.5
	平成18年	33	39.4	－	9.1	－	－	33.3	15.2	－	－	3.0
行政区	門司区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小倉北区	3	33.3	－	－	－	－	66.7	－	－	－	－
	小倉南区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	若松区	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	八幡東区	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	八幡西区	4	50.0	－	－	－	－	25.0	－	－	25.0	－
	戸畑区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（12）現在持っている資格や技術

問７　あなたはいま、どのような資格や技術を持っていますか。そのなかで、現在の仕事に役立っているものはありますか。また、今後新たに取得したい資格や技術はありますか。
（○印はそれぞれ３つまで）

現在持っている資格や技術では、「自動車運転免許」が 60.0％と最も高く、次いで「簿記」19.5％、「ホームヘルパー・介護福祉士」16.2％、「珠算・速記など」14.8％、「原付バイクの運転免許」14.3％などとなっている。また、「特にない」も 12.4％みられる。

前回調査と比較すると、ほとんどの項目で増加しており、複数の資格を持つ人が増えている。

年齢別にみると、60 歳未満では７割以上が「自動車運転免許」を所持しており、年齢が上がるほど持っている人の割合は下がっている。「原付バイクの運転免許」「パソコン・ワープロ」についても年齢が上がるほど割合が減少し、「特にない」は 65 歳以上で４割を超える。

図３－21　現在持っている資格や技術［複数回答］

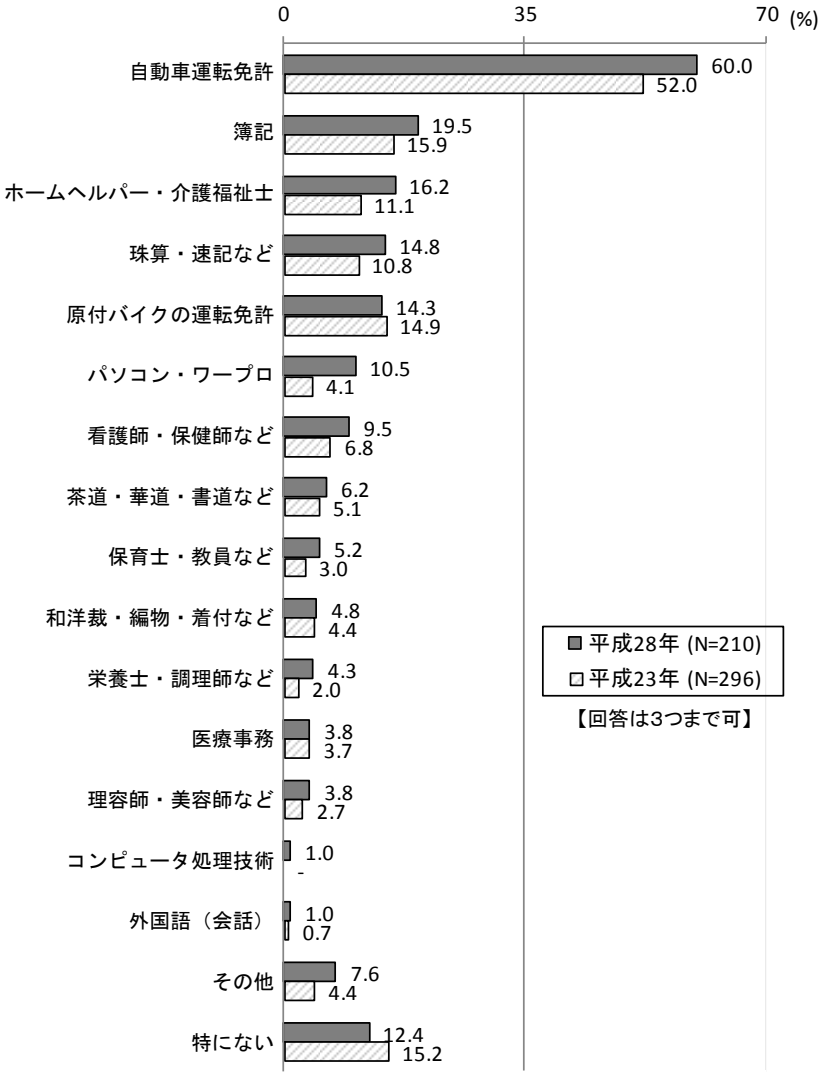


表３－22　現在持っている資格や技術［複数回答］

(%)

		標本数	自動車運転免許	原付バイクの運転免許	栄養士・調理師など	保育士・教員など	看護師・保健師など	医療事務	理容師・美容師など	和洋裁・編物・着付など	茶道・華道・書道など
全体		210	126	30	9	11	20	8	8	10	13
		100.0	60.0	14.3	4.3	5.2	9.5	3.8	3.8	4.8	6.2
時系列	平成23年	296	52.0	14.9	2.0	3.0	6.8	3.7	2.7	4.4	5.1
	平成18年	376	42.0	6.9	3.2	3.5	4.5	2.9	1.6	5.1	6.6
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	77.3	22.7	4.5	4.5	9.1	－	－	－	－
	50歳代	82	73.2	19.5	2.4	8.5	12.2	6.1	6.1	3.7	7.3
	60～64歳	63	66.7	12.7	7.9	3.2	7.9	4.8	3.2	6.3	7.9
	65歳以上	41	14.6	2.4	2.4	2.4	7.3	－	2.4	7.3	4.9
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	70.0	13.3	－	3.3	3.3	3.3	10.0	－	3.3
	小倉北区	43	55.8	23.3	2.3	4.7	9.3	9.3	4.7	2.3	2.3
	小倉南区	39	59.0	10.3	7.7	7.7	15.4	2.6	5.1	7.7	7.7
	若松区	19	63.2	5.3	－	5.3	21.1	－	－	－	5.3
	八幡東区	16	50.0	25.0	－	6.3	6.3	－	6.3	12.5	6.3
	八幡西区	55	58.2	12.7	9.1	5.5	7.3	3.6	－	7.3	10.9
	戸畑区	8	75.0	－	－	－	－	－	－	－	－

		標本数	簿記	珠算・速記など	パソコン・ワープロ	コンピュータ処理技術	外国語（会話）	ホームヘルパー・介護福祉士	その他	特にない	無回答
全体		210	41	31	22	2	2	34	16	26	23
		100.0	19.5	14.8	10.5	1.0	1.0	16.2	7.6	12.4	11.0
時系列	平成23年	296	15.9	10.8	4.1	－	0.7	11.1	4.4	15.2	16.2
	平成18年	376	14.1	9.8	6.6	0.8	0.3	7.7	2.4	16.5	24.7
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	31.8	22.7	18.2	－	－	18.2	18.2	4.5	9.1
	50歳代	82	20.7	14.6	12.2	1.2	1.2	17.1	8.5	3.7	8.5
	60～64歳	63	22.2	19.0	9.5	1.6	1.6	20.6	6.3	7.9	6.3
	65歳以上	41	4.9	4.9	4.9	－	－	4.9	2.4	41.5	22.0
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	30	30.0	26.7	16.7	－	－	13.3	16.7	10.0	10.0
	小倉北区	43	18.6	9.3	14.0	－	－	11.6	11.6	14.0	7.0
	小倉南区	39	23.1	12.8	5.1	－	－	15.4	5.1	5.1	10.3
	若松区	19	15.8	5.3	10.5	5.3	－	21.1	5.3	10.5	21.1
	八幡東区	16	－	－	6.3	6.3	－	25.0	6.3	18.8	18.8
	八幡西区	55	18.2	20.0	10.9	－	1.8	18.2	1.8	16.4	10.9
	戸畑区	8	25.0	25.0	－	－	12.5	12.5	12.5	12.5	－

(13) 現在役に立っている資格や技術

現在役に立っている資格や技術は、「自動車運転免許」が 32.4%と最も高く、次いで「ホームヘルパー・介護福祉士」8.1%、「看護師・保健師など」と「パソコン・ワープロ」が同率で 6.2%、「簿記」3.3%などとなっている。

年齢別でみると、40 歳代と 50 歳代では「看護師・保健師など」が、60～64 歳では「ホームヘルパー・介護福祉士」が他の年代と比べ高くなっている。

就労形態別にみると、正社員・正職員に比べて、派遣・パート・臨時ではほとんどの資格や技術で役に立っている割合が低くなっている。

図３－22　現在役に立っている資格や技術［複数回答］

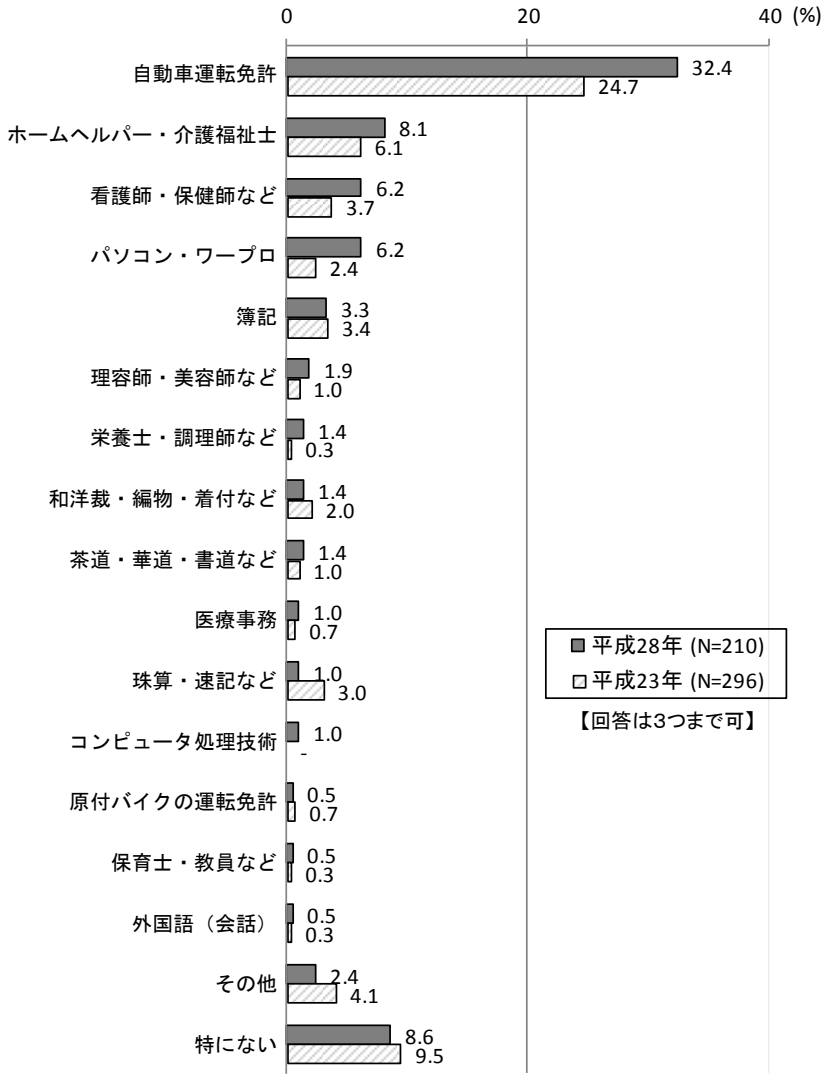


表３－23　現在役に立っている資格や技術［複数回答］

（%）

		標本数	自動車運転免許	原付バイクの運転免許	栄養士・調理師など	保育士・教員など	看護師・保健師など	医療事務	理容師・美容師など	和洋裁・編物・着付など	茶道・華道・書道など
全体		210	68	1	3	1	13	2	4	3	3
		100.0	32.4	0.5	1.4	0.5	6.2	1.0	1.9	1.4	1.4
時系列	平成23年	296	24.7	0.7	0.3	0.3	3.7	0.7	1.0	2.0	1.0
	平成18年	376	19.9	1.3	1.3	1.1	2.9	0.3	1.1	1.6	1.3
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	36.4	－	4.5	－	9.1	－	－	－	－
	50歳代	82	35.4	－	1.2	1.2	9.8	2.4	3.7	－	1.2
	60～64歳	63	44.4	1.6	1.6	－	3.2	－	1.6	1.6	1.6
	65歳以上	41	4.9	－	－	－	2.4	－	－	4.9	2.4
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	50.0	12.5	－	－	－	－	12.5	－	12.5
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	50.0	－	3.3	1.7	10.0	3.3	3.3	－	－
	派遣・パート・臨時	75	34.7	－	－	－	9.3	－	1.3	1.3	1.3
	その他	3	33.3	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	36.7	3.3	－	－	3.3	3.3	6.7	－	－
	小倉北区	43	25.6	－	－	－	7.0	2.3	2.3	－	－
	小倉南区	39	30.8	－	－	2.6	7.7	－	2.6	2.6	－
	若松区	19	36.8	－	－	－	15.8	－	－	－	－
	八幡東区	16	25.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	八幡西区	55	40.0	－	5.5	－	5.5	－	－	3.6	5.5
	戸畑区	8	12.5	－	－	－	－	－	－	－	－

		標本数	簿記	珠算・速記など	パソコン・ワープロ	コンピュータ処理技術	外国語（会話）	ホームヘルパー・介護福祉士	その他	特にない	無回答
全体		210	7	2	13	2	1	17	5	18	106
		100.0	3.3	1.0	6.2	1.0	0.5	8.1	2.4	8.6	50.5
時系列	平成23年	296	3.4	3.0	2.4	－	0.3	6.1	4.1	9.5	56.4
	平成18年	376	4.0	1.6	4.0	0.8	－	4.3	1.1	18.6	53.7
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	9.1	－	13.6	－	－	9.1	4.5	9.1	50.0
	50歳代	82	2.4	－	9.8	1.2	－	4.9	2.4	1.2	52.4
	60～64歳	63	4.8	1.6	1.6	1.6	1.6	14.3	3.2	6.3	42.9
	65歳以上	41	－	2.4	2.4	－	－	2.4	－	26.8	58.5
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
就労形態別	自営業主	8	12.5	12.5	－	－	－	－	25.0	－	50.0
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	6.7	－	8.3	1.7	－	18.3	3.3	1.7	33.3
	派遣・パート・臨時	75	1.3	－	8.0	1.3	1.3	6.7	1.3	5.3	53.3
	その他	3	－	－	－	－	－	－	－	－	66.7
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
行政区	門司区	30	10.0	－	13.3	－	－	3.3	6.7	6.7	46.7
	小倉北区	43	4.7	－	7.0	－	－	4.7	2.3	9.3	48.8
	小倉南区	39	－	－	－	－	－	10.3	－	5.1	59.0
	若松区	19	5.3	－	5.3	5.3	－	5.3	－	5.3	52.6
	八幡東区	16	－	－	6.3	6.3	－	12.5	6.3	18.8	56.3
	八幡西区	55	1.8	3.6	7.3	－	1.8	10.9	1.8	9.1	43.6
	戸畑区	8	－	－	－	－	－	12.5	－	12.5	62.5

（14）今後取得したい資格や技術

今後、何らかの資格・技術を取得したい人は21.4%となっている。取りたい資格や技術については、「パソコン・ワープロ」が12.4%と最も高く、次いで「外国語（会話）」4.3%、「コンピュータ処理技術」3.3%などとなっている。

年齢別にみると、「パソコン・ワープロ」や「外国語」は年齢が上がるほど割合は下がっており、65歳以上では半数近くが「特にない」としている。

就労形態別にみると、正社員・正職員では「外国語」が派遣・パート・臨時に比べて高くなっている。

図３－23　今後取得したい資格や技術［複数回答］

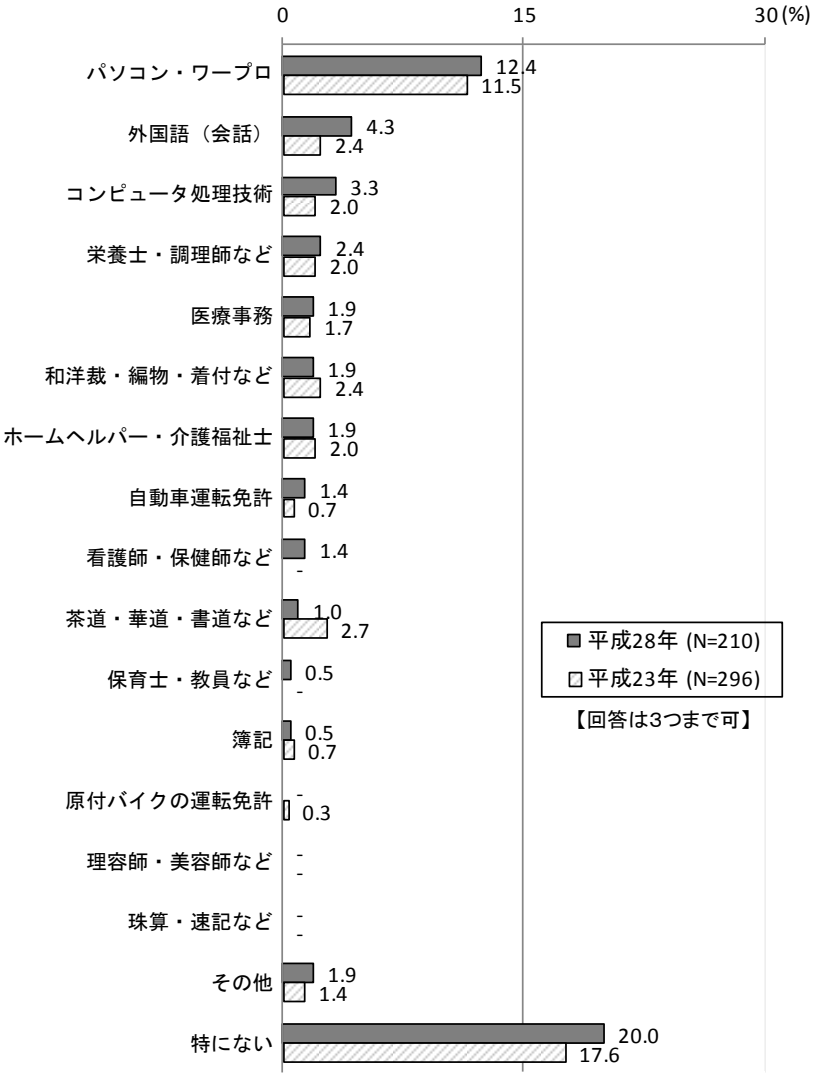


表３－24　今後取得したい資格や技術［複数回答］

（%）

		標本数	自動車運転免許	原付バイクの運転免許	栄養士・調理師など	保育士・教員など	看護師・保健師など	医療事務	理容師・美容師など	和洋裁・編物・着付など	茶道・華道・書道など
全体		210	3	－	5	1	3	4	－	4	2
		100.0	1.4	－	2.4	0.5	1.4	1.9	－	1.9	1.0
時系列	平成23年	296	0.7	0.3	2.0	－	－	1.7	－	2.4	2.7
	平成18年	376	2.4	0.3	1.9	0.3	0.3	1.6	0.5	1.3	1.6
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	4.5	－	4.5	－	4.5	4.5	－	－	－
	50歳代	82	－	－	2.4	1.2	1.2	1.2	－	2.4	1.2
	60～64歳	63	3.2	－	3.2	－	1.6	－	－	3.2	1.6
	65歳以上	41	－	－	－	－	－	2.4	－	－	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	1.7	－	1.7	1.7	3.3	1.7	－	1.7	1.7
	派遣・パート・臨時	75	1.3	－	4.0	－	－	2.7	－	2.7	1.3
	その他	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	－	－	－	－	3.3	－	－	10.0	3.3
	小倉北区	43	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小倉南区	39	2.6	－	－	－	2.6	2.6	－	－	－
	若松区	19	－	－	5.3	－	－	－	－	－	－
	八幡東区	16	6.3	－	－	－	6.3	6.3	－	6.3	－
	八幡西区	55	1.8	－	7.3	－	－	3.6	－	－	1.8
	戸畑区	8	－	－	－	12.5	－	－	－	－	－

		標本数	簿記	珠算・速記など	パソコン・ワープロ	コンピュータ処理技術	外国語（会話）	ホームヘルパー・介護福祉士	その他	特にない	無回答
全体		210	1	－	26	7	9	4	4	42	123
		100.0	0.5	－	12.4	3.3	4.3	1.9	1.9	20.0	58.6
時系列	平成23年	296	0.7	－	11.5	2.0	2.4	2.0	1.4	17.6	62.5
	平成18年	376	－	0.3	12.0	1.6	2.7	3.7	2.1	18.1	60.6
年齢別	39歳以下	1	－	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－
	40歳代	22	－	－	22.7	4.5	9.1	－	－	18.2	45.5
	50歳代	82	1.2	－	17.1	4.9	7.3	2.4	3.7	11.0	58.5
	60～64歳	63	－	－	9.5	1.6	1.6	1.6	1.6	14.3	69.8
	65歳以上	41	－	－	－	－	－	2.4	－	48.8	48.8
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
就労形態別	自営業主	8	－	－	－	－	－	－	－	25.0	75.0
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	1.7	－	16.7	5.0	13.3	3.3	5.0	8.3	58.3
	派遣・パート・臨時	75	－	－	17.3	4.0	1.3	2.7	1.3	12.0	61.3
	その他	3	－	－	－	－	－	－	－	33.3	66.7
	無回答	4	－	－	－	－	－	－	－	25.0	75.0
行政区	門司区	30	－	－	20.0	3.3	3.3	6.7	3.3	20.0	56.7
	小倉北区	43	－	－	9.3	2.3	4.7	－	－	20.9	67.4
	小倉南区	39	－	－	7.7	2.6	5.1	2.6	－	20.5	64.1
	若松区	19	－	－	26.3	－	5.3	－	5.3	21.1	42.1
	八幡東区	16	－	－	12.5	－	6.3	－	－	31.3	43.8
	八幡西区	55	1.8	－	10.9	7.3	3.6	－	3.6	14.5	58.2
	戸畑区	8	－	－	－	－	－	12.5	－	25.0	62.5

４．住宅の状況

（１）現在の住宅に住みはじめた時期と前住地

（ア）かつて母子家庭だった

問８－１　あなたが、いまの住宅に住みはじめたのはいつ頃からですか。（○印は１つ）

現在の住宅に住むようになった時期は、かつて母子家庭だった人（189 人）では、「母子家庭になった後から」は 39.2%、「母子家庭になる前から」は 33.9%となっている。

年齢別にみると、65 歳以上で「母子家庭になる前から」現在の住宅に住んでいる人が多くなっている。

図３－24　現在の住宅に住みはじめた時期（母子家庭だった）

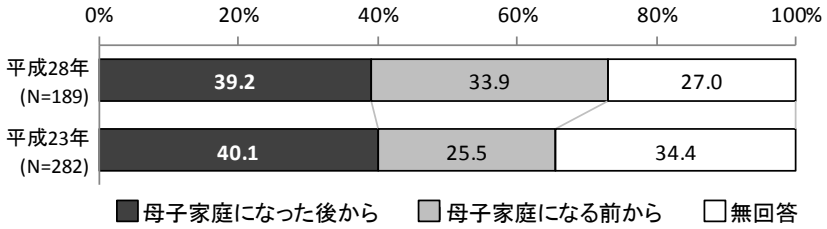


表３－25　現在の住宅に住みはじめた時期（母子家庭だった）

（%）

		標本数	母子家庭になった後から	母子家庭になる前から	無回答
全体		189	74	64	51
		100.0	39.2	33.9	27.0
時系列	平成23年	282	40.1	25.5	34.4
	平成18年	334	50.9	39.8	9.3
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－
	40歳代	18	55.6	27.8	16.7
	50歳代	75	46.7	29.3	24.0
	60～64歳	54	35.2	25.9	38.9
	65歳以上	40	25.0	52.5	22.5
	無回答	1	－	100.0	－
理由別	死別	71	21.1	52.1	26.8
	離婚	108	51.9	21.3	26.9
	その他の生別	10	30.0	40.0	30.0
	かつて母子家庭ではなかった	－	－	－	－
	無回答	－	－	－	－
行政区	門司区	27	59.3	22.2	18.5
	小倉北区	38	42.1	26.3	31.6
	小倉南区	34	32.4	35.3	32.4
	若松区	18	38.9	27.8	33.3
	八幡東区	15	40.0	53.3	6.7
	八幡西区	50	30.0	38.0	32.0
	戸畑区	7	42.9	57.1	－

問８－２　（母子家庭になった後、いまの住宅に住んでいると答えた方に）いまの住宅に住む前は、どちらに住んでいましたか。福岡県内、県外のいずれかを選び、福岡県内の場合は市町村名、県外の場合は都道府県名を記入してください。（○印は１つ）

母子家庭になった後から現在の住宅に住んでいる人（74 人）が以前に住んでいた地域（前住地）は、「北九州地域」が 83.8％と最も高く、次いで「県外」が 8.1％、「福岡地域」が 4.1％となっている。

図３－25　前住地（母子家庭だった）

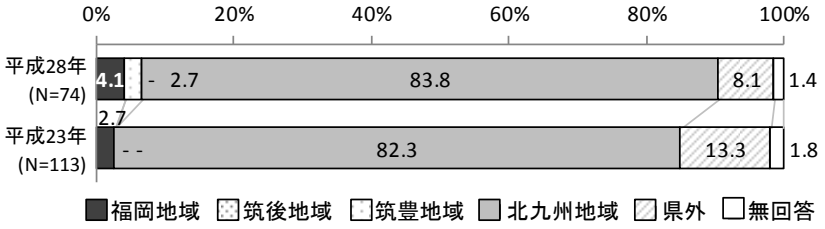


表３－26　前住地（母子家庭だった）

（%）

		標本数	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県外	無回答
全体		74	3	－	2	62	6	1
		100.0	4.1	－	2.7	83.8	8.1	1.4
列時系	平成23年	113	2.7	－	－	82.3	13.3	1.8
	平成18年	170	4.1	1.2	0.7	74.7	15.9	3.5
行政区	門司区	16	－	－	－	87.5	12.5	－
	小倉北区	16	6.3	－	－	81.3	12.5	－
	小倉南区	11	－	－	9.1	90.9	－	－
	若松区	7	14.3	－	－	71.4	－	14.3
	八幡東区	6	16.7	－	－	83.3	－	－
	八幡西区	15	－	－	6.7	80.0	13.3	－
	戸畑区	3	－	－	－	100.0	－	－

（イ）かつて母子家庭ではなかった

問８－３　あなたが、いまの住宅に住みはじめたのはいつ頃からですか。（○印は１つ）

現在の住宅に住むようになった時期は、かつて母子家庭ではなかった人（10 人）では、「寡婦になった後から」は 40.0%、「寡婦になる前から」は 60.0%となっている。

図３－26　現在の住宅に住みはじめた時期（母子家庭でなかった）

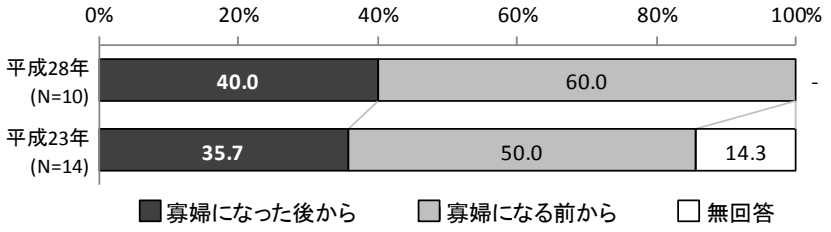


表３－27　現在の住宅に住みはじめた時期（母子家庭でなかった）

（%）

		標本数	寡婦になった後から	寡婦になる前から	無回答
全体		10	4	6	－
		100.0	40.0	60.0	－
列 時系	平成23年	14	35.7	50.0	14.3
	平成18年	42	38.1	59.5	2.4
行政区	門司区	2	100.0	－	－
	小倉北区	1	－	100.0	－
	小倉南区	2	50.0	50.0	－
	若松区	－	－	－	－
	八幡東区	－	－	－	－
	八幡西区	4	25.0	75.0	－
	戸畑区	1	－	100.0	－

問８－４　（寡婦になった後、いまの住宅に住んでいると答えた方に）いまの住宅に住む前は、どちらに住んでいましたか。福岡県内、県外のいずれかを選び、福岡県内の場合は市町村名、県外の場合は都道府県名を記入してください。（○印は１つ）

寡婦になった後から現在の住宅に住んでいる人（４人）の以前に住んでいた地域（前住地）は、「北九州地域」が 50.0%（２人）、「県外」が 25.0%（１人）となり、この２地域で全てを占めている。

図３－27　前住地（母子家庭でなかった）

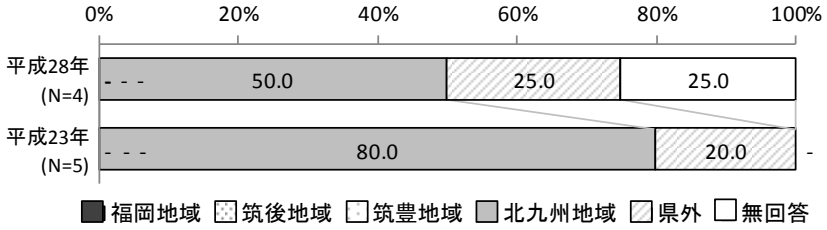


表３－28　前住地（母子家庭でなかった）

(%)

		標本数	福岡地域	筑後地域	筑豊地域	北九州地域	県外	無回答
全体		4	－	－	－	2	1	1
		100.0	－	－	－	50.0	25.0	25.0
時系列	平成23年	5	－	－	－	80.0	20.0	－
	平成18年	16	－	－	－	81.3	18.8	－
行政区	門司区	2	－	－	－	50.0	－	50.0
	小倉北区	－	－	－	－	－	－	－
	小倉南区	1	－	－	－	100.0	－	－
	若松区	－	－	－	－	－	－	－
	八幡東区	－	－	－	－	－	－	－
	八幡西区	1	－	－	－	－	100.0	－
	戸畑区	－	－	－	－	－	－	－

（２）住居形態

問９　あなたのいまの住居形態は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

現在の住居形態は、「自分名義の持ち家」が 31.0％と最も高く、次いで「家族名義の持ち家」20.5％、「民間借家・アパートなど」17.6％、「県営住宅・市営住宅」14.3％などとなっている。

年齢別にみると、40～50 歳代で「民間借家・アパートなど」が２割を超えているが、65 歳以上では 4.9％となっている。年齢が上がるほど「自分名義の持ち家」の割合は高くなり、65 歳以上では約４割を占めている。

図３－28　住居形態

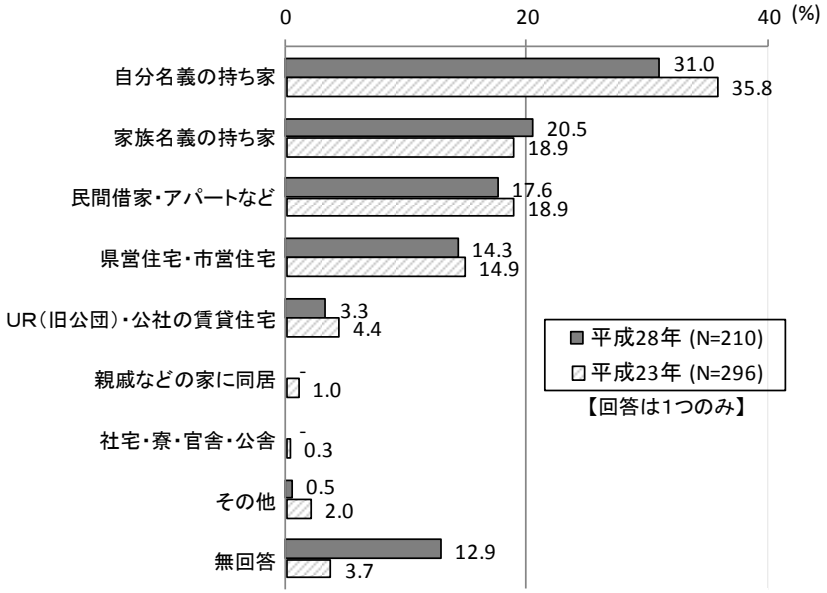


表３－29　住居形態

（%）

		標本数	自分名義の持ち家	家族名義の持ち家	親戚などの家に同居	県営住宅・市営住宅	UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	民間借家・アパートなど	社宅・寮・官舎・公舎	その他	無回答
全体		210	65	43	－	30	7	37	－	1	27
		100.0	31.0	20.5	－	14.3	3.3	17.6	－	0.5	12.9
時系列	平成23年	296	35.8	18.9	1.0	14.9	4.4	18.9	0.3	2.0	3.7
	平成18年	376	30.9	20.2	0.5	12.8	4.0	23.7	0.3	0.3	7.4
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	40歳代	22	22.7	18.2	－	13.6	4.5	22.7	－	－	18.2
	50歳代	82	28.0	23.2	－	12.2	2.4	23.2	－	－	11.0
	60～64歳	63	33.3	14.3	－	15.9	1.6	17.5	－	1.6	15.9
	65歳以上	41	39.0	24.4	－	14.6	7.3	4.9	－	－	9.8
	無回答	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
理由別	死別	71	46.5	28.2	－	9.9	4.2	5.6	－	－	5.6
	離婚	108	22.2	15.7	－	17.6	2.8	24.1	－	0.9	16.7
	その他の生別	10	20.0	30.0	－	20.0	－	10.0	－	－	20.0
	かつて母子家庭ではなかった	10	40.0	20.0	－	10.0	10.0	20.0	－	－	－
	無回答	11	18.2	9.1	－	9.1	－	36.4	－	－	27.3
行政区	門司区	30	40.0	13.3	－	16.7	－	10.0	－	3.3	16.7
	小倉北区	43	18.6	23.3	－	9.3	4.7	30.2	－	－	14.0
	小倉南区	39	25.6	23.1	－	2.6	7.7	33.3	－	－	7.7
	若松区	19	42.1	31.6	－	10.5	－	5.3	－	－	10.5
	八幡東区	16	56.3	18.8	－	6.3	－	－	－	－	18.8
	八幡西区	55	30.9	18.2	－	29.1	－	9.1	－	－	12.7
	戸畑区	8	12.5	12.5	－	12.5	25.0	25.0	－	－	12.5

（３） １ヶ月の家賃（借家の場合）

問９－１　（借家と答えた方に）１ヶ月の家賃はどのくらいですか。管理費、共益費、光熱費などは除きます。（○印は１つ）

借家に住んでいる人（75 人）の月額家賃は、「５～７万円未満」17.3%が最も高く、次いで「４～５万円未満」16.0%、「３～４万円未満」14.7%などとなっている。平均家賃は３万 6,000 円で前回調査結果と変わらない。

住居形態別でみると、県営住宅・市営住宅では、『３万円未満』が８割近くを占めており、平均額は約２万円となっている。民間借家・アパートなどでは「４～５万円未満」「５～７万円未満」がともに 29.7%で最も高く、平均額は約４万 8,000 円と県営住宅・市営住宅に比べ約２万 8,000 円高くなっている。

図３－29　１ヶ月の家賃

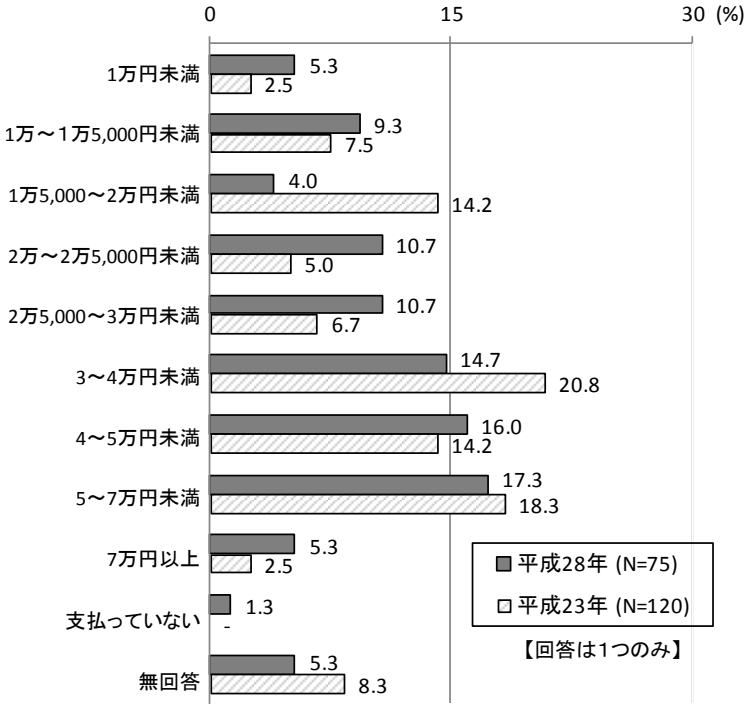


表３－30　１ヶ月の家賃

（%）

		標本数	1万円未満	1万～1万5000円未満	1万5000～2万円未満	2万～2万5000円未満	2万5000～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～7万円未満	7万円以上	支払っていない	無回答	平均（万円）
全体		75	4	7	3	8	8	11	12	13	4	1	4	
		100.0	5.3	9.3	4.0	10.7	10.7	14.7	16.0	17.3	5.3	1.3	5.3	3.6
時系列	平成23年	120	2.5	7.5	14.2	5.0	6.7	20.8	14.2	18.3	2.5	－	8.3	3.6
	平成18年	154	3.2	14.3	7.8	5.8	8.4	20.8	11.7	19.5	3.9	0.6	3.9	3.6
住居形態別	持ち家	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	親戚などの家に同居	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	県営住宅・市営住宅	30	10.0	23.3	10.0	23.3	10.0	16.7	－	－	－	－	6.7	2.0
	UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	7	－	－	－	－	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	－	－	4.6
	民間借家・アパートなど	37	－	－	－	2.7	8.1	13.5	29.7	29.7	8.1	2.7	5.4	4.8
	社宅・寮・官舎・公舎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.5
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	9	11.1	33.3	－	－	－	11.1	11.1	11.1	－	－	22.2	2.6
	小倉北区	19	－	5.3	－	10.5	10.5	－	26.3	15.8	21.1	5.3	5.3	4.7
	小倉南区	17	－	－	－	－	－	29.4	29.4	35.3	－	－	5.9	4.8
	若松区	3	－	－	－	－	－	66.7	－	33.3	－	－	－	4.3
	八幡東区	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.3
	八幡西区	21	14.3	9.5	9.5	28.6	14.3	14.3	4.8	4.8	－	－	－	2.4
	戸畑区	5	－	－	20.0	－	60.0	－	－	20.0	－	－	－	3.2

※ 平均は「1万円未満」は5000円、「1万～1万5000円未満」は1万2500円など、それぞれの中間値をとり、「7万円以上」は7万円として、「支払っていない」と無回答を除いた標本数で算出した。

（４）住宅に関する不満や悩み

問 10　あなたは、いまの住宅に何か不満、悩みなどがありますか。（○印は 3 つまで）

現在の住宅に関する不満や悩みは、「家が古い」が 29.0％と最も高く、次いで「家賃、または住宅ローンが高い」12.4％、「間取りや設備がよくない」11.4％、「日当たり・風通しがよくない」8.1％などとなっている。また、「特にない」は 37.1％である。

住居形態別でみると、持ち家では、ほとんどの項目で他に比べ割合が低く、「特にない」が５割を超え高くなっている。一方、ＵＲ（旧公団）・公社の賃貸住宅では「日当たり、風通しがよくない」の割合が高く、民間借家・アパートなどでは「家がせまい」「家が古い」「家賃、または住宅ローンが高い」などが高くなっている。

図３－30　住宅に関する不満や悩み［複数回答］

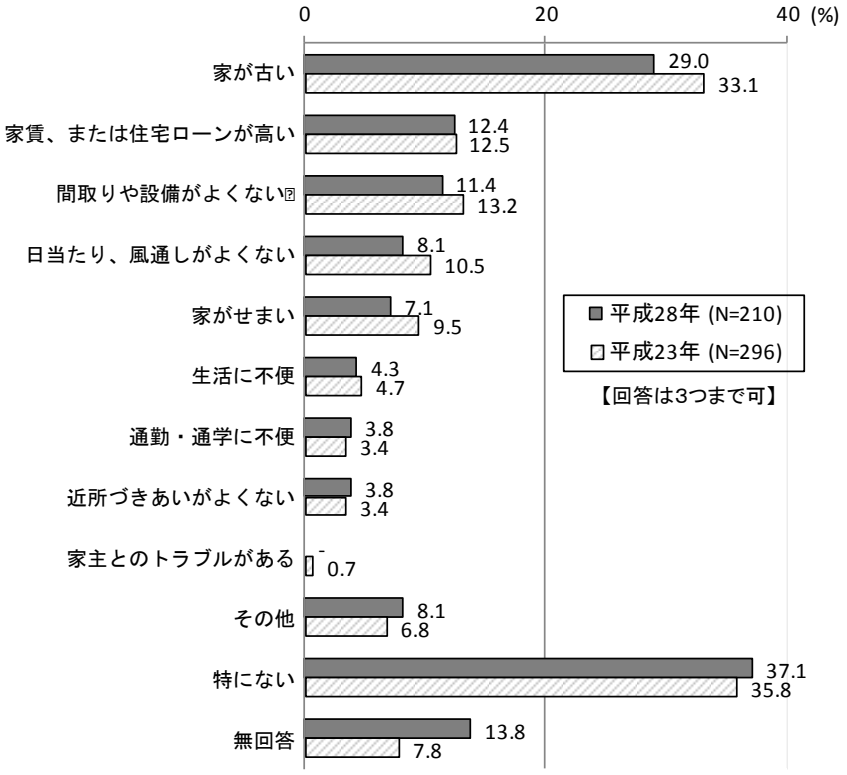


表３－31　住宅に関する不満や悩み［複数回答］

(%)

		標本数	家がせまい	家が古い	間取りや設備がよくない□	家賃、または住宅ローンが高い	生活に不便	通勤・通学に不便	日当たり、風通しがよくない	近所づきあいがよくない	家主とのトラブルがある	その他	特にない	無回答
全体		210	15	61	24	26	9	8	17	8	－	17	78	29
		100.0	7.1	29.0	11.4	12.4	4.3	3.8	8.1	3.8	－	8.1	37.1	13.8
時系列	平成23年	296	9.5	33.1	13.2	12.5	4.7	3.4	10.5	3.4	0.7	6.8	35.8	7.8
	平成18年	376	10.1	25.8	16.0	12.5	4.8	2.7	7.2	5.1	0.3	2.7	37.2	12.5
住居形態別	持ち家	108	3.7	27.8	5.6	3.7	6.5	4.6	3.7	1.9	－	4.6	55.6	5.6
	親戚などの家に同居	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	県営住宅・市営住宅	30	6.7	33.3	26.7	10.0	3.3	6.7	20.0	10.0	－	20.0	23.3	3.3
	UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	7	－	28.6	14.3	－	－	－	28.6	14.3	－	14.3	57.1	－
	民間借家・アパートなど	37	21.6	45.9	18.9	51.4	2.7	2.7	13.5	5.4	－	13.5	10.8	－
	社宅・寮・官舎・公舎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他	1	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	27	－	3.7	3.7	－	－	－	－	－	－	－	11.1	81.5
行政区	門司区	30	3.3	23.3	16.7	6.7	6.7	3.3	6.7	6.7	－	6.7	33.3	23.3
	小倉北区	43	14.0	27.9	9.3	16.3	2.3	2.3	7.0	2.3	－	11.6	39.5	9.3
	小倉南区	39	7.7	33.3	7.7	20.5	2.6	5.1	10.3	7.7	－	5.1	35.9	10.3
	若松区	19	5.3	26.3	10.5	10.5	－	5.3	5.3	－	－	－	42.1	21.1
	八幡東区	16	－	37.5	12.5	－	18.8	12.5	12.5	6.3	－	6.3	25.0	12.5
	八幡西区	55	7.3	32.7	12.7	10.9	3.6	1.8	9.1	1.8	－	9.1	40.0	12.7
	戸畑区	8	－	－	12.5	12.5	－	－	－	－	－	25.0	37.5	12.5

（５）現在の住居に対する今後の居住意向

問 11　あなたは、いまの住宅に住み続けたいと思いますか。（○印は１つ）

現在の住宅に「住み続けたい」と思っている人は 45.2%、「転居したい」人は 15.7%となっている。また、「どちらともいえない」は 29.5%となっている。

前回調査と比較すると、「住み続けたい」が 11.2 ポイント減少している。

年齢別にみると、65 歳以上で「住み続けたい」が６割を超えて高くなっている。

図３－31　現在の住居に対する今後の居住意向

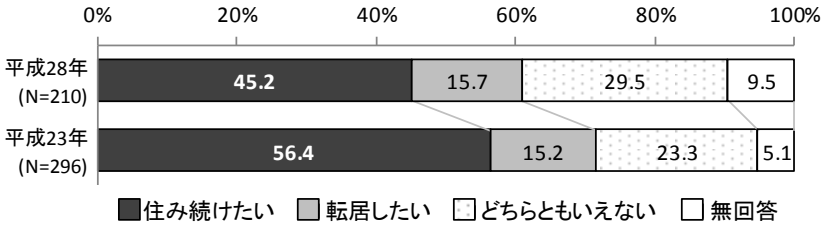


表３－32　現在の住居に対する今後の居住意向

(%)

		標本数	住み続けたい	転居したい	どちらともいえない	無回答
全体		210	95	33	62	20
		100.0	45.2	15.7	29.5	9.5
時系列	平成23年	296	56.4	15.2	23.3	5.1
	平成18年	376	50.3	17.3	22.9	9.6
年齢別	39歳以下	1	－	－	100.0	－
	40歳代	22	36.4	9.1	45.5	9.1
	50歳代	82	42.7	17.1	30.5	9.8
	60～64歳	63	41.3	19.0	27.0	12.7
	65歳以上	41	61.0	12.2	22.0	4.9
	無回答	1	100.0	－	－	－
住居形態別	自分名義の持ち家	65	61.5	10.8	27.7	－
	家族名義の持ち家	43	67.4	2.3	30.2	－
	親戚などの家に同居	－	－	－	－	－
	県営住宅・市営住宅	30	36.7	16.7	46.7	－
	UR（旧公団）・公社の賃貸住宅	7	57.1	14.3	28.6	－
	民間借家・アパートなど	37	16.2	45.9	37.8	－
	社宅・寮・官舎・公舎	－	－	－	－	－
	その他	1	－	100.0	－	－
	無回答	27	18.5	3.7	3.7	74.1
行政区	門司区	30	36.7	23.3	30.0	10.0
	小倉北区	43	46.5	16.3	25.6	11.6
	小倉南区	39	38.5	17.9	35.9	7.7
	若松区	19	63.2	10.5	15.8	10.5
	八幡東区	16	37.5	12.5	43.8	6.3
	八幡西区	55	47.3	14.5	29.1	9.1
	戸畑区	8	62.5	－	25.0	12.5

（６）公営住宅への入居希望

問 11－１　（転居したいと答えた方に）あなたは、公営住宅（県営住宅・市営住宅）への入居を希望しますか。（○印は１つ）

現在の住宅から転居したいと思っている人（33 人）のうち公営住宅への「入居を希望する」は 69.7%、「入居を希望しない」は 30.3%となっている。

図３－32　公営住宅への入居希望

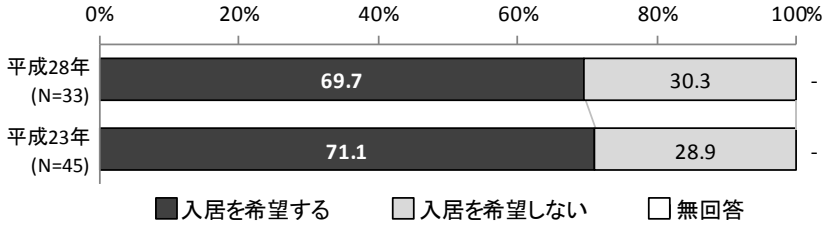


表３－33　公営住宅への入居希望

(%)

		標本数	入居を希望する	入居を希望しない	無回答
全体		33	23	10	－
		100.0	69.7	30.3	－
時系列	平成23年	45	71.1	28.9	－
	平成18年	65	80.0	18.5	1.5
世帯年収別	収入はない	－	－	－	－
	100万円未満	2	100.0	－	－
	100～150万円未満	5	60.0	40.0	－
	150～200万円未満	6	83.3	16.7	－
	200～300万円未満	10	80.0	20.0	－
	300～400万円未満	3	66.7	33.3	－
	400～500万円未満	1	－	100.0	－
	500～700万円未満	3	－	100.0	－
	700～900万円未満	－	－	－	－
	1,000万円以上	－	－	－	－
	無回答	3	100.0	－	－
行政区	門司区	7	57.1	42.9	－
	小倉北区	7	57.1	42.9	－
	小倉南区	7	71.4	28.6	－
	若松区	2	50.0	50.0	－
	八幡東区	2	100.0	－	－
	八幡西区	8	87.5	12.5	－
	戸畑区	－	－	－	－

５．生計の状況

（１）主たる収入源

問 12　あなたの世帯の生活費は、主に何によってまかなわれていますか。（○印は１つ）

主な収入源は、「自分の主な仕事による収入」が 63.3%と最も高く、次いで「年金（遺族基礎年金など)」26.7%、「子どもや家族の仕事による収入」5.2%などとなっている。

前回調査と比較すると、「自分の主な仕事による収入」が 10.9 ポイント増えている。

年齢別にみると、40 歳代、50 歳代で「自分の主な仕事による収入」が高く、８割を超えている。60～64 歳でも「自分の主な仕事による収入」が主要な収入源となっている。65 歳以上では「年金（遺族基礎年金など)」の割合が高くなっている。

図３－33　主たる収入源

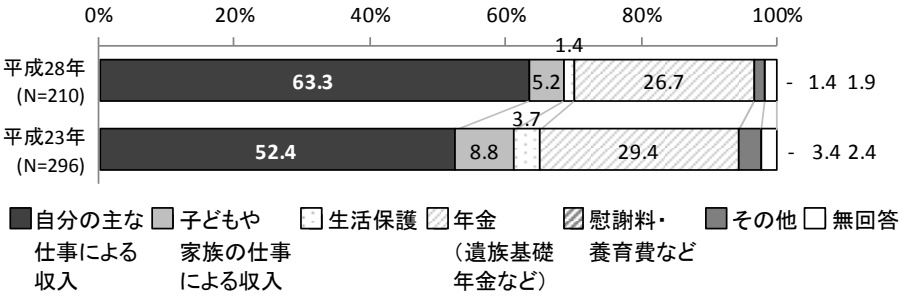


表３－34　主たる収入源

(%)

		標本数	自分の主な仕事による収入	子どもや家族の仕事による収入	生活保護	年金（遺族基礎年金など）	慰謝料・養育費など	その他	無回答
全体		210	133	11	3	56	－	3	4
		100.0	63.3	5.2	1.4	26.7	－	1.4	1.9
時系列	平成23年	296	52.4	8.8	3.7	29.4	－	3.4	2.4
	平成18年	376	40.7	11.7	1.3	38.6	0.5	4.8	2.4
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	100.0	－
	40歳代	22	90.9	4.5	－	4.5	－	－	－
	50歳代	82	80.5	3.7	3.7	11.0	－	1.2	－
	60～64歳	63	68.3	4.8	－	20.6	－	1.6	4.8
	65歳以上	41	9.8	9.8	－	78.0	－	－	2.4
	無回答	1	－	－	－	100.0	－	－	－
理由別	死別	71	32.4	7.0	－	59.2	－	1.4	－
	離婚	108	84.3	4.6	1.9	6.5	－	0.9	1.9
	その他の生別	10	80.0	－	－	10.0	－	10.0	－
	かつて母子家庭ではなかった	10	60.0	－	－	40.0	－	－	－
	無回答	11	45.5	9.1	9.1	18.2	－	－	18.2
仕事の有無別	持っている	150	88.7	2.0	－	8.0	－	－	1.3
	持っていない	60	－	13.3	5.0	73.3	－	5.0	3.3
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	66.7	3.3	－	30.0	－	－	－
	小倉北区	43	65.1	2.3	4.7	23.3	－	4.7	－
	小倉南区	39	59.0	10.3	－	28.2	－	－	2.6
	若松区	19	63.2	5.3	－	26.3	－	－	5.3
	八幡東区	16	56.3	6.3	－	25.0	－	－	12.5
	八幡西区	55	63.6	5.5	1.8	27.3	－	1.8	－
	戸畑区	8	75.0	－	－	25.0	－	－	－

（２）従たる収入源

問 13　問 12 の収入以外にはどのような収入がありますか。（○印はいくつでも）

主たる収入以外の収入源は、「年金（遺族基礎年金など）」が 21.4％で最も高く、次いで、「子どもや家族の仕事による収入」14.3％、「自分の仕事による収入」7.6％などとなっている。「ほかに収入はない」は 33.3％と高くなっている。

年齢別でみると、40 歳代で「ほかに収入はない」が 63.6％と高くなっている。60～64 歳では「年金（遺族基礎年金など）」が他の年齢層と比較して高くなっている。

図３－34　従たる収入源［複数回答］

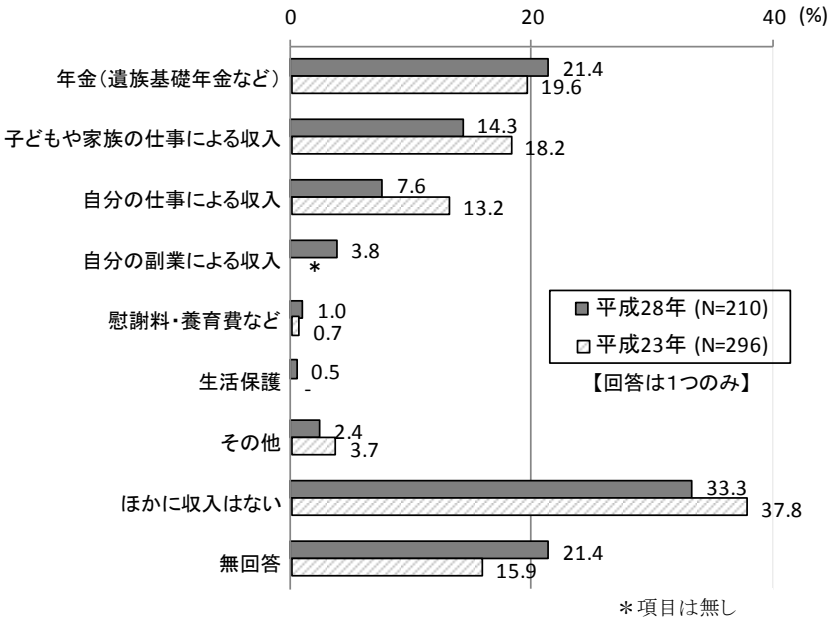


表３－35　従たる収入源［複数回答］

(%)

		標本数	自分の仕事による収入	自分の副業による収入	子どもや家族の仕事による収入	生活保護	年金（遺族基礎年金など）	慰謝料・養育費など	その他	ほかに収入はない	無回答
全体		210	16	8	30	1	45	2	5	70	45
		100.0	7.6	3.8	14.3	0.5	21.4	1.0	2.4	33.3	21.4
列時系	平成23年	296	13.2	…	18.2	－	19.6	0.7	3.7	37.8	15.9
	平成18年	376	10.9	…	15.2	－	16.5	0.3	4.8	36.2	20.2
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	40歳代	22	－	9.1	13.6	－	－	4.5	－	63.6	9.1
	50歳代	82	6.1	3.7	14.6	－	13.4	1.2	2.4	39.0	24.4
	60～64歳	63	9.5	4.8	12.7	1.6	46.0	－	1.6	19.0	14.3
	65歳以上	41	12.2	－	17.1	－	12.2	－	4.9	26.8	31.7
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
理由別	死別	71	14.1	2.8	14.1	－	26.8	－	5.6	23.9	22.5
	離婚	108	4.6	4.6	17.6	0.9	18.5	1.9	－	34.3	21.3
	その他の生別	10	－	－	10.0	－	20.0	－	－	70.0	10.0
	かつて母子家庭ではなかった	10	10.0	－	－	－	10.0	－	－	70.0	10.0
	無回答	11	－	9.1	－	－	27.3	－	9.1	18.2	36.4
行政区	門司区	30	6.7	3.3	13.3	－	23.3	－	3.3	30.0	20.0
	小倉北区	43	7.0	－	18.6	2.3	25.6	2.3	2.3	39.5	16.3
	小倉南区	39	15.4	5.1	7.7	－	15.4	－	5.1	28.2	30.8
	若松区	19	－	5.3	5.3	－	21.1	5.3	5.3	21.1	36.8
	八幡東区	16	－	12.5	12.5	－	12.5	－	－	43.8	18.8
	八幡西区	55	5.5	3.6	20.0	－	27.3	－	－	34.5	14.5
	戸畑区	8	25.0	－	12.5	－	－	－	－	37.5	25.0

（３）世帯の年間税込み収入

問 14　あなたの世帯全員の１年間の収入（年金、養育費等も含めて）は、税込みでどのくらいですか。ただし、生活保護による収入は除きます。（○印は１つ）

世帯全員の年間税込み収入は、「200～300 万円未満」が 22.9％と最も高く、次いで「150～200 万円未満」16.2％、「100～150 万円未満」15.7％と続いており、『100～300 万円未満』が 54.8％となっている。

平均の年間税込み収入は約 283 万円で、前回調査と比較すると、約６万円多くなっている。

年齢別にみると、平均の年間税込み収入額は、40 歳代が最も高く約 370 万円、一方、最も低いのは 65 歳以上で約 244 万円となっている。

図３－35　世帯の年間税込み収入

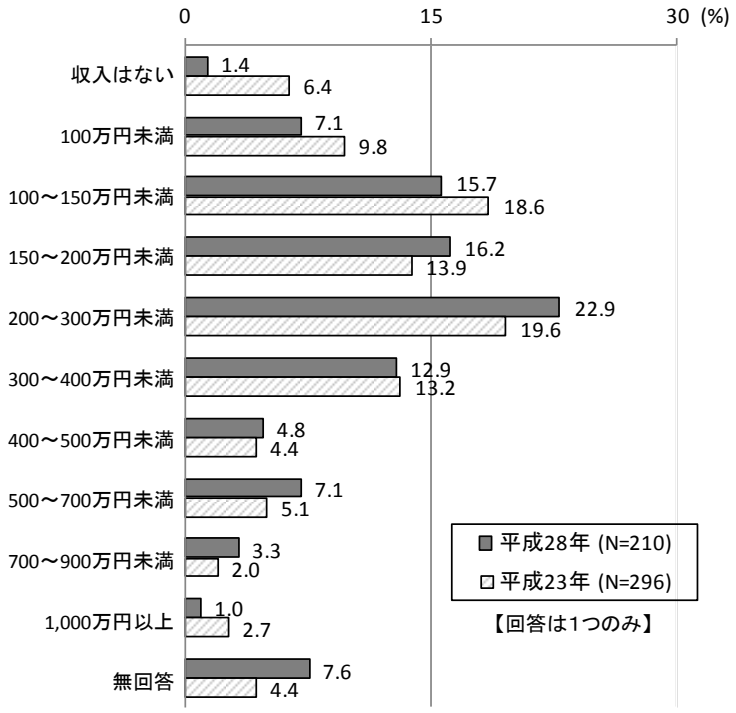


表３－36　世帯の年間税込み収入

(%)

		標本数	収入はない	100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～900万円未満	900～1000万円以上	無回答	平均（万円）
全体		210 100.0	3 1.4	15 7.1	33 15.7	34 16.2	48 22.9	27 12.9	10 4.8	15 7.1	7 3.3	2 1.0	16 7.6	283
時系列	平成23年	296	6.4	9.8	18.6	13.9	19.6	13.2	4.4	5.1	2.0	2.7	4.4	277
	平成18年	376	1.6	13.0	18.1	16.2	17.3	12.5	5.6	5.9	2.7	0.5	6.6	255
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	50
	40歳代	22	－	9.1	18.2	4.5	4.5	22.7	4.5	13.6	4.5	4.5	13.6	370
	50歳代	82	2.4	4.9	13.4	13.4	29.3	11.0	6.1	9.8	4.9	－	4.9	301
	60～64歳	63	1.6	6.3	15.9	19.0	20.6	15.9	6.3	1.6	3.2	－	9.5	255
	65歳以上	41	－	9.8	19.5	24.4	24.4	7.3	－	7.3	－	2.4	4.9	244
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
行政区	門司区	30	－	13.3	10.0	26.7	16.7	6.7	3.3	10.0	－	3.3	10.0	273
	小倉北区	43	7.0	7.0	16.3	20.9	20.9	7.0	2.3	7.0	4.7	－	7.0	264
	小倉南区	39	－	2.6	15.4	12.8	23.1	15.4	5.1	7.7	10.3	－	7.7	331
	若松区	19	－	10.5	26.3	－	21.1	10.5	10.5	－	－	5.3	15.8	283
	八幡東区	16	－	6.3	－	18.8	31.3	18.8	－	6.3	－	－	18.8	267
	八幡西区	55	－	7.3	14.5	12.7	29.1	20.0	3.6	9.1	1.8	－	1.8	277
	戸畑区	8	－	－	50.0	25.0	－	－	25.0	－	－	－	－	219
参考	母子家庭	296	0.9	9.5	15.5	16.8	27.0	12.1	4.5	5.7	1.2	0.9	6.0	256
	父子家庭	397	0.5	3.8	5.5	4.5	16.4	22.4	15.9	16.1	8.6	3.0	3.3	430

※平均は「100万円未満」は50万円、「100～150万円未満」は125万円などそれぞれ中間値をとり、「1,000万円以上」は1,200万円として、「収入はない」と無回答を除いた標本数で算出した。

（４）課税状況

問 15　あなたの所得に所得税や市町村民税はかかっていますか。（○印はそれぞれ１つ）

所得税は、「かかっている」が 56.7%、「かかっていない」が 36.2%である。また、市町村民税は「かかっている」が 56.7%、「かかっていない」が 34.3%である。

前回調査と比較すると、所得税、市町村民税ともに、課税の人が増えている。

図３－36　課税状況

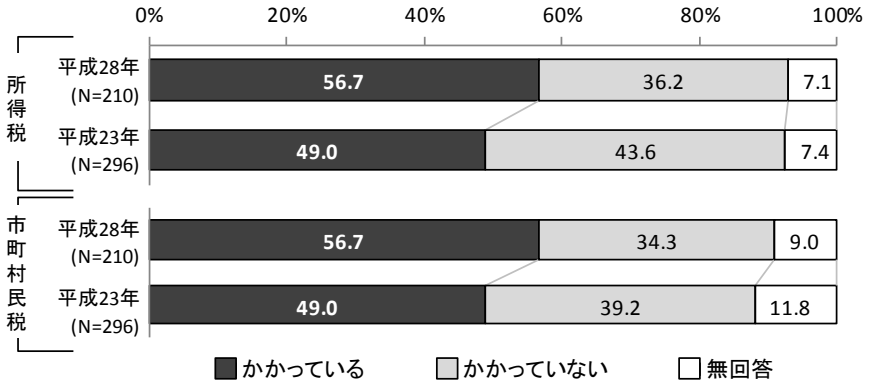


表３－37　課税状況

（%）

		標本数	ア. 所得税			イ. 市町村民税		
			いかかっている	いかかっていない	無回答	いかかっている	いかかっていない	無回答
全体		210	119	76	15	119	72	19
		100.0	56.7	36.2	7.1	56.7	34.3	9.0
時系列	平成23年	296	49.0	43.6	7.4	49.0	39.2	11.8
	平成18年	376	42.8	46.3	10.9	41.0	43.9	15.2
行政区	門司区	30	50.0	43.3	6.7	60.0	30.0	10.0
	小倉北区	43	53.5	39.5	7.0	55.8	37.2	7.0
	小倉南区	39	59.0	35.9	5.1	59.0	33.3	7.7
	若松区	19	47.4	36.8	15.8	47.4	31.6	21.1
	八幡東区	16	56.3	25.0	18.8	62.5	25.0	12.5
	八幡西区	55	61.8	34.5	3.6	54.5	38.2	7.3
	戸畑区	8	75.0	25.0	－	62.5	37.5	－

（５）家計の状態

問 16　あなたの家計の状態は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

家計の状態については、「とても足りない」25.7%と「時々赤字になる」26.7%を合わせて『足りない』とする人が 52.4%、一方、「十分やっていける」3.8%と「だいたいやっていける」40.5%を合わせて『やっていける』という回答が 44.3%となっている。

前回調査と比較しても大きな差はみられない。

世帯年収別でみると、年間収入が 200 万円未満の世帯になると『足りない』の割合が高くなっている。

図３－37　家計の状態

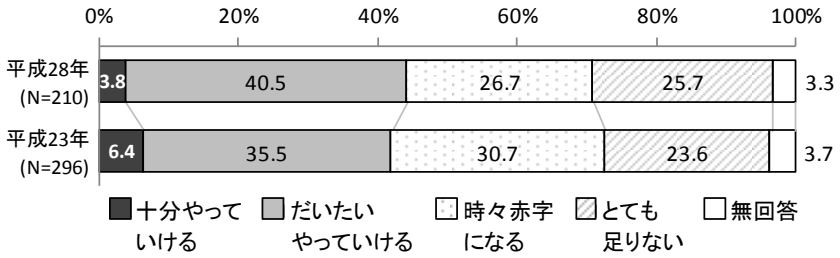


表３－38　家計の状態

(%)

		標本数	十分やっていける	だいたいやっていける	時々赤字になる	とても足りない	無回答
全体		210	8	85	56	54	7
		100.0	3.8	40.5	26.7	25.7	3.3
時系列	平成23年	296	6.4	35.5	30.7	23.6	3.7
	平成18年	376	5.6	33.8	31.1	25.3	4.3
仕事の有無別	持っている	150	3.3	37.3	31.3	24.7	3.3
	持っていない	60	5.0	48.3	15.0	28.3	3.3
	無回答	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5
	家族従事者	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	5.0	46.7	38.3	8.3	1.7
	派遣・パート・臨時	75	1.3	30.7	26.7	38.7	2.7
	その他	3	－	33.3	33.3	33.3	－
	無回答	4	－	25.0	50.0	－	25.0
世帯年収別	収入はない	3	－	66.7	－	33.3	－
	100万円未満	15	－	6.7	20.0	60.0	13.3
	100～150万円未満	33	3.0	21.2	27.3	45.5	3.0
	150～200万円未満	34	2.9	32.4	26.5	38.2	－
	200～300万円未満	48	4.2	47.9	31.3	14.6	2.1
	300～400万円未満	27	3.7	48.1	40.7	7.4	－
	400～500万円未満	10	－	70.0	20.0	－	10.0
	500～700万円未満	15	6.7	66.7	6.7	20.0	－
	700～900万円未満	7	－	71.4	28.6	－	－
	1,000万円以上	2	100.0	－	－	－	－
	無回答	16	－	37.5	25.0	25.0	12.5
行政区	門司区	30	3.3	26.7	33.3	36.7	－
	小倉北区	43	－	46.5	27.9	23.3	2.3
	小倉南区	39	2.6	41.0	28.2	23.1	5.1
	若松区	19	15.8	47.4	10.5	21.1	5.3
	八幡東区	16	－	31.3	31.3	31.3	6.3
	八幡西区	55	5.5	41.8	25.5	23.6	3.6
	戸畑区	8	－	50.0	25.0	25.0	－

（６）現在不足している費用

問 17　あなたにとって、いま現在、不足している費用はありますか。（○印は 3 つまで）

現在不足している費用は、「日常の生活費（食費･医療費･光熱費など）」が 41.0%で最も高く、次いで「子どもの結婚のための費用」13.8%、「住宅の増改築、新築などのための費用」12.4%、などとなっている。一方、不足している費用は「特にない」は 25.2%となっている。

年齢別でみると、40 歳代では「子どもの結婚のための費用」、50 歳代では「住宅の増改築、新築などのための費用」、60～64 歳では「日常の生活費」、65 歳以上では「療養のための費用」がそれぞれ他の年齢層より高くなっている。

仕事の有無別でみると、無職の人は「療養のための費用」が不足しているという割合が、仕事を持っている人に比べて高くなっている。

図３－38　現在不足している費用［複数回答］

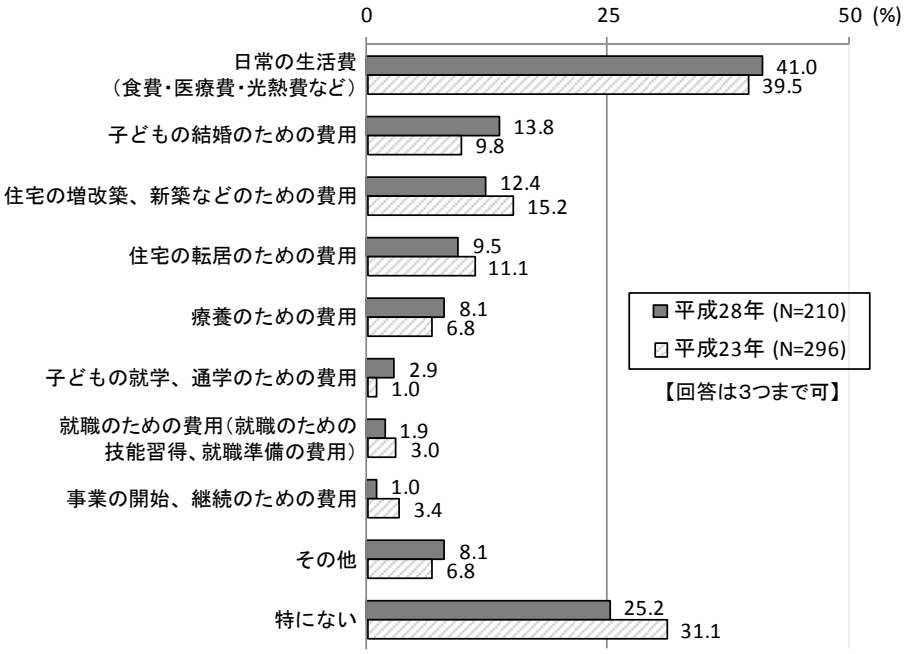


表３－39　現在不足している費用［複数回答］

(%)

		標本数	日常の生活費（食費・医療費・光熱費など）	就職のための費用（就職のための技能習得、就職準備の費用）	事業の開始、継続のための費用	療養のための費用	子どもの就学、通学のための費用	子どもの結婚のための費用	住宅の増改築、新築などのための費用	住宅の転居のための費用	その他	特にない	無回答
全体		210	86	4	2	17	6	29	26	20	17	53	24
		100.0	41.0	1.9	1.0	8.1	2.9	13.8	12.4	9.5	8.1	25.2	11.4
時系列	平成23年	296	39.5	3.0	3.4	6.8	1.0	9.8	15.2	11.1	6.8	31.1	7.4
	平成18年	376	37.5	4.5	4.0	10.1	1.6	10.1	15.2	10.1	5.3	27.7	9.6
年齢別	39歳以下	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	36.4	－	4.5	9.1	4.5	27.3	9.1	9.1	13.6	18.2	9.1
	50歳代	82	41.5	2.4	1.2	4.9	4.9	17.1	17.1	11.0	7.3	25.6	8.5
	60～64歳	63	42.9	1.6	－	3.2	1.6	9.5	9.5	9.5	9.5	20.6	15.9
	65歳以上	41	39.0	－	－	22.0	－	7.3	9.8	7.3	4.9	36.6	9.8
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
仕事の有無別	持っている	150	44.7	2.0	1.3	5.3	4.0	17.3	14.0	10.7	7.3	19.3	12.7
	持っていない	60	31.7	1.7	－	15.0	－	5.0	8.3	6.7	10.0	40.0	8.3
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	25.0	－	25.0	－	12.5	－	25.0	－	12.5	25.0	－
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	36.7	3.3	－	8.3	3.3	21.7	25.0	13.3	6.7	21.7	10.0
	派遣・パート・臨時	75	53.3	1.3	－	4.0	4.0	14.7	4.0	10.7	6.7	18.7	13.3
	その他	3	66.7	－	－	－	－	66.7	33.3	－	33.3	－	－
	無回答	4	25.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	75.0
世帯年収別	収入はない	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	100万円未満	15	80.0	6.7	－	－	13.3	6.7	6.7	－	－	－	20.0
	100～150万円未満	33	63.6	－	－	3.0	3.0	6.1	6.1	15.2	6.1	15.2	9.1
	150～200万円未満	34	50.0	2.9	－	11.8	2.9	17.6	8.8	8.8	11.8	29.4	5.9
	200～300万円未満	48	39.6	2.1	2.1	8.3	2.1	18.8	12.5	10.4	10.4	22.9	10.4
	300～400万円未満	27	40.7	3.7	－	11.1	－	18.5	22.2	11.1	3.7	22.2	14.8
	400～500万円未満	10	20.0	－	－	－	－	－	10.0	－	10.0	40.0	20.0
	500～700万円未満	15	6.7	－	－	13.3	6.7	20.0	26.7	6.7	－	40.0	－
	700～900万円未満	7	－	－	－	14.3	－	42.9	28.6	－	14.3	28.6	14.3
	1,000万円以上	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	無回答	16	18.8	－	6.3	12.5	－	－	6.3	18.8	18.8	25.0	25.0
行政区	門司区	30	46.7	6.7	3.3	6.7	－	20.0	13.3	13.3	6.7	16.7	10.0
	小倉北区	43	25.6	2.3	2.3	9.3	4.7	18.6	4.7	14.0	11.6	27.9	16.3
	小倉南区	39	46.2	－	－	12.8	7.7	15.4	12.8	7.7	5.1	17.9	7.7
	若松区	19	31.6	－	－	－	－	5.3	15.8	5.3	5.3	36.8	10.5
	八幡東区	16	43.8	－	－	6.3	－	12.5	31.3	6.3	18.8	18.8	6.3
	八幡西区	55	47.3	1.8	－	9.1	1.8	9.1	10.9	7.3	5.5	29.1	12.7
	戸畑区	8	50.0	－	－	－	－	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	12.5

６．健康状態

（１）本人の健康状態

問 18　あなたの健康状態は、いかがですか。（○印は１つ）

本人の健康状態については、「おおむね健康」が 51.9％と最も高く、「健康」19.0％と合わせて 70.9％が『健康』と答えている。一方、「病気がち」14.8％、と「病気」12.9％を合わせて『病気』が 27.7％となっている。

年齢別にみると、64 歳までは『健康』な人が７割を超えているが、65 歳以上では『病気』が５割を超えている。

図３－39　本人の健康状態

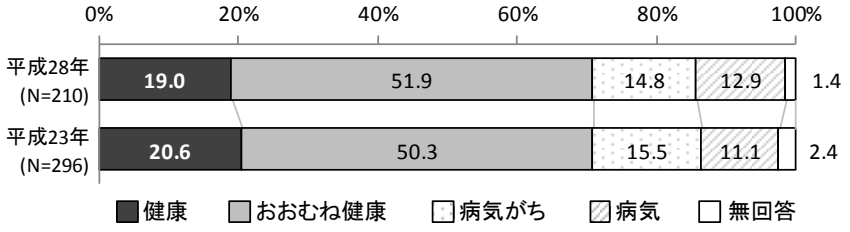


表３－40　本人の健康状態

（%）

		標本数	健康	健康おおむね	病気がち	病気	無回答
全体		210	40	109	31	27	3
		100.0	19.0	51.9	14.8	12.9	1.4
時系列	平成23年	296	20.6	50.3	15.5	11.1	2.4
	平成18年	376	16.5	48.4	21.3	12.5	1.3
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	27.3	59.1	4.5	9.1	－
	50歳代	82	22.0	57.3	8.5	11.0	1.2
	60～64歳	63	15.9	55.6	17.5	7.9	3.2
	65歳以上	41	12.2	31.7	29.3	26.8	－
	無回答	1	100.0	－	－	－	－
仕事の有無別	持っている	150	22.0	60.0	12.0	4.7	1.3
	持っていない	60	11.7	31.7	21.7	33.3	1.7
	無回答	－	－	－	－	－	－
世帯年収別	収入はない	3	－	33.3	－	66.7	－
	100万円未満	15	－	66.7	26.7	6.7	－
	100～150万円未満	33	12.1	42.4	36.4	6.1	3.0
	150～200万円未満	34	26.5	52.9	17.6	2.9	－
	200～300万円未満	48	20.8	50.0	8.3	18.8	2.1
	300～400万円未満	27	25.9	59.3	3.7	11.1	－
	400～500万円未満	10	－	80.0	－	10.0	10.0
	500～700万円未満	15	40.0	40.0	6.7	13.3	－
	700～900万円未満	7	－	85.7	－	14.3	－
	1,000万円以上	2	50.0	－	50.0	－	－
	無回答	16	18.8	37.5	12.5	31.3	－
行政区	門司区	30	16.7	53.3	26.7	3.3	－
	小倉北区	43	14.0	60.5	9.3	14.0	2.3
	小倉南区	39	20.5	51.3	10.3	12.8	5.1
	若松区	19	26.3	42.1	10.5	21.1	－
	八幡東区	16	18.8	37.5	25.0	18.8	－
	八幡西区	55	21.8	49.1	14.5	14.5	－
	戸畑区	8	12.5	75.0	12.5	－	－

（２）病気の時の身の回りの世話

問 19　もしも、あなたが重い病気にかかったり、入院した場合、あなたの身の回りの世話は、主にどなたがしますか。（○印は１つ）

本人が病気にかかった時の身の回りの世話は、「子どもや家族」が 68.6％と最も高く、次いで「実家や親せきの人」が 9.5％となっている。また、「世話をしてくれる人がいない」は 14.3％となっている。

年齢別にみると、50～64 歳では「世話をしてくれる人がいない」の割合が約２割と他の年齢層に比べて高くなっている。また、65 歳以上では、「子どもや家族」の割合が約９割を占めている。

図３－40　病気の時の身の回りの世話

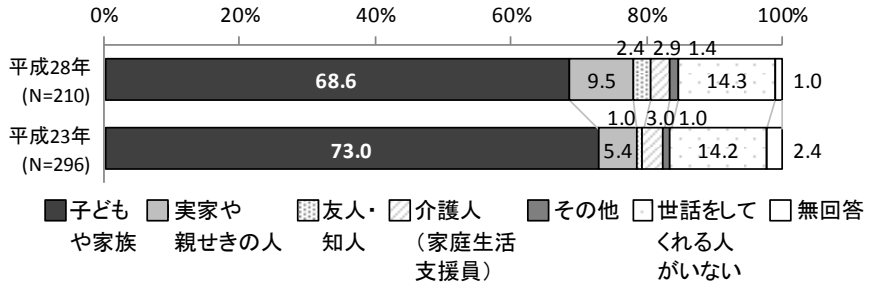


表３－41　病気の時の身の回りの世話

（%）

		標本数	子どもや家族	実家や親せきの人	友人・知人	介護人（家庭生活支援員）	その他	世話をしてくれる人がいない	無回答
全体		210	144	20	5	6	3	30	2
		100.0	68.6	9.5	2.4	2.9	1.4	14.3	1.0
時系列	平成23年	296	73.0	5.4	1.0	3.0	1.0	14.2	2.4
	平成18年	376	67.3	7.7	1.6	2.7	1.3	17.3	2.1
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	50.0	27.3	9.1	4.5	－	9.1	－
	50歳代	82	65.9	12.2	1.2	－	1.2	18.3	1.2
	60～64歳	63	65.1	4.8	3.2	3.2	3.2	19.0	1.6
	65歳以上	41	90.2	2.4	－	4.9	－	2.4	－
	無回答	1	－	－	－	100.0	－	－	－
行政区	門司区	30	63.3	10.0	3.3	3.3	3.3	16.7	－
	小倉北区	43	69.8	7.0	2.3	－	－	18.6	2.3
	小倉南区	39	59.0	12.8	2.6	5.1	2.6	15.4	2.6
	若松区	19	52.6	26.3	5.3	5.3	－	10.5	－
	八幡東区	16	68.8	6.3	6.3	6.3	－	12.5	－
	八幡西区	55	81.8	5.5	－	1.8	1.8	9.1	－
	戸畑区	8	75.0	－	－	－	－	25.0	－

（３）医療保険

問 20　あなたの医療保険(健康保険証)は、次の中のどれにあてはまりますか。（○印は１つ）

医療保険は、「社会保険など（会社の健康保険）」が 50.0%、「国民健康保険」が 45.2%、「医療扶助（生活保護）」が 1.9%、「社会保険などに加入しているが、一部は医療扶助（生活保護）」が 0.5%などとなっている。

前回調査と比較すると、「社会保険など（会社の健康保険）」が 6.4 ポイント増加している。

年齢別にみると、「社会保険など（会社の健康保険）」は年齢が上がるほど割合は減少し、一方で「国民健康保険」は年齢が上がるほど割合が高くなっている。

図３－41　医療保険

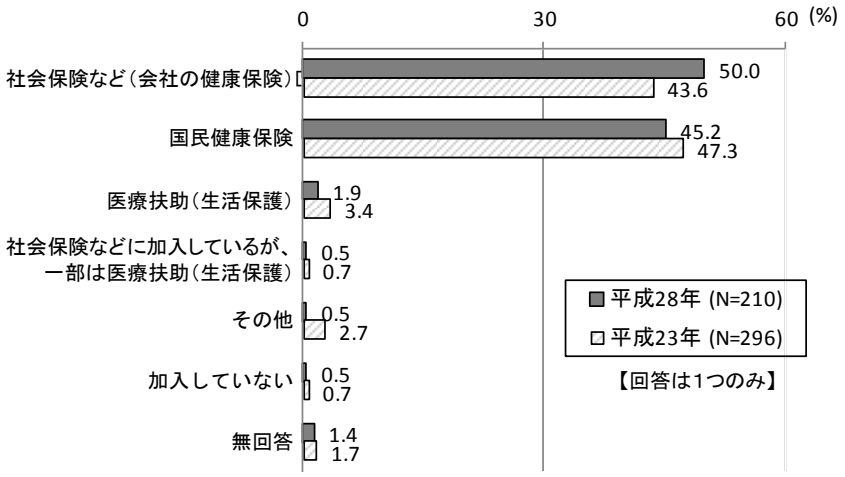


表３－42　医療保険

(%)

		標本数	国民健康保険	社会保険など（会社の健康保険）	社会保険などに加入しているが、一部は医療扶助（生活保護）	医療扶助（生活保護）	その他	加入していない	無回答
全体		210	95	105	1	4	1	1	3
		100.0	45.2	50.0	0.5	1.9	0.5	0.5	1.4
列時系	平成23年	296	47.3	43.6	0.7	3.4	2.7	0.7	1.7
	平成18年	376	54.8	38.0	0.3	1.3	0.5	2.1	2.9
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	22.7	72.7	－	－	－	－	4.5
	50歳代	82	30.5	63.4	1.2	2.4	－	1.2	1.2
	60～64歳	63	41.3	52.4	－	3.2	1.6	－	1.6
	65歳以上	41	90.2	9.8	－	－	－	－	－
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	50.0	46.7	－	－	－	－	3.3
	小倉北区	43	53.5	37.2	－	4.7	－	2.3	2.3
	小倉南区	39	38.5	53.8	2.6	2.6	－	－	2.6
	若松区	19	47.4	52.6	－	－	－	－	－
	八幡東区	16	37.5	56.3	－	－	6.3	－	－
	八幡西区	55	41.8	56.4	－	1.8	－	－	－
	戸畑区	8	50.0	50.0	－	－	－	－	－

７．生活状況

（１）近所づきあいの程度

問 21　あなたのふだんの近所づきあいはいかがですか。（○印は１つ）

日常の近所づきあいの程度は、「あいさつをする程度」は 52.4%、「会えば立ち話をする程度」は 31.9%、「お互いに家を行き来する程度」は 5.2%、「つきあいはない」は 8.6%となっている。

前回調査と比較すると、「合えば立ち話をする程度」が 9.3 ポイント減少している。

年齢別にみると、年齢が若いほど「つきあいはない」「あいさつをする程度」が高くなり、近所づきあいの程度が浅くなる傾向がみられる。

図３－42　近所づきあいの程度

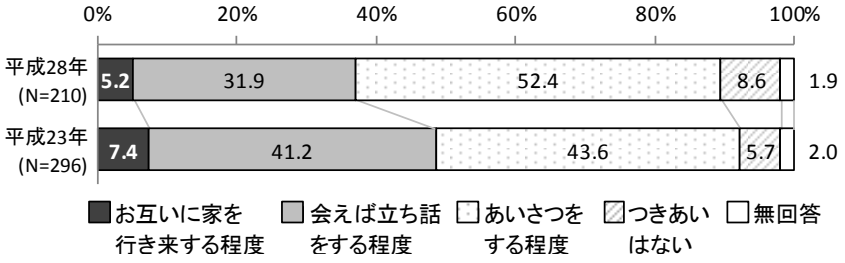


表３－43　近所づきあいの程度

(%)

		標本数	お互いに家を行き来する程度	会えば立ち話をする程度	あいさつをする程度	つきあいはない	無回答
全体		210	11	67	110	18	4
		100.0	5.2	31.9	52.4	8.6	1.9
時系列	平成23年	296	7.4	41.2	43.6	5.7	2.0
	平成18年	376	10.6	40.7	41.0	6.6	1.1
年齢別	39歳以下	1	－	－	100.0	－	－
	40歳代	22	－	13.6	63.6	18.2	4.5
	50歳代	82	4.9	30.5	57.3	6.1	1.2
	60～64歳	63	3.2	36.5	55.6	3.2	1.6
	65歳以上	41	9.8	39.0	31.7	17.1	2.4
	無回答	1	100.0	－	－	－	－
行政区	門司区	30	－	36.7	56.7	3.3	3.3
	小倉北区	43	－	30.2	51.2	16.3	2.3
	小倉南区	39	2.6	25.6	51.3	17.9	2.6
	若松区	19	10.5	31.6	52.6	－	5.3
	八幡東区	16	12.5	31.3	56.3	－	－
	八幡西区	55	10.9	30.9	52.7	5.5	－
	戸畑区	8	－	62.5	37.5	－	－

（２）生きがいを感じること

問 22　あなたは毎日の生活で、どのようなことに生きがいを感じますか。（○印は 3 つまで）

毎日の生活に生きがいを感じることでは、「子どもの成長」が 32.4％と最も高く、次いで「趣味やスポーツ」29.0％、「仕事」24.3％、「娯楽」20.0％、「自立した生活」14.8％と続いている。また、「特にない」は 23.3％となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの成長」が増加し、他の項目は減少傾向がみられる。

年齢別にみると、50 歳代では「子どもの成長」が 43.9％と他の年齢層に比べて高く、「仕事」は年齢が上がるほど割合が低くなっている。また、「特にない」は 65 歳以上で他の年齢層に比べ高くなっている。

図３－43　生きがいを感じること［複数回答］

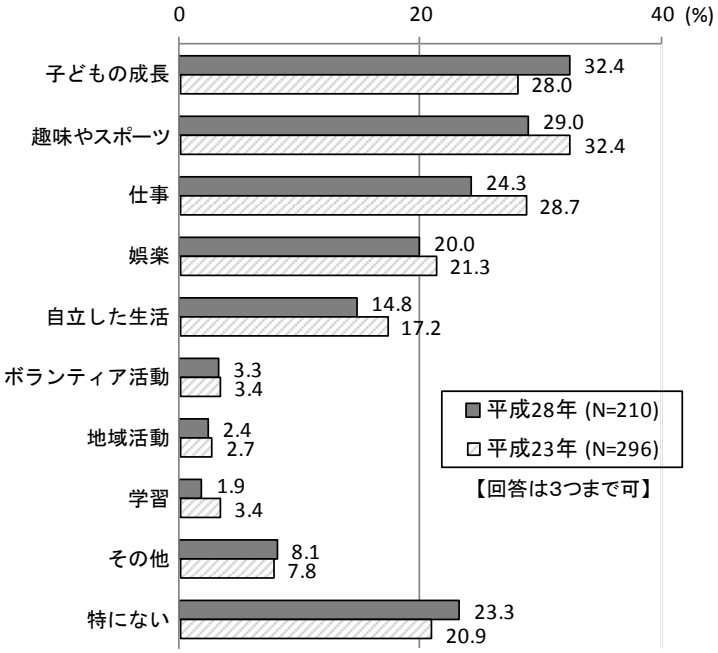


表３－44　生きがいを感じること［複数回答］

（%）

		標本数	子どもの成長	仕事	趣味やスポーツ	学習	娯楽	地域活動	ボランティア活動	自立した生活	その他	特にない	無回答
全体		210	68	51	61	4	42	5	7	31	17	49	8
		100.0	32.4	24.3	29.0	1.9	20.0	2.4	3.3	14.8	8.1	23.3	3.8
時系列	平成23年	296	28.0	28.7	32.4	3.4	21.3	2.7	3.4	17.2	7.8	20.9	2.7
	平成18年	376	23.4	22.1	28.5	2.9	18.1	3.7	5.3	22.1	9.3	24.2	2.9
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	40歳代	22	36.4	31.8	31.8	－	22.7	4.5	－	13.6	－	22.7	4.5
	50歳代	82	43.9	29.3	30.5	－	22.0	1.2	4.9	14.6	9.8	17.1	1.2
	60～64歳	63	30.2	25.4	34.9	3.2	17.5	－	1.6	14.3	11.1	20.6	3.2
	65歳以上	41	12.2	9.8	17.1	4.9	19.5	7.3	4.9	17.1	4.9	39.0	7.3
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
仕事の有無別	持っている	150	38.7	33.3	31.3	0.7	20.7	2.0	2.7	16.0	8.0	19.3	0.7
	持っていない	60	16.7	1.7	23.3	5.0	18.3	3.3	5.0	11.7	8.3	33.3	11.7
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	16.7	16.7	36.7	－	16.7	－	6.7	33.3	6.7	23.3	3.3
	小倉北区	43	44.2	18.6	20.9	2.3	7.0	－	－	9.3	11.6	30.2	2.3
	小倉南区	39	41.0	17.9	30.8	2.6	23.1	2.6	5.1	2.6	－	25.6	5.1
	若松区	19	21.1	31.6	42.1	－	21.1	5.3	－	21.1	5.3	15.8	15.8
	八幡東区	16	25.0	6.3	31.3	－	43.8	6.3	－	12.5	12.5	12.5	6.3
	八幡西区	55	32.7	38.2	25.5	3.6	21.8	3.6	5.5	9.1	12.7	23.6	－
	戸畑区	8	25.0	37.5	25.0	－	25.0	－	－	62.5	－	12.5	－

（３）生活上の不安や悩み

問 23　あなたは、生活の上で、どのような不安や悩みがありますか。（○印は 3 つまで）

生活の上で感じる不安や悩みは、「病気や事故」が 43.8％と最も高く、次いで「生活費」42.9％、「仕事」18.6％、「子ども」16.7％、「借金や負債の返済」11.9％などとなっている。また、「特にない」は 14.8％となっている。

前回調査と比較すると、「借金や負債の返済」が 5.5 ポイント増加している。

年齢別にみると、40 歳代で「生活費」が約６割と高く、65 歳以上では「病気や事故」「家事や身の回りのこと」への不安や悩みが多くなっている。

図３－44　生活上の不安や悩み［複数回答］

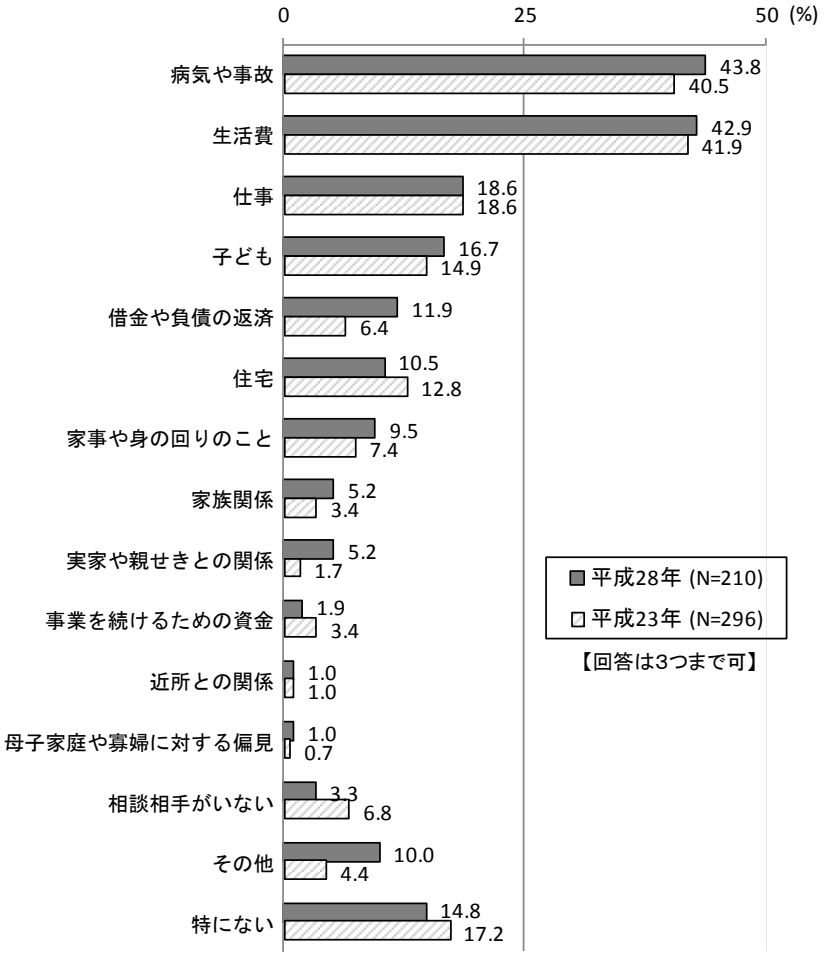


表３－45　生活上の不安や悩み［複数回答］

(%)

		標本数	生活費	事業を続けるための資金	借金や負債の返済	仕事	住宅	家事や身の回りのこと	病気や事故	子ども	家族関係	実家や親せきとの関係	近所との関係	母子家庭や寡婦に対する偏見	相談相手がいない	その他	特にない	無回答
全体		210	90	4	25	39	22	20	92	35	11	11	2	2	7	21	31	6
		100.0	42.9	1.9	11.9	18.6	10.5	9.5	43.8	16.7	5.2	5.2	1.0	1.0	3.3	10.0	14.8	2.9
時系列	平成23年	296	41.9	3.4	6.4	18.6	12.8	7.4	40.5	14.9	3.4	1.7	1.0	0.7	6.8	4.4	17.2	2.7
	平成18年	376	43.4	3.5	11.7	18.1	10.9	7.2	46.0	14.9	5.3	3.5	2.4	1.1	3.7	2.1	16.8	2.7
年齢別	39歳以下	1	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	59.1	4.5	18.2	22.7	4.5	4.5	45.5	18.2	4.5	－	－	4.5	9.1	13.6	9.1	4.5
	50歳代	82	45.1	1.2	9.8	23.2	14.6	6.1	42.7	18.3	8.5	4.9	－	1.2	4.9	13.4	13.4	2.4
	60～64歳	63	38.1	3.2	17.5	20.6	6.3	7.9	36.5	9.5	4.8	7.9	3.2	－	－	9.5	17.5	3.2
	65歳以上	41	39.0	－	2.4	4.9	12.2	19.5	56.1	24.4	－	4.9	－	－	－	2.4	17.1	2.4
	無回答	1	－	－	－	－	－	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
就労形態別	自営業主	8	12.5	50.0	12.5	25.0	－	－	－	－	12.5	25.0	12.5	－	－	25.0	12.5	－
	家族従事者	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	正社員・正職員	60	38.3	－	16.7	23.3	18.3	6.7	41.7	16.7	3.3	1.7	－	1.7	5.0	21.7	13.3	1.7
	派遣・パート・臨時	75	58.7	－	14.7	22.7	9.3	6.7	41.3	13.3	6.7	6.7	－	1.3	4.0	5.3	12.0	1.3
	その他	3	66.7	－	－	66.7	－	－	100.0	33.3	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	4	25.0	－	25.0	50.0	－	－	25.0	25.0	－	－	－	－	－	－	－	25.0
行政区	門司区	30	50.0	6.7	16.7	20.0	6.7	6.7	46.7	6.7	－	13.3	3.3	－	3.3	10.0	13.3	3.3
	小倉北区	43	30.2	2.3	11.6	16.3	4.7	18.6	37.2	23.3	4.7	2.3	－	－	7.0	11.6	14.0	4.7
	小倉南区	39	41.0	－	7.7	23.1	15.4	10.3	43.6	23.1	2.6	5.1	2.6	－	－	10.3	12.8	2.6
	若松区	19	31.6	－	5.3	15.8	21.1	5.3	63.2	15.8	5.3	－	－	－	－	－	15.8	5.3
	八幡東区	16	43.8	－	18.8	25.0	18.8	6.3	43.8	6.3	12.5	6.3	－	6.3	6.3	12.5	12.5	－
	八幡西区	55	52.7	1.8	14.5	12.7	9.1	7.3	40.0	16.4	7.3	3.6	－	－	3.6	10.9	18.2	1.8
	戸畑区	8	50.0	－	－	37.5	－	－	50.0	12.5	12.5	12.5	－	12.5	－	12.5	12.5	－

（４）困ったときの相談相手

問 24　あなたは何か困った問題が起きた場合、主に誰に相談していますか。（○印は３つまで）

何か困ったことが起きた場合の相談相手は、「子どもや家族」が 65.2％と最も高く、次いで「友人・知人」が 39.5％、「実家や親せきの人」が 25.2％となっている。また、「自分で解決している」は 34.8％となっている。

前回調査と比較すると、「子どもや家族」「友人・知人」が減少している一方で、「自分で解決している」が増加している。

年齢別にみると、「子どもや家族」は年齢が上がるほど割合が高くなっており、65 歳以上では７割を超えている。一方、「自分で解決している」は 65 歳以上では 17.1％と他の年齢層に比べ低くなっている。

図３－45　困ったときの相談相手［複数回答］

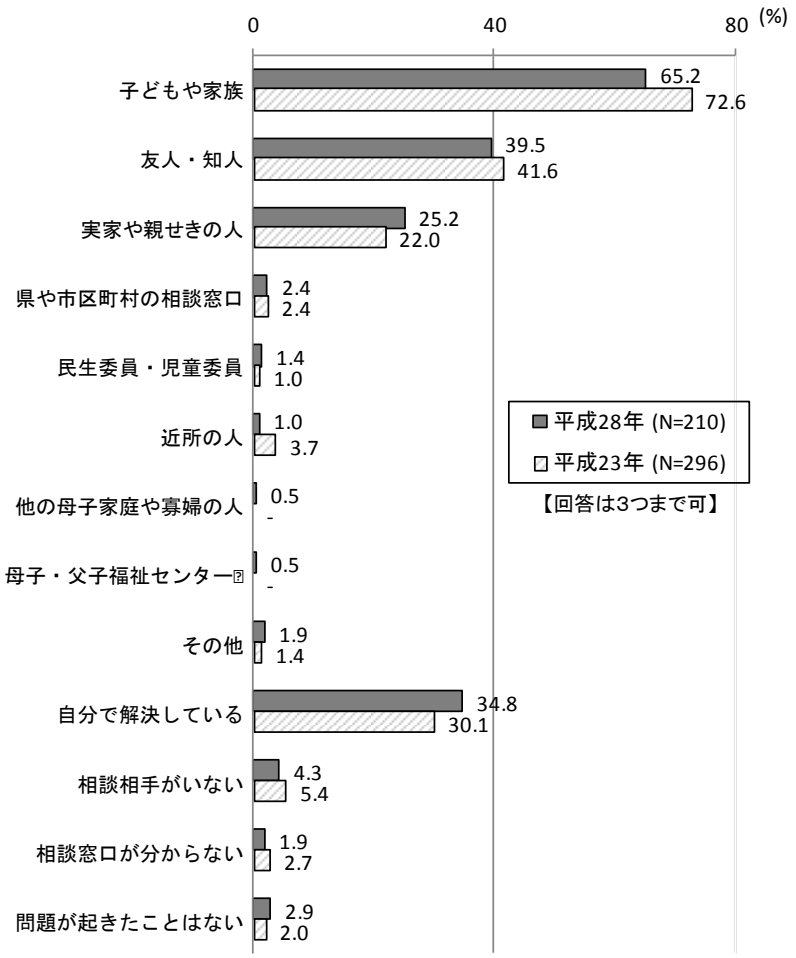


表３－46　困ったときの相談相手［複数回答］

(%)

		標本数	子どもや家族	実家や親戚の人	近所の人	友人・知人	他の母子家庭や寡婦の人	母子・父子福祉センター	県や市区町村の相談窓口	民生委員・児童委員	その他	自分で解決している	相談相手がいない	相談窓口が分からない	問題が起きたことはない	無回答
全体		210	137	53	2	83	1	1	5	3	4	73	9	4	6	5
		100.0	65.2	25.2	1.0	39.5	0.5	0.5	2.4	1.4	1.9	34.8	4.3	1.9	2.9	2.4
時系列	平成23年	296	72.6	22.0	3.7	41.6	－	－	2.4	1.0	1.4	30.1	5.4	2.7	2.0	2.4
	平成18年	376	63.0	27.7	1.6	33.5	0.8	0.8	2.4	－	1.6	10.4	2.4	1.1	1.3	2.1
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
	40歳代	22	45.5	27.3	－	45.5	－	－	－	－	4.5	40.9	9.1	－	4.5	4.5
	50歳代	82	65.9	25.6	1.2	50.0	－	1.2	3.7	1.2	2.4	37.8	3.7	2.4	1.2	1.2
	60～64歳	63	66.7	22.2	－	39.7	－	－	3.2	－	1.6	39.7	4.8	－	1.6	1.6
	65歳以上	41	73.2	29.3	2.4	17.1	2.4	－	－	4.9	－	17.1	2.4	4.9	7.3	4.9
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	53.3	30.0	－	40.0	3.3	3.3	－	－	3.3	36.7	6.7	6.7	10.0	－
	小倉北区	43	62.8	20.9	－	23.3	－	－	4.7	2.3	2.3	37.2	－	－	－	4.7
	小倉南区	39	64.1	20.5	－	46.2	－	－	2.6	－	－	35.9	5.1	2.6	2.6	5.1
	若松区	19	57.9	31.6	－	52.6	－	－	－	－	－	21.1	5.3	5.3	10.5	－
	八幡東区	16	56.3	12.5	－	31.3	－	－	6.3	6.3	6.3	43.8	6.3	－	－	－
	八幡西区	55	78.2	29.1	3.6	47.3	－	－	1.8	1.8	1.8	30.9	5.5	－	－	1.8
	戸畑区	8	75.0	37.5	－	25.0	－	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－

（５）家事を担当している人

問 25　あなたの世帯では、炊事･掃除･洗濯などの家事を主に誰がしていますか。（○印は１つ）

ふだん家事を担当している人は、「自分本人」が 82.4％で、ほとんどの世帯では寡婦自身が家事を行っている。次いで「子ども」が 7.6％となっている。

年齢別にみると、いずれの年齢層もほとんど「自分本人」だが、40 歳代では「父母・義父母」、また 65 歳以上では「子ども」の割合が、他の年齢層に比べて高くなっている

図３－46　家事を担当している人

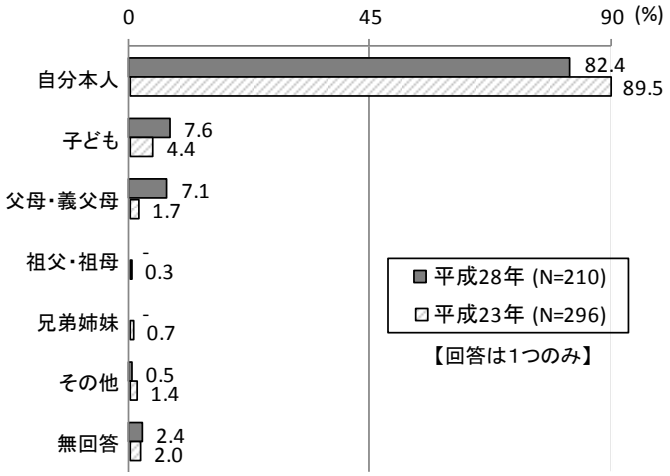


表３－47　家事を担当している人

(%)

		標本数	自分本人	子ども	父母・義父母	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体		210	173	16	15	－	－	1	5
		100.0	82.4	7.6	7.1	－	－	0.5	2.4
時系列	平成23年	296	89.5	4.4	1.7	0.3	0.7	1.4	2.0
	平成18年	376	84.8	9.3	3.2	0.3	0.8	0.8	0.8
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	68.2	－	22.7	－	－	4.5	4.5
	50歳代	82	85.4	2.4	11.0	－	－	－	1.2
	60～64歳	63	95.2	1.6	1.6	－	－	－	1.6
	65歳以上	41	63.4	31.7	－	－	－	－	4.9
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	90.0	－	6.7	－	－	3.3	－
	小倉北区	43	79.1	7.0	9.3	－	－	－	4.7
	小倉南区	39	84.6	－	10.3	－	－	－	5.1
	若松区	19	84.2	10.5	5.3	－	－	－	－
	八幡東区	16	87.5	12.5	－	－	－	－	－
	八幡西区	55	74.5	16.4	7.3	－	－	－	1.8
	戸畑区	8	100.0	－	－	－	－	－	－

問 26　ふだん家事をしている人が病気などの時は、代わりに主に誰が家事をしますか。（○印は１つ）

ふだん家事を担当している人が病気などで家事ができない場合に、代わりに家事を担当している人は「子ども」が 32.4％と最も高く、次いで「自分本人」11.0％、「父母・義父母」3.8％となっているが、「代わりに家事をする人はいない」は 46.7％となっている。

年齢別にみると、65 歳以上では「子ども」の割合が高く、60～64 歳では「代わりに家事をする人はいない」が他の年齢層に比べて高くなっている。

図３－47　疾病時等に代わりに家事をする人

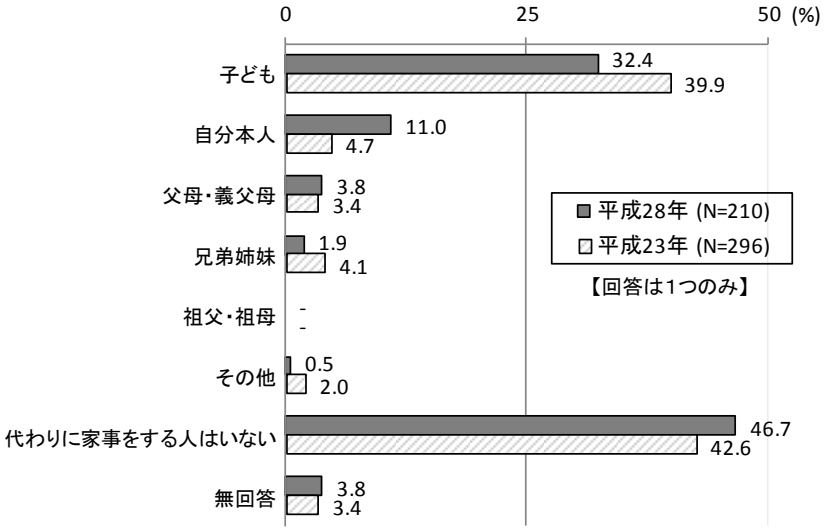


表３－48　疾病時等に代わりに家事をする人

（%）

		標本数	自分本人	子ども	父母・義父母	祖父・祖母	兄弟姉妹	その他	代わりに家事をする人はいない	無回答
全体		210	23	68	8	－	4	1	98	8
		100.0	11.0	32.4	3.8	－	1.9	0.5	46.7	3.8
時系列	平成23年	296	4.7	39.9	3.4	－	4.1	2.0	42.6	3.4
	平成18年	376	8.8	38.8	1.3	－	3.5	1.9	43.1	2.7
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	13.6	4.5	22.7	－	－	4.5	40.9	13.6
	50歳代	82	14.6	26.8	3.7	－	4.9	－	48.8	1.2
	60～64歳	63	4.8	34.9	－	－	－	－	57.1	3.2
	65歳以上	41	12.2	51.2	－	－	－	－	31.7	4.9
	無回答	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	6.7	36.7	3.3	－	3.3	－	46.7	3.3
	小倉北区	43	14.0	25.6	2.3	－	2.3	－	51.2	4.7
	小倉南区	39	7.7	30.8	2.6	－	2.6	2.6	43.6	10.3
	若松区	19	5.3	26.3	10.5	－	－	－	57.9	－
	八幡東区	16	6.3	31.3	－	－	6.3	－	56.3	－
	八幡西区	55	18.2	38.2	3.6	－	－	－	38.2	1.8
	戸畑区	8	－	37.5	12.5	－	－	－	50.0	－

（６）今後行いたい家族レクリエーション

問 27　あなたは今後、どのような家族レクリエーションをしたいと思いますか。（○印は３つまで）

今後行いたい家族レクリエーションは、「宿泊旅行」が 52.9％と最も高く、次いで「映画･演劇鑑賞」25.7％、「遊園地･動物園など日帰りの行楽」17.1％などとなっている。また、「特にない」が 24.3％となっている。

図３－48　今後行いたい家族レクリエーション［複数回答］

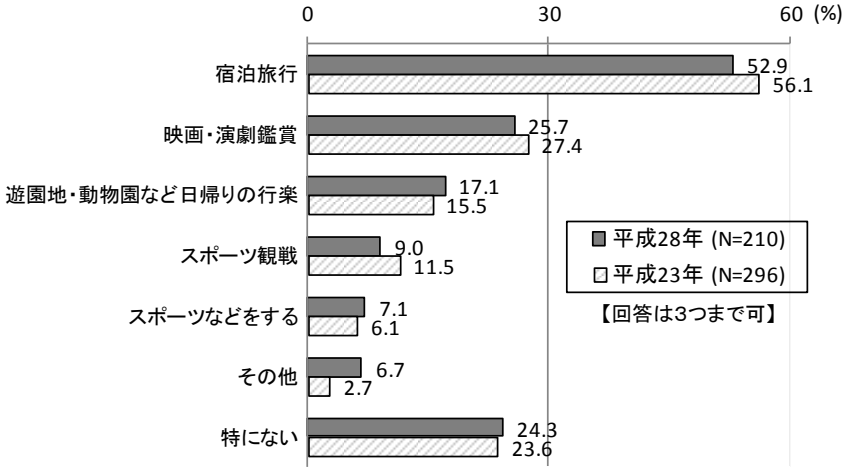


表３－49　今後行いたい家族レクリエーション［複数回答］

（%）

		標本数	映画・演劇鑑賞	スポーツ観戦	スポーツなどをする	遊園地・動物園など日帰りの行楽	宿泊旅行	その他	特にない	無回答
全体		210	54	19	15	36	111	14	51	10
		100.0	25.7	9.0	7.1	17.1	52.9	6.7	24.3	4.8
時系列	平成23年	296	27.4	11.5	6.1	15.5	56.1	2.7	23.6	5.1
	平成18年	376	30.6	6.6	5.9	16.2	53.7	1.9	27.4	4.5
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	－	－	100.0	－	－	－
	40歳代	22	22.7	9.1	18.2	13.6	59.1	9.1	13.6	9.1
	50歳代	82	26.8	11.0	4.9	23.2	52.4	8.5	24.4	1.2
	60～64歳	63	25.4	9.5	9.5	9.5	54.0	6.3	23.8	6.3
	65歳以上	41	24.4	4.9	2.4	19.5	48.8	2.4	29.3	7.3
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	100.0	－
行政区	門司区	30	26.7	3.3	10.0	13.3	53.3	16.7	23.3	－
	小倉北区	43	20.9	14.0	11.6	16.3	48.8	2.3	20.9	11.6
	小倉南区	39	20.5	15.4	7.7	12.8	48.7	2.6	30.8	7.7
	若松区	19	10.5	5.3	10.5	15.8	47.4	－	36.8	5.3
	八幡東区	16	31.3	6.3	－	12.5	68.8	12.5	18.8	－
	八幡西区	55	34.5	5.5	1.8	23.6	56.4	9.1	20.0	1.8
	戸畑区	8	37.5	12.5	12.5	25.0	50.0	－	25.0	－

（７）母子会（母子寡婦福祉会）の加入状況

問 28　ところであなたは、母子寡婦福祉会（母子会）に加入していますか。（○印は１つ）

母子会（母子寡婦福祉会）に「加入している」は 1.0%、「加入していない」が 93.8%で、ほとんどの人が未加入である。

図３－49　母子会（母子寡婦福祉会）の加入状況

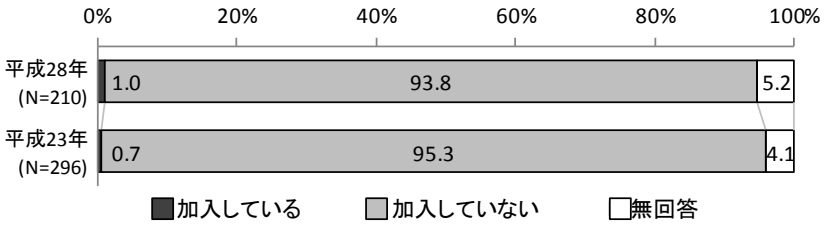


表３－50　母子会（母子寡婦福祉会）の加入状況

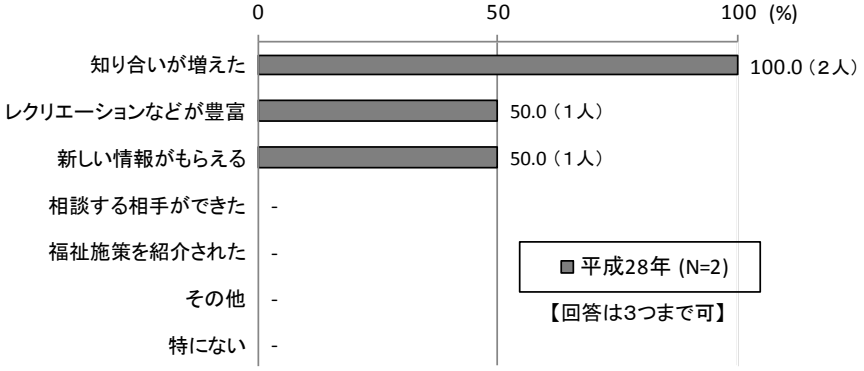
(%)

		標本数	加入している	加入していない	無回答
全体		210	2	197	11
		100.0	1.0	93.8	5.2
時系列	平成23年	296	0.7	95.3	4.1
	平成18年	376	2.1	84.0	13.8
年齢別	39歳以下	1	－	100.0	－
	40歳代	22	－	86.4	13.6
	50歳代	82	1.2	96.3	2.4
	60～64歳	63	－	95.2	4.8
	65歳以上	41	2.4	92.7	4.9
	無回答	1	－	－	100.0
行政区	門司区	30	3.3	90.0	6.7
	小倉北区	43	－	90.7	9.3
	小倉南区	39	－	94.9	5.1
	若松区	19	－	94.7	5.3
	八幡東区	16	6.3	93.8	－
	八幡西区	55	－	96.4	3.6
	戸畑区	8	－	100.0	－

問 28－１　（加入していると答えた方に）加入して良かったことはありますか。（○印は３つまで）

母子会に加入して良かったことは、加入している２人とも「知り合いが増えた」と答えている。

図３－50　加入して良かったこと［複数回答］



問 28－２　（加入していないと答えた方に）　加入していない理由は。（○印は１つ）

母子会（母子寡婦福祉会）に加入していない人（197 人）があげた理由として最も多いのは、「母子会を知らない」で 64.5%を占めている。他には、「母子会に関心がない」14.2%、「気が進まない」が 6.6%となっている。

図３－51　加入していない理由

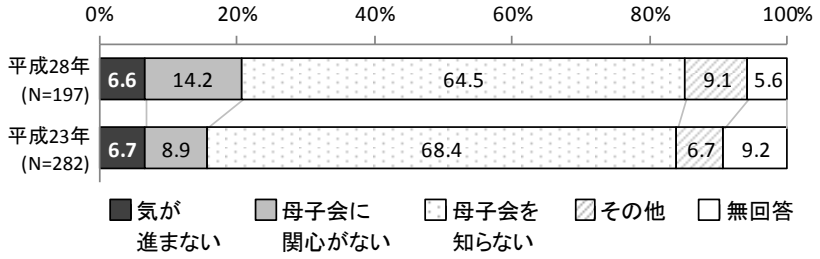


表３－51　加入していない理由

(%)

		標本数	気が進まない	母子会に関心がない	母子会を知らない	その他	無回答
全体		197	13	28	127	18	11
		100.0	6.6	14.2	64.5	9.1	5.6
時系列	平成23年	282	6.7	8.9	68.4	6.7	9.2
	平成18年	316	5.4	12.7	68.7	7.9	5.4
年齢別	39歳以下	1	－	－	100.0	－	－
	40歳代	19	5.3	15.8	68.4	5.3	5.3
	50歳代	79	8.9	15.2	62.0	8.9	5.1
	60～64歳	60	1.7	8.3	78.3	6.7	5.0
	65歳以上	38	10.5	21.1	44.7	15.8	7.9
	無回答	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	27	14.8	22.2	40.7	18.5	3.7
	小倉北区	39	12.8	10.3	64.1	10.3	2.6
	小倉南区	37	5.4	8.1	64.9	13.5	8.1
	若松区	18	5.6	22.2	61.1	5.6	5.6
	八幡東区	15	－	26.7	60.0	－	13.3
	八幡西区	53	1.9	11.3	77.4	5.7	3.8
	戸畑区	8	－	12.5	75.0	－	12.5

問 28－３　（加入していないと答えた方に）では、今後はいかがですか。（○印は１つ）

母子会（母子寡婦福祉会）への今後の加入意向については、「加入したい」は 5.6%で、一方、「加入したくない」9.1%と「加入の必要性を感じない」73.6%を合わせた『加入意向がない』は 82.7%となっている。

年齢別でみると、60～64 歳では「加入したい」が低く、「加入の必要性を感じない」が高くなっている。

図３－52　加入意向

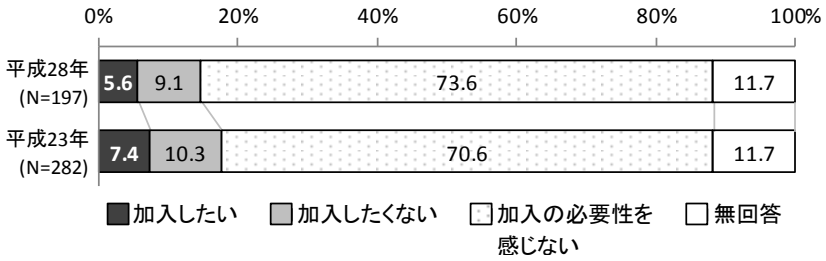


表３－52　加入意向

（%）

		標本数	加入したい	加入したくない	加入の必要性を感じない	無回答
全体		197	11	18	145	23
		100.0	5.6	9.1	73.6	11.7
時系列	平成23年	282	7.4	10.3	70.6	11.7
	平成18年	316	8.2	10.4	69.0	12.3
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	100.0
	40歳代	19	5.3	10.5	73.7	10.5
	50歳代	79	7.6	10.1	73.4	8.9
	60～64歳	60	1.7	3.3	80.0	15.0
	65歳以上	38	7.9	15.8	65.8	10.5
	無回答	－	－	－	－	－
行政区	門司区	27	3.7	－	81.5	14.8
	小倉北区	39	7.7	15.4	64.1	12.8
	小倉南区	37	10.8	8.1	75.7	5.4
	若松区	18	11.1	27.8	44.4	16.7
	八幡東区	15	6.7	6.7	86.7	－
	八幡西区	53	－	1.9	83.0	15.1
	戸畑区	8	－	25.0	62.5	12.5

（８）結婚の意思

問 29　あなたには結婚の意思がありますか。（○印は１つ）

結婚の意思について、「結婚したい」と考えている人が 5.7%、「結婚したくない」が 61.4%で、結婚を望まない人の方がかなり多くなっている。また、「分からない」も 26.7%みられる。

前回調査と比較すると、「分からない」が増加している。

年齢別にみると、年齢が若いほど「結婚したい」と「分からない」が高くなっている。

図３－53　結婚の意思

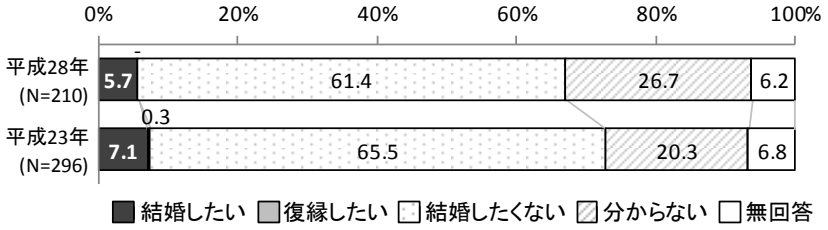


表３－53　結婚の意思

(%)

		標本数	結婚したい	復縁したい	結婚したくない	分からない	無回答
全体		210	12	－	129	56	13
		100.0	5.7	－	61.4	26.7	6.2
時系列	平成23年	296	7.1	0.3	65.5	20.3	6.8
	平成18年	376	4.5	－	64.6	23.1	7.7
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	100.0	－
	40歳代	22	13.6	－	22.7	50.0	13.6
	50歳代	82	9.8	－	53.7	35.4	1.2
	60～64歳	63	1.6	－	71.4	20.6	6.3
	65歳以上	41	－	－	85.4	4.9	9.8
	無回答	1	－	－	－	－	100.0
理由別	死別	71	1.4	－	77.5	14.1	7.0
	離婚	108	7.4	－	55.6	33.3	3.7
	その他の生別	10	10.0	－	30.0	30.0	30.0
	かつて母子家庭ではなかった	10	10.0	－	40.0	50.0	－
	無回答	11	9.1	－	63.6	18.2	9.1
行政区	門司区	30	10.0	－	63.3	20.0	6.7
	小倉北区	43	7.0	－	69.8	18.6	4.7
	小倉南区	39	7.7	－	51.3	33.3	7.7
	若松区	19	5.3	－	42.1	42.1	10.5
	八幡東区	16	－	－	75.0	18.8	6.3
	八幡西区	55	3.6	－	65.5	25.5	5.5
	戸畑区	8	－	－	50.0	50.0	－

８．公的機関や制度の周知と利用及び要望

（１）公的機関や制度の周知と利用状況

問 30　あなたは、次のような公的機関や制度を利用したことがありますか。
次にあげる公的機関や制度についてそれぞれあてはまるものを１つずつ選んでください。
また、今後引き続き、あるいは新たに利用したいと思うものをすべて選んでください。

（ア）利用したことがある公的機関や制度

利用したことがある公的機関や制度は、「公共職業安定所（ハローワーク）」が 39.0％と最も高く、次いで「各区役所（保健福祉課など）」27.1％、「母子・父子・寡婦福祉資金」11.9％と続いている。そのほかの公的機関や制度を利用したことがある人は１割未満となっている。

前回調査と比較すると、ほとんどの項目で利用したことがある割合が増加している。

年齢別にみると、ほとんどの項目で年齢が若いほど割合が高くなっているが、「生活保護」は 60 歳以上でやや高くなっている。

図３－54　利用したことがある公的機関や制度［複数回答］

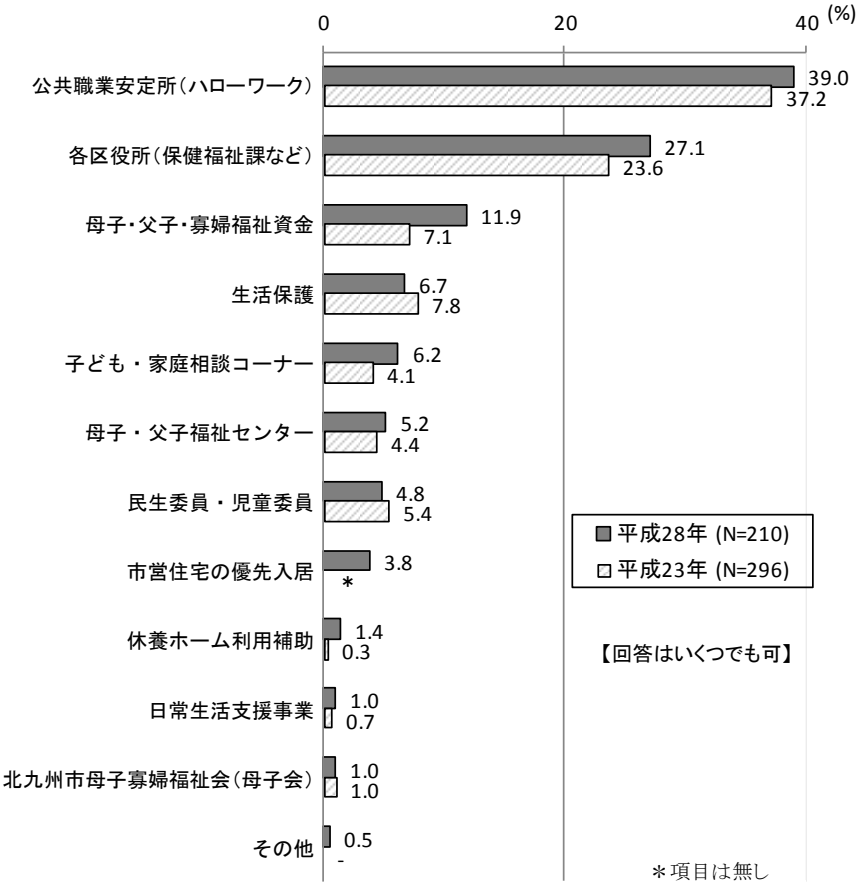


表３－54　利用したことがある公的機関や制度［複数回答］

(%)

		標本数	各区役所（保健福祉課など）	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	生活保護	母子・父子・寡婦福祉資金	市営住宅の優先入居	日常生活支援事業	休養ホーム利用補助	母子・父子福祉センター	北九州市母子寡婦福祉会（母子会）	公共職業安定所（ハローワーク）	その他
全体		210	57	13	10	14	25	8	2	3	11	2	82	1
		100.0	27.1	6.2	4.8	6.7	11.9	3.8	1.0	1.4	5.2	1.0	39.0	0.5
時系列	平成23年	296	23.6	4.1	5.4	7.8	7.1	…	0.7	0.3	4.4	1.0	37.2	－
	平成18年	376	26.1	3.5	5.1	6.1	5.9	…	1.1	1.3	2.4	1.1	31.9	－
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
	40歳代	22	45.5	18.2	－	4.5	22.7	4.5	－	4.5	18.2	4.5	45.5	－
	50歳代	82	34.1	9.8	7.3	6.1	12.2	3.7	1.2	1.2	4.9	1.2	50.0	－
	60～64歳	63	19.0	1.6	4.8	7.9	14.3	4.8	－	1.6	3.2	－	34.9	－
	65歳以上	41	17.1	－	2.4	7.3	2.4	2.4	2.4	－	2.4	－	19.5	2.4
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	30.0	10.0	3.3	3.3	13.3	3.3	－	3.3	10.0	－	36.7	－
	小倉北区	43	30.2	4.7	7.0	11.6	7.0	2.3	－	－	4.7	2.3	44.2	－
	小倉南区	39	15.4	2.6	2.6	2.6	7.7	2.6	－	2.6	2.6	－	30.8	2.6
	若松区	19	26.3	5.3	10.5	－	15.8	5.3	－	5.3	10.5	5.3	42.1	－
	八幡東区	16	37.5	18.8	6.3	12.5	18.8	6.3	6.3	－	6.3	－	50.0	－
	八幡西区	55	27.3	5.5	3.6	7.3	12.7	5.5	1.8	－	1.8	－	36.4	－
	戸畑区	8	37.5	－	－	12.5	25.0	－	－	－	12.5	－	50.0	－

（イ）知っているが利用したことがない公的機関や制度

知っているが利用したことがない公的機関や制度は、「生活保護」が 51.9%で最も高く、以下「民生委員・児童委員」45.2%、「子ども・家庭相談コーナー」36.7%、「市営住宅の優先入居」29.0%、「各区役所（保健福祉課など）」と「母子・父子福祉センター」が同率で 27.6%、などとなっている。

年齢別にみると、「各区役所（保健福祉課など）」と「公共職業安定所（ハローワーク）」は年齢が上がるほど割合が高くなっており、その他のほとんどの項目では 50 歳代の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。

図３－55　知っているが利用したことがない公的機関や制度［複数回答］

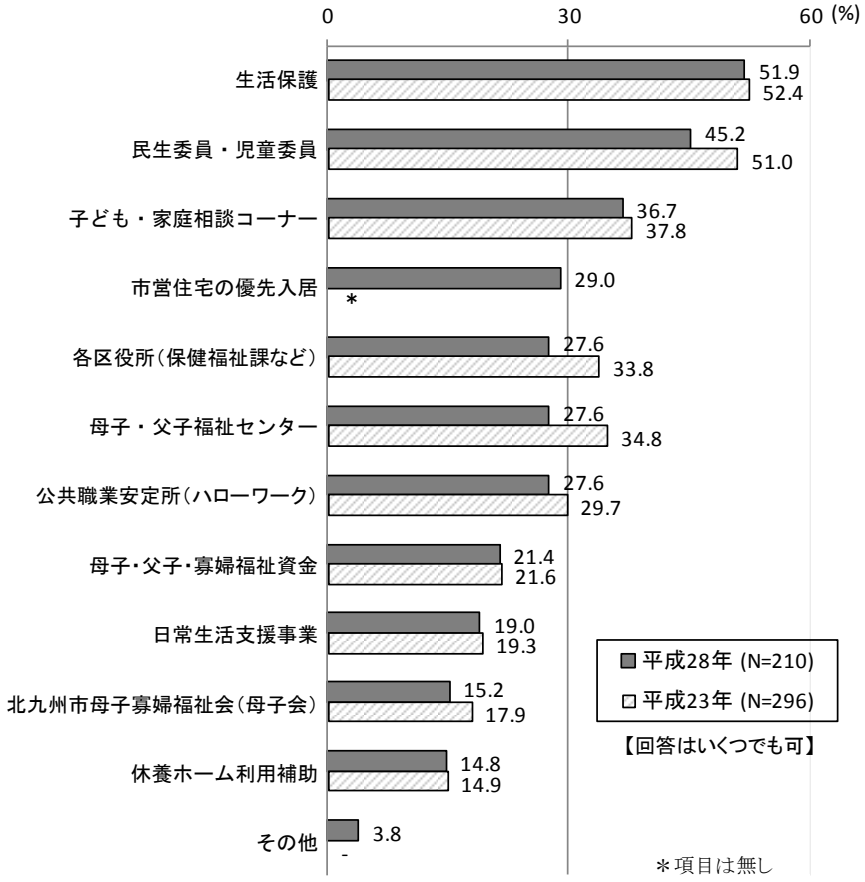


表３－55　知っているが利用したことがない公的機関や制度［複数回答］

(%)

		標本数	各区役所（保健福祉課など）	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	生活保護	母子・父子・寡婦福祉資金	市営住宅の優先入居	日常生活支援事業	休養ホーム利用補助	母子・父子福祉センター	北九州市母子寡婦福祉会（母子会）	公共職業安定所（ハローワーク）	その他
全体		210	58	77	95	109	45	61	40	31	58	32	58	8
		100.0	27.6	36.7	45.2	51.9	21.4	29.0	19.0	14.8	27.6	15.2	27.6	3.8
時系列	平成23年	296	33.8	37.8	51.0	52.4	21.6	…	19.3	14.9	34.8	17.9	29.7	－
	平成18年	376	35.6	40.2	50.3	56.6	22.3	…	22.1	14.1	33.2	14.9	34.3	2.9
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－
	40歳代	22	18.2	27.3	36.4	36.4	18.2	27.3	18.2	18.2	9.1	18.2	13.6	－
	50歳代	82	26.8	42.7	54.9	62.2	26.8	36.6	19.5	13.4	34.1	15.9	24.4	3.7
	60～64歳	63	30.2	36.5	36.5	49.2	20.6	25.4	20.6	14.3	27.0	14.3	30.2	3.2
	65歳以上	41	31.7	31.7	46.3	43.9	14.6	22.0	14.6	17.1	26.8	14.6	39.0	7.3
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	20.0	26.7	40.0	46.7	20.0	16.7	16.7	10.0	20.0	20.0	23.3	3.3
	小倉北区	43	18.6	34.9	39.5	44.2	18.6	25.6	11.6	11.6	23.3	7.0	27.9	2.3
	小倉南区	39	28.2	35.9	43.6	46.2	12.8	30.8	15.4	10.3	25.6	12.8	25.6	5.1
	若松区	19	47.4	47.4	52.6	68.4	36.8	42.1	47.4	42.1	42.1	42.1	26.3	10.5
	八幡東区	16	31.3	43.8	75.0	75.0	43.8	43.8	25.0	31.3	25.0	31.3	37.5	6.3
	八幡西区	55	30.9	40.0	45.5	52.7	20.0	25.5	16.4	10.9	30.9	9.1	29.1	1.8
	戸畑区	8	25.0	25.0	25.0	50.0	12.5	50.0	25.0	－	37.5	－	25.0	－

（ウ）知らない公的機関や制度

知らない公的機関や制度としては、「休養ホーム利用補助」（53.3%）、「北九州市母子寡婦福祉会（母子会）」（52.9%）、「日常生活支援事業」（50.0%）までが５割を超えて高くなっている。以下「母子・父子・寡婦福祉資金」40.0%、「市営住宅の優先入居」37.6%、「母子・父子福祉センター」37.1%などとなっている。

前回調査と比較すると、すべての項目で割合が増加しており、公的機関や制度について知らない人が増えている。

年齢別にみると、40 歳代では多くの項目で知らないとする割合は低くなっている。

図３－56　知らない公的機関や制度［複数回答］

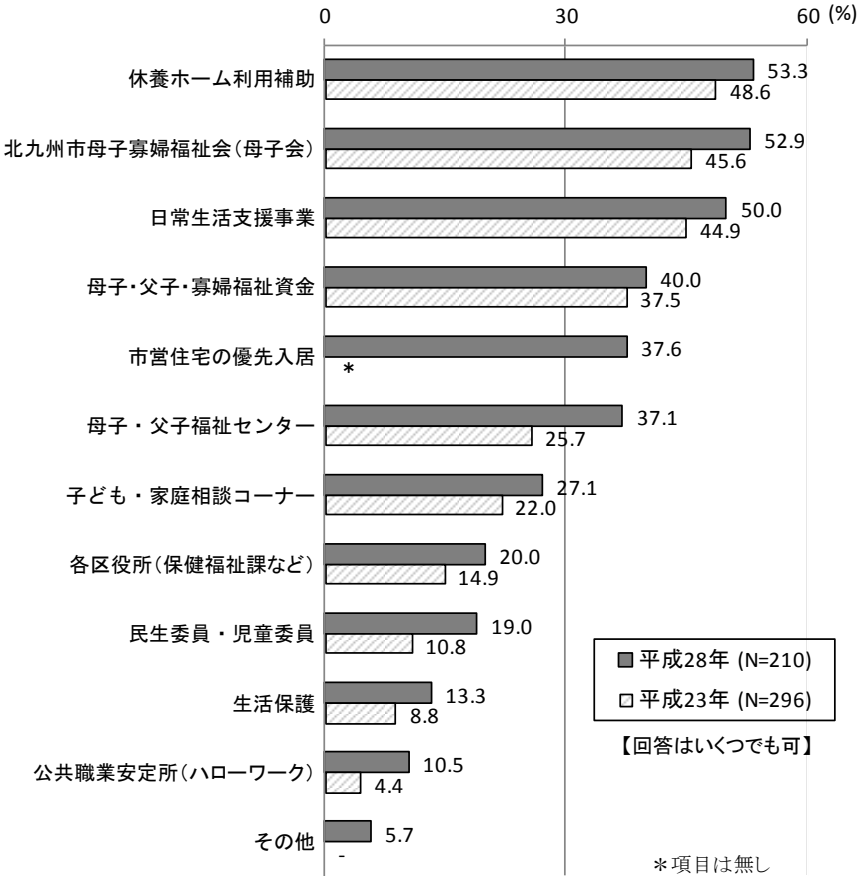


表３－56　知らない公的機関や制度［複数回答］

(%)

		標本数	各区役所（保健福祉課など）	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	生活保護	母子・父子・寡婦福祉資金	市営住宅の優先入居	日常生活支援事業	休養ホーム利用補助	母子・父子福祉センター	北九州市母子寡婦福祉会（母子会）	公共職業安定所（ハローワーク）	その他
全体		210	42	57	40	28	84	79	105	112	78	111	22	12
		100.0	20.0	27.1	19.0	13.3	40.0	37.6	50.0	53.3	37.1	52.9	10.5	5.7
時系列	平成23年	296	14.9	22.0	10.8	8.8	37.5	…	44.9	48.6	25.7	45.6	4.4	－
	平成18年	376	15.7	25.0	12.8	7.7	40.7	…	44.7	53.2	31.4	51.1	7.7	3.7
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	100.0	－	－
	40歳代	22	9.1	13.6	18.2	18.2	22.7	27.3	36.4	31.8	31.8	31.8	4.5	4.5
	50歳代	82	17.1	24.4	14.6	7.3	41.5	36.6	56.1	62.2	36.6	58.5	8.5	6.1
	60～64歳	63	27.0	31.7	27.0	17.5	39.7	41.3	49.2	52.4	41.3	54.0	15.9	4.8
	65歳以上	41	22.0	34.1	17.1	17.1	48.8	41.5	48.8	48.8	36.6	51.2	9.8	7.3
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	26.7	30.0	20.0	13.3	40.0	43.3	46.7	50.0	33.3	43.3	10.0	3.3
	小倉北区	43	25.6	32.6	25.6	18.6	46.5	41.9	58.1	58.1	41.9	60.5	11.6	11.6
	小倉南区	39	28.2	28.2	20.5	20.5	48.7	38.5	53.8	59.0	41.0	56.4	20.5	5.1
	若松区	19	10.5	21.1	10.5	5.3	21.1	26.3	26.3	21.1	21.1	21.1	10.5	－
	八幡東区	16	18.8	25.0	6.3	6.3	25.0	37.5	56.3	56.3	56.3	56.3	－	12.5
	八幡西区	55	10.9	21.8	16.4	9.1	40.0	38.2	50.9	56.4	34.5	58.2	7.3	3.6
	戸畑区	8	12.5	37.5	37.5	12.5	37.5	12.5	37.5	62.5	25.0	62.5	－	－

（２）今後利用したい公的機関や制度

今後利用したい公的機関や制度としては、「公共職業安定所（ハローワーク）」11.9%、「各区役所（保健福祉課など）」9.0%、「市営住宅の優先入居」8.6%などとなっている。

前回調査と比較すると、「民生委員・児童委員」「生活保護」「母子・父子・寡婦福祉資金」「日常生活支援事業」などが減少している。

図３－57　今後利用したい公的機関や制度［複数回答］

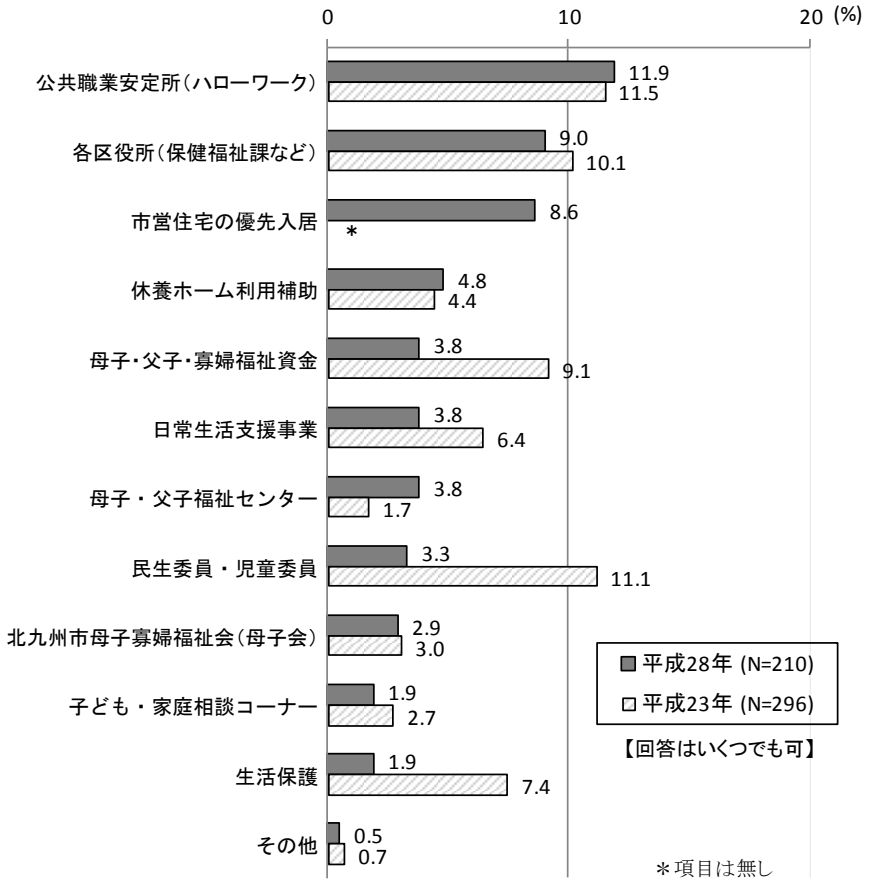


表３－57　今後利用したい公的機関や制度［複数回答］

(%)

		標本数	各区役所（保健福祉課など）	子ども・家庭相談コーナー	民生委員・児童委員	生活保護	母子・父子・寡婦福祉資金	市営住宅の優先入居	日常生活支援事業	休養ホーム利用補助	母子・父子福祉センター	北九州市母子寡婦福祉会（母子会）	公共職業安定所（ハローワーク）	その他	無回答
全体		210	19	4	7	4	8	18	8	10	8	6	25	1	152
		100.0	9.0	1.9	3.3	1.9	3.8	8.6	3.8	4.8	3.8	2.9	11.9	0.5	72.4
時系列	平成23年	296	10.1	2.7	11.1	7.4	9.1	…	6.4	4.4	1.7	3.0	11.5	0.7	63.9
	平成18年	376	17.0	2.9	3.5	5.9	6.1	…	8.0	11.4	3.5	3.7	12.2	－	52.4
年齢別	39歳以下	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	40歳代	22	－	4.5	－	4.5	4.5	9.1	－	－	4.5	4.5	9.1	－	77.3
	50歳代	82	12.2	1.2	3.7	3.7	3.7	11.0	4.9	3.7	3.7	2.4	20.7	－	67.1
	60～64歳	63	9.5	－	4.8	－	3.2	6.3	3.2	6.3	3.2	1.6	9.5	－	68.3
	65歳以上	41	7.3	4.9	2.4	－	4.9	7.3	4.9	7.3	4.9	4.9	－	2.4	85.4
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
家計の状態別	十分やっていける	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	だいたいやっていける	85	8.2	－	3.5	1.2	1.2	2.4	2.4	4.7	3.5	1.2	9.4	－	78.8
	時々赤字になる	56	8.9	1.8	1.8	3.6	8.9	17.9	5.4	3.6	3.6	7.1	21.4	－	62.5
	とても足りない	54	9.3	5.6	3.7	1.9	3.7	11.1	5.6	7.4	5.6	1.9	7.4	1.9	68.5
	無回答	7	28.6	－	14.3	－	－	－	－	－	－	－	14.3	－	71.4
行政区	門司区	30	10.0	3.3	3.3	3.3	3.3	13.3	3.3	3.3	3.3	－	10.0	－	76.7
	小倉北区	43	2.3	－	4.7	2.3	2.3	7.0	2.3	4.7	2.3	4.7	14.0	－	72.1
	小倉南区	39	7.7	5.1	2.6	2.6	7.7	10.3	2.6	5.1	2.6	7.7	7.7	－	74.4
	若松区	19	15.8	－	－	－	－	5.3	5.3	－	5.3	－	15.8	－	73.7
	八幡東区	16	6.3	6.3	－	－	6.3	－	－	6.3	12.5	－	6.3	6.3	75.0
	八幡西区	55	12.7	－	5.5	1.8	3.6	9.1	5.5	7.3	1.8	1.8	12.7	－	70.9
	戸畑区	8	12.5	－	－	－	－	12.5	12.5	－	12.5	－	25.0	－	50.0

（３）行政機関に対する要望

問 31　あなたは、寡婦に関する国や県・市町村の施策で、特にどのようなことを望んでいますか。
（○印は３つまで）

寡婦に関する国や県・市町村の施策で要望したいことは、「年金・手当などを充実する」が 61.0%と最も高く、次いで「医療保障を充実する」43.3%、「職業訓練の場や働く機会を増やす」23.3%、などが続いている。

前回調査と比較すると、「年金・手当などを充実する」が 8.6 ポイント、「職業訓練の場や働く機会を増やす」が 5.1 ポイント増加している。

年齢別にみると、「職業訓練の場や働く機会を増やす」や「医療保障を充実する」は 40 歳代で高く、「県営住宅や市営住宅を増やす」は 60～64 歳で比較的高くなっている。

図３－58　行政機関に対する要望事項［複数回答］

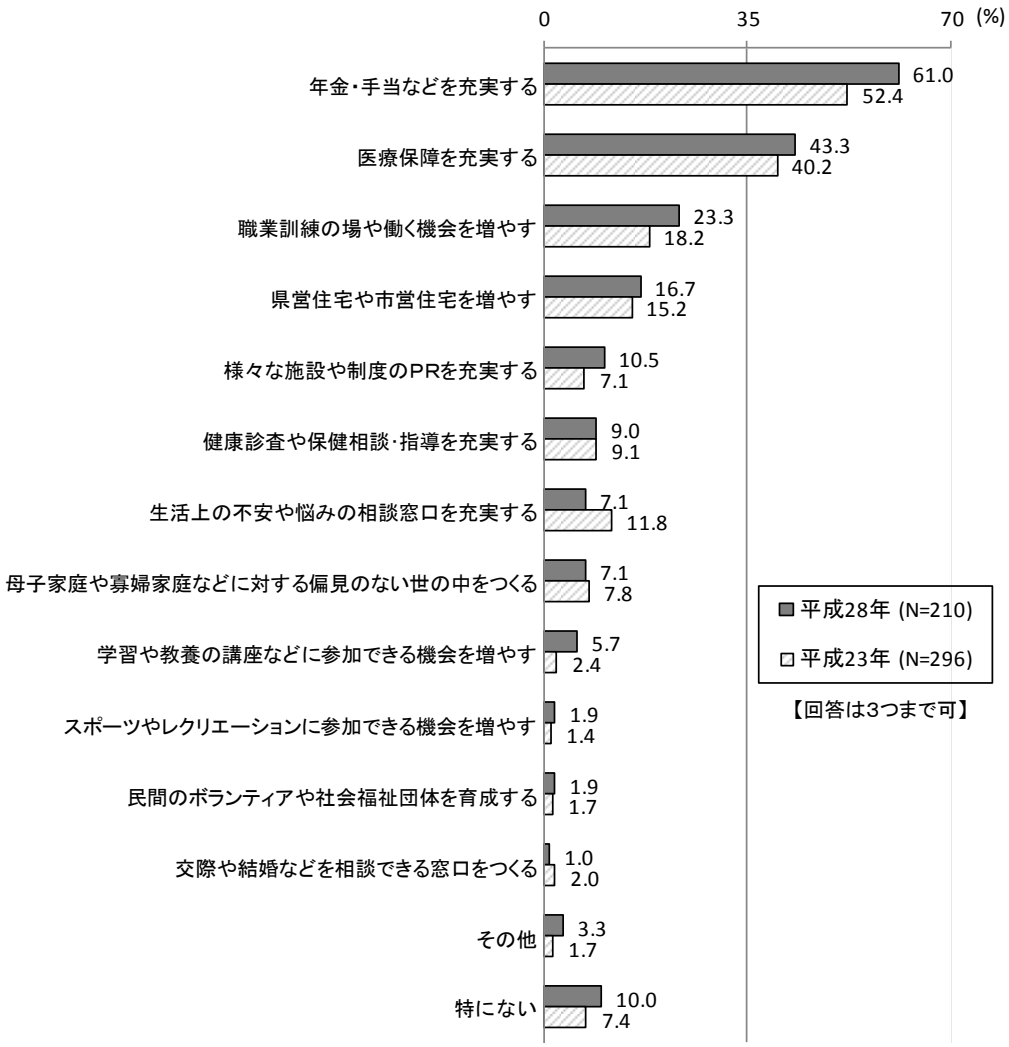


表３－58　行政機関に対する要望事項［複数回答］

(%)

		標本数	職業訓練の場や働く機会を増やす	県営住宅や市営住宅を増やす	年金・手当などを充実する	健康診査や保健相談・指導を充実する	医療保障を充実する	生活上の不安や悩みの相談窓口を充実する	学習や教養の講座などに参加できる機会を増やす	スポーツやレクリエーションに参加できる機会を増やす	交際や結婚などを相談できる窓口をつくる	様々な施設や制度のPRを充実する	民間のボランティアや社会福祉団体を育成する	母子家庭や寡婦家庭などに対する偏見のない世の中をつくる	その他	特にない	無回答
全体		210	49	35	128	19	91	15	12	4	2	22	4	15	7	21	20
		100.0	23.3	16.7	61.0	9.0	43.3	7.1	5.7	1.9	1.0	10.5	1.9	7.1	3.3	10.0	9.5
時系列	平成23年	296	18.2	15.2	52.4	9.1	40.2	11.8	2.4	1.4	2.0	7.1	1.7	7.8	1.7	7.4	20.6
	平成18年	376	16.2	21.0	59.6	14.1	46.8	13.6	6.6	2.4	2.9	7.4	4.0	7.4	1.3	6.1	11.7
年齢別	39歳以下	1	100.0	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	40歳代	22	31.8	9.1	68.2	13.6	59.1	－	9.1	－	－	18.2	－	9.1	4.5	－	9.1
	50歳代	82	22.0	14.6	57.3	8.5	39.0	6.1	11.0	2.4	2.4	13.4	2.4	8.5	6.1	13.4	7.3
	60～64歳	63	28.6	23.8	68.3	12.7	44.4	9.5	1.6	3.2	－	9.5	－	7.9	－	3.2	7.9
	65歳以上	41	12.2	14.6	53.7	2.4	41.5	9.8	－	－	－	2.4	4.9	2.4	2.4	19.5	14.6
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
仕事の有無別	持っている	150	27.3	19.3	64.0	9.3	45.3	5.3	7.3	2.7	1.3	10.0	1.3	9.3	3.3	6.7	7.3
	持っていない	60	13.3	10.0	53.3	8.3	38.3	11.7	1.7	－	－	11.7	3.3	1.7	3.3	18.3	15.0
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
行政区	門司区	30	20.0	20.0	60.0	16.7	33.3	3.3	6.7	6.7	－	－	－	16.7	6.7	13.3	10.0
	小倉北区	43	23.3	9.3	60.5	4.7	32.6	11.6	4.7	2.3	2.3	14.0	2.3	2.3	4.7	14.0	7.0
	小倉南区	39	25.6	15.4	59.0	17.9	48.7	2.6	7.7	－	－	12.8	2.6	2.6	－	5.1	12.8
	若松区	19	31.6	21.1	42.1	－	42.1	5.3	5.3	－	5.3	10.5	－	5.3	5.3	15.8	15.8
	八幡東区	16	18.8	12.5	43.8	－	31.3	6.3	6.3	－	－	18.8	－	6.3	6.3	25.0	12.5
	八幡西区	55	21.8	16.4	69.1	7.3	54.5	10.9	5.5	1.8	－	10.9	3.6	9.1	1.8	3.6	7.3
	戸畑区	8	25.0	50.0	100.0	12.5	62.5	－	－	－	－	－	－	12.5	－	－	－